brother

ユーザーズガイド パソコン活用編

MFC-9460CDN
MFC-9970CDW

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド基本編「困ったときには」で調べる

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル オンラインユーザー登録をお勧めします。 https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version B JPN

やりたいことがすぐ探せる! **やりたいこと目次** 6P

目 次

第6章　その他の便利な使い方（ControlCenter4） 139

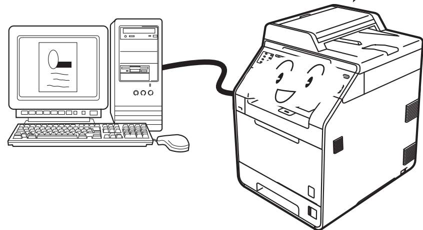
Macintosh 編

やりたいこと目次

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

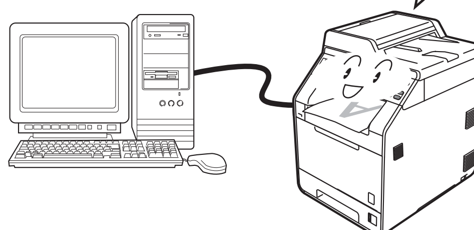
プリンター

プリンターとして使いたい。



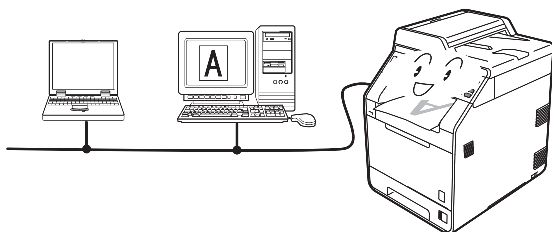
[Windows® の場合]
⇒14ページ
[Macintosh の場合]
⇒171ページ

印刷設定を変更したい。



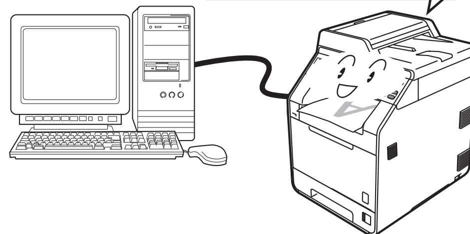
[Windows® の場合]
⇒22ページ
[Macintosh の場合]
⇒180ページ

ネットワーク内で本製品を共有プリンターとして使いたい。



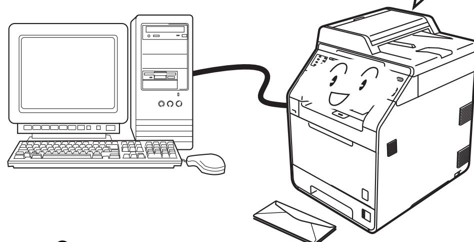
詳しくは、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

機密文書を印刷したい。[セキュリティ印刷]



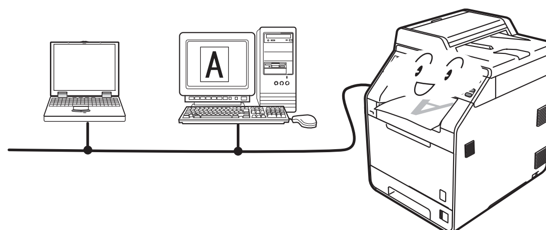
[Windows® の場合]
⇒35ページ
[Macintosh の場合]
⇒186ページ

封筒に印刷したい。



[Windows® の場合]
⇒24ページ
[Macintosh の場合]
⇒182ページ

ユーザーごとに印刷枚数を制限したい。

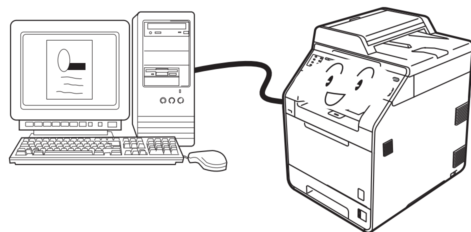


詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

スキャナー

原稿をスキャンしてコンピューターに保存したい。[スキャン to ファイル] [スキャン to ネットワークファイル]

スキャンした原稿を、コンピューターの指定したフォルダーに保存します。



[Windows® の場合]

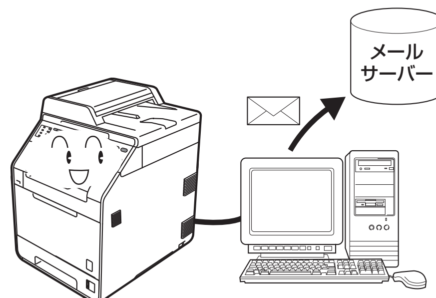
⇒70ページ（スキャン to ファイル）
⇒78ページ（スキャン to ネットワークファイル）

[Macintosh の場合]

⇒211ページ（スキャン to ファイル）
⇒219ページ（スキャン to ネットワークファイル）

原稿をスキャンしてEメールで送りたい。[スキャン to Eメール添付]

スキャンした原稿をEメールに添付して送信できます。



[Windows® の場合]

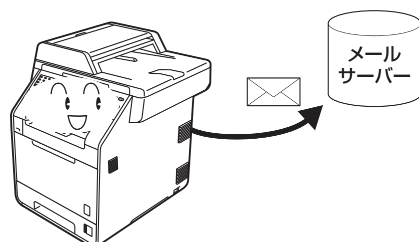
⇒64ページ

[Macintosh の場合]

⇒205ページ

原稿をスキャンして本製品から直接 E メールで送りたい。[スキャン to Eメール送信]（MFC-9970CDW のみ）

スキャンした原稿をコンピューターに送らず、本製品から直接Eメールで送信できます。



[Windows® の場合]

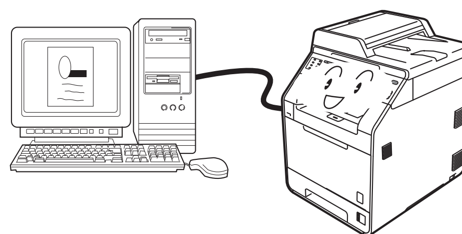
⇒62ページ

[Macintosh の場合]

⇒203ページ

原稿をスキャンしてアプリケーションソフトに送りたい。[スキャン to イメージ]

スキャンした原稿をコンピューターの指定したアプリケーションソフトに送って編集できます。



[Windows® の場合]

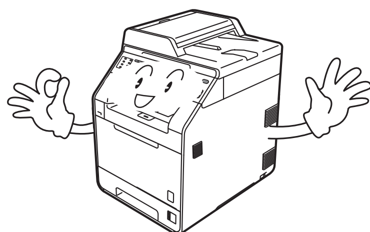
⇒66ページ

[Macintosh の場合]

⇒207ページ

原稿をスキャンしてFTPサーバーに送りたい。
[スキャン to FTP]

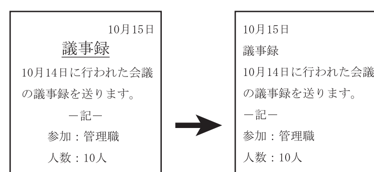
スキャンした原稿をネットワーク上またはインターネット上の FTP サーバーに保存できます。



[Windows® の場合]
⇒72ページ
[Macintosh の場合]
⇒213ページ

文字を修正できるようにスキャンしたい。
[スキャン to OCR]

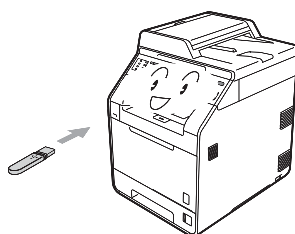
スキャンした原稿を解析して、文書（テキスト）データに変換できます。



[Windows® の場合]
⇒68ページ
[Macintosh の場合]
⇒209ページ

原稿をスキャンしてUSBメモリに保存したい。
[スキャン to USB]

スキャンした原稿を本製品に接続した USB メモリに保存できます。

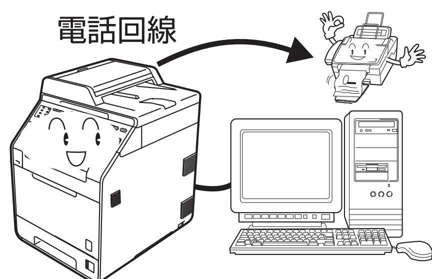


[Windows® の場合]
⇒74ページ
[Macintosh の場合]
⇒215ページ

PCファクス

コンピューターからファクスを送りたい。[PC ファクス送信]

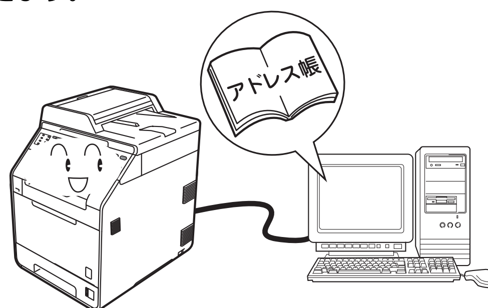
コンピューターで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。印刷してからファクスする必要はありません。



[Windows® の場合]
⇒116ページ
[Macintosh の場合]
⇒256ページ

アドレス帳を利用したい。[PC ファクスアドレス帳]（Windows® のみ）

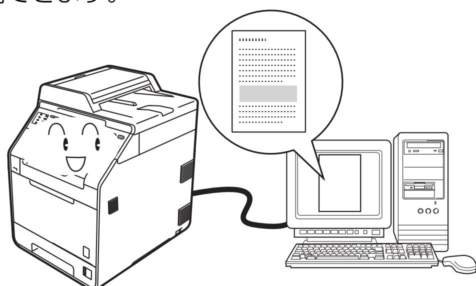
PC ファクスを送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows® メールや Outlook®、Outlook® Express のアドレス帳データを使用することもできます。



⇒122ページ

受信したファクスをコンピューターで確認したい。[PC ファクス受信]（Windows® のみ）

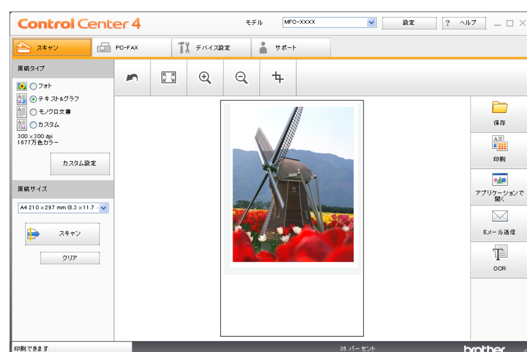
受信したファクスを本製品と接続しているコンピューターに送ります。コンピューター上で内容を確認してから印刷できます。



⇒133ページ

その他

スキャナーなどを簡単に起動したい。
[ControlCenter2、4]





[Windows® の場合]

⇒140ページ

[Macintosh の場合]

⇒262ページ

コンピューターから本製品の状態を確認したい。
[ステータスモニター]



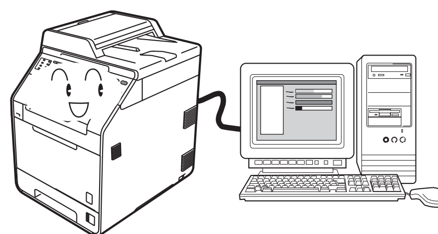
[Windows® の場合]

⇒54ページ

[Macintosh の場合]

⇒196ページ

コンピューターから簡単に電話帳の登録などの設定をしたい。
[リモートセットアップ]



[Windows® の場合]

⇒104ページ

[Macintosh の場合]

⇒245ページ

本ガイドの表記

本ガイドでは、本製品のイラストおよびインストール手順の説明画面に例としてMFC-9460CDNを使用しています。
また、本文中およびインストール手順の説明画面のモデル名は例として「MFC-XXXX」という表記を使用しています。
本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	ユーザーズガイド基本編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク操作編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。（XXXはボタン名）
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。（XXXは項目名や入力文字）
【XXX】	タッチパネル上の表示項目を表しています。（XXXはボタン名）

注意

本ガイドに掲載されている画面は、Windows®の場合はWindows® XP、Macintoshの場合はMac OS X 10.5の画面を代表で使用しています。お使いのOSや環境またはモデルによって、実際の画面と異なることがあります。

必要なソフトウェア

本製品をプリンターやスキャナーとして使うには、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMに収録されているドライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。

補足

コンピューターとの接続やドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

本ガイドの読みかた

本ガイドでは、次のようなレイアウトで説明しています。

関連する内容を説明している
ページを示します。

章を示します。

見出しインデックスです。
現在の章を青色と黒色で示します。

大見出しです。

中見出しです。

ご注意していただく
内容です。

小見出しです。

操作手順です。

必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

2章　スキャナーとして使う

アプリケーションからスキャンする

コンピューター側で、TWAINまたはWIA対応のアプリケーションを操作してスキャンします。
Windows Vista®/Windows® 7をお使いの場合は、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAXとスキャン」も利用できます。
TWAINとは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition）」はWindows®でデジタルカメラやスキャナーなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された機能なので、それ以前の古いソフトウェアなどは対応していないことがあります。

TWAINドライバーを使ってスキャンする

本製品のドライバーはTWAINに対応しており、TWAIN対応のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、原稿をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションからスキャンするときも、手順は同様です。
また、MFC-9970CDWではADF（自動原稿送り装置）を使用して、原稿の両面をスキャンすることができます。

注意

あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（「TW-Brother MFC-XXXX」「TW-Brother MFC-XXXX LAN」のいずれか）を選んでおきます。また、［ファイル］メニューの［スキャン設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

TWAINダイアログボックスでの設定

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

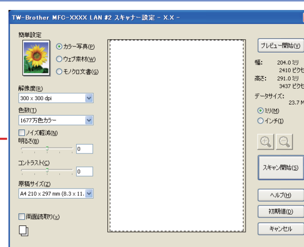
ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 Presto! PageManager 画面から をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

3 必要に応じてTWAINダイアログボックスで解像度や色数、明るさなどの項目を設定する

詳しくは、⇒ 68 ページ「TWAIN ダイアログボックスでの設定」を参照してください。



4 ［スキャン開始］をクリックする

スキャンが終了すると、Presto! PageManager の表示エリアに、スキャンした原稿がサムネイルで表示されます。

補足

操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。

80

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Windows®編

1章

プリンターとして使う

プリンターとして使用する前に

ドライバーをインストールする

本製品をプリンターとして使用するには、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMの中にあるプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーは、Windows®に簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定などができます。
コンピューターとの接続やドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

補足
Windows® XP Service Pack 2以降/Windows Vista®/Windows® 7で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて印刷できないときは、ポート137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

プリンターとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンターとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもコンピューターからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンターとして使用できます。
以下に、プリンターとしての特長を説明します。

● 高速 28 枚 / 分※の印刷速度

ハイスピードなプリンティングを実現する28枚/分※（A4サイズ）エンジンと、スムーズなデータ処理を実現する高速RISCチップを搭載しています。（印刷スピードは複雑なデータの場合など、印刷する内容によって異なります。）
部数の多いドキュメント出力の場合や、複数の人が使用する状況、効率化が求められる現場でも、快適なプリントアウトを実現できます。
※ MFC-9970CDWは、28枚/分（A4サイズ）、MFC-9460CDNは、24枚/分（A4サイズ）の印刷速度です。

● 自動両面印刷

1分間に最高14ページ※の両面印刷ができます。（印刷スピードは複雑なデータなど、印刷する内容によって異なります。）省資源、経費削減に有効です。
※ 両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、7枚/分です。

● 高品質なカラードキュメント作成

高解像度2400dpi×600dpiにより、細かい文字もくっきりと、写真やイラストも美しくプリントアウトできます。

● 大容量 250 枚のトレイ給紙

250枚の普通紙がセット可能な記録紙トレイを標準装備しています。
さらにオプションの増設記録紙トレイ（LT-300CL）（500枚）をセカンドカセットとして装着することができます。
多目的トレイ（MPトレイ）（50枚）と合わせて、最大800枚の給紙が可能です。

● Hi-Speed USB 2.0 標準装備

データの高速通信が可能なHi-Speed USB 2.0に対応しています。コンピューターの電源が入ったままでもUSBケーブルの抜き差しが可能なため、簡単かつ便利にコンピューターと接続できます。さらにインターフェイス自動切替により、複数のコンピューターでの共有も容易です。

● 多様なネットワーク環境に対応

IEEE802.11b/gに準拠した無線LANに対応しています。（MFC-9970CDWのみ）
また高速大容量転送を実現する10BASE-T/100BASE-TX有線ネットワークをサポートし、Windows®やMacintoshなどさまざまなネットワーク環境に対応しています。
さらにWindows®ではピアツーピア印刷にも対応しており、簡単にネットワーク印刷が実現できます。

補足
自動インターフェイス選択機能
本製品には自動インターフェイス選択機能が搭載されています。受信したデータのインターフェイスに応じて、USBインターフェイス、10BASE-T/100BASE-TXのネットワークが自動的に変更されます。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

● ランニングコストを節約する分離型カラーカートリッジを採用

経済的な設計のトナーとドラムの分離型カートリッジを採用しています。トナーのみの交換ができるため無駄がなく、標準トナーと大容量トナーによって、低ランニングコストを実現します。※1
また、両面印刷機能やトナー節約機能で、さらに印刷コストを削減することができます。

トナー		印刷可能枚数※1	色
標準トナー※2	TN-390BK	約2,500枚	ブラック
	TN-390C TN-390M TN-390Y	約1,500枚	シアン マゼンタ イエロー
大容量トナー	TN-395BK	約4,000枚	ブラック
	TN-395C TN-395M TN-395Y	約3,500枚	シアン マゼンタ イエロー
超大容量トナー※3	TN-398BK TN-398C TN-398M TN-398Y	約6,000枚	ブラック シアン マゼンタ イエロー

※1： 印刷可能枚数はJIS X 6932（ISO/IEC 19798）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6932（ISO/IEC 19798）とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）
※２： 製品同梱のトナーです。
※３： MFC-9970CDW のみ

● セキュリティ印刷

データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくは⇒35ページを参照してください。

● ID 印刷

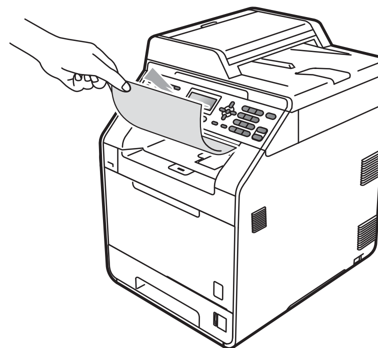
ログインユーザー名など印刷者の ID を記録紙に印刷することができます。印刷者を容易に特定でき、機密情報の漏洩や印刷の無駄を防止するのに役立ちます。詳しくは⇒35ページを参照してください。

● 印刷枚数の制限

ユーザーごとにパスワードを割り当てて、印刷枚数を制限することで不要な出力を防止し、経費削減につながります。
詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

補足

- 解像度などの設定については、⇒26ページを参照してください。
- 記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド基本編「ご使用の前に　記録紙について」を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



- 本製品がコンピューターからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはコンピューターの印刷終了後です。また、コンピューターから印刷中にファクスを受信すると、コンピューターの印刷終了後に受信したファクスの印刷を開始します。ファクス送信は、印刷中でも可能です。

注意

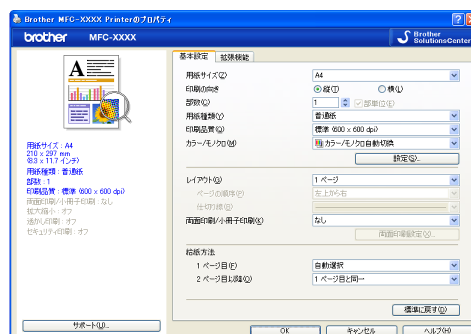
ご使用のソフトウェアの種類やコンピューターの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

印刷する

片面に印刷する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックする



3 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックする

4 ［印刷］ダイアログボックスで［OK］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する

両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3 ［基本設定］タブの両面印刷 / 小冊子印刷から［両面印刷］を選択する

両面印刷の設定は、［両面印刷設定］をクリックしてください。

4 ［OK］をクリックする

5 ［印刷］ダイアログボックスで［OK］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

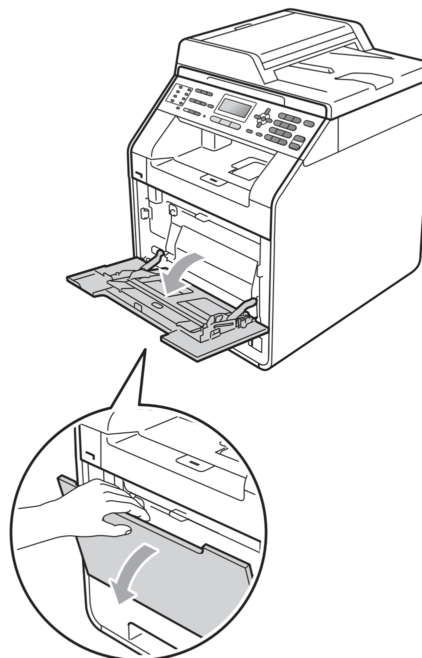
補足

印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。

多目的トレイ（MPトレイ）を使用して印刷する

1 多目的トレイを開く

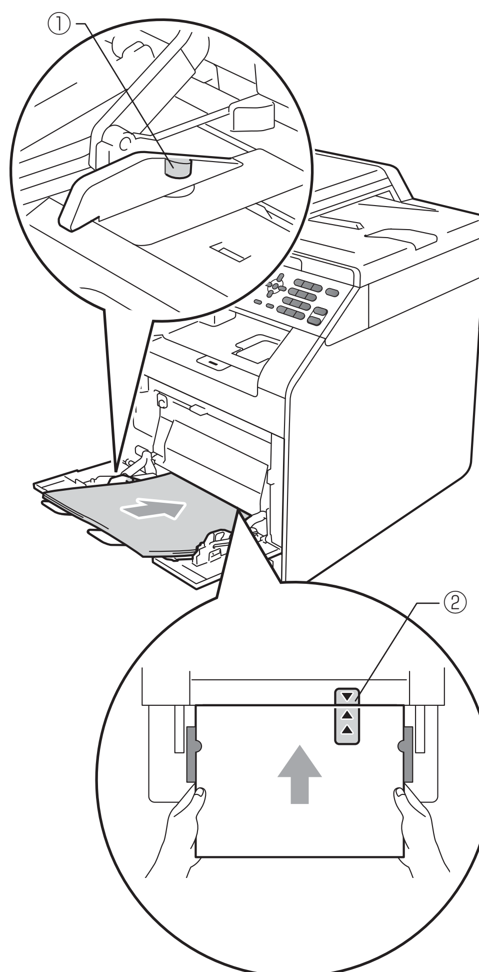
必要に応じて、用紙ストッパーを開きます。



2 印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする

補足

- 用紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。ただし、封筒は最大3枚まで、厚紙は最大25枚（163g/m^2/43lb）まで入れてください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 用紙の先端をマーク②の位置に合わせてください。
- 光沢紙の場合は、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください。



3 記録紙ガイドをつまみながら、記録紙の幅に合わせる

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

4 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

5 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックする

6 ［給紙方法］のプルダウンメニューから［MP トレイ］を選択し、［OK］をクリックする

必要に応じて、用紙サイズや向きなどの印刷設定を行ってください。

7 ［印刷］ダイアログボックスで［OK］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

注意

■用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■多目的トレイ（MPトレイ）から用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に最上面の用紙以外を押さえてください。

操作パネルからのプリント操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。



＜キャンセル＞を押す

メモリ内のデータが消去されます。



すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル（全て）」と表示されるまで<キャンセル>を押します。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。



MFC-9460CDN は＜メニュー＞→<4>→<2>→<1>を押す

＜▲＞または＜▼＞で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター オプション】を選択し、【フォント リスト】を押す



MFC-9460CDN は <1> または <2> を押す

＜▲＞または＜▼＞で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【HP LaserJet】または【BR-Script 3】を選択する



＜スタート＞を押す

フォントリストが出力されます。



＜停止 / 終了＞を押す

プリンター設定内容リストの出力

現在のプリンターの設定内容を印刷できます。



MFC-9460CDN は＜メニュー＞→<4>→<2>→<2>を押す

＜▲＞または＜▼＞で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター オプション】を選択し、【プリンター設定】を押す



＜スタート＞を押す

プリント設定内容が出力されます。



＜停止 / 終了＞を押す

テスト印刷

印刷の品質をテスト印刷して確認します。



MFC-9460CDN は < メニュー > → <4> → <2> → <3> を押す

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター オプション】を選択し、【テスト プリント】を押す



< スタート > を押す

テスト印刷が出力されます。



< 停止 / 終了 > を押す

両面印刷

プリンターの印刷設定を両面にすることができます。
両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。



MFC-9460CDN は < メニュー > → <4> → <3> を押す

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【両面印刷】を選択する



MFC-9460CDN は < ▲ > または < ▼ > を押して設定を選択する

［オフ］［オン（長辺とじ）］［オン（短辺とじ）］を選択します。

MFC-9970CDW は【オフ】、【長辺綴じ】、【短辺綴じ】から選択する

手順 4 へ進んでください。



<OK> を押す



< 停止 / 終了 > を押す

印刷カラー設定

プリンター出力色の設定ができます。

1 **MFC-9460CDN は < メニュー > → <4> → <4> を押す**

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【印刷カラー】を選択する

2 **MFC-9460CDN は < ▲ > または < ▼ > を押して設定を選択する**

［自動］［カラー］［モノクロ］を選択します。

MFC-9970CDW は【自動】、【カラー】、【モノクロ】から選択する

手順 4 へ進んでください。

3 **<OK> を押す**

4 **< 停止 / 終了 > を押す**

補足

詳細は、⇒27ページ「⑥ カラー /モノクロ」、⇒52ページ「・カラー／モノクロ」を参照してください。

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

1 **MFC-9460CDN は < メニュー > → <4> → <5> を押す**

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター リセット】を選択する

2 **MFC-9460CDN は <1> を押す**
MFC-9970CDW は【はい】を押す

プリント設定内容が初期化されます。

3 **< 停止 / 終了 > を押す**

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

プリンタードライバーの設定方法

プリンタードライバーは、本製品をプリンターとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMに収録されています。最新のプリンタードライバーは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））

ここでは、プリンタードライバーの機能について説明します。プリンタードライバーの機能の詳細は、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピューターから印刷する際にプリンタードライバーで各種の設定をすることができます。

補足

このセクションの画面は、Windows® XPの画面です。コンピューター画面は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によって異なります。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスのプリンター名から「Brother MFC-XXXX Printer」を選択し、［プロパティ］をクリックする

- プリンタードライバーの設定画面「Brother MFC-XXXX Printer のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- Windows® 7の場合は、［詳細設定］をクリックします。
- アプリケーションソフトによって画面は異なります。



補足

プリンタードライバーの設定画面は［スタート］メニューから表示することもできます。

①Windows® XPの場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
Windows Vista® の場合は、から［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
Windows® 7の場合は、から［デバイスとプリンター］を選択します。

②「Brother MFC-XXXX Printer」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
Windows® 7の場合は、［印刷設定］をクリックします。

③「Brother MFC-XXXX Printer のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定］をクリックします。
「Brother MFC-XXXX Printer 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 各項目を設定する

設定内容の詳細は⇒ 24 ページ「プリンタードライバーの設定内容」を参照してください。



4 ［OK］をクリックする

各タブで変更した設定が確定されます。［OK］をクリックすると、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

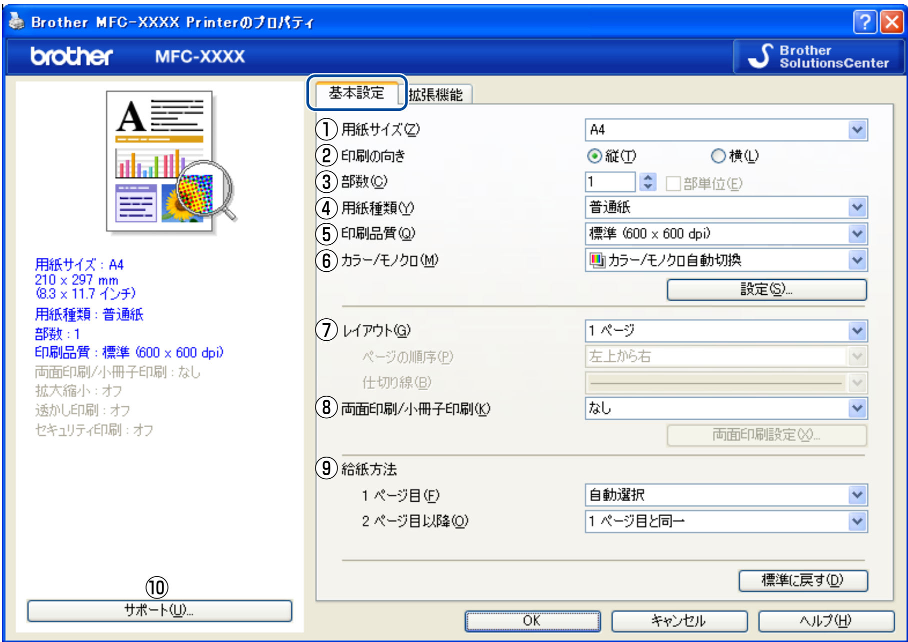
補足

- ［キャンセル］をクリックすると、各タブで変更した設定がキャンセルされ［印刷］ダイアログボックスに戻ります。
- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順3で［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックします。

プリンタードライバーの設定内容

プリンタードライバーで設定・変更できる項目について説明します。
プリンタードライバーで設定できる項目は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によっては利用できない項目があります。また、ご使用のアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

［基本設定］タブでの設定項目



次の項目を設定できます。
（下記の⇒XXページをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

①用紙サイズ：　⇒25ページ
②印刷の向き：　⇒25ページ
③部数：　⇒26ページ
④用紙種類：　⇒26ページ
⑤印刷品質：　⇒26ページ
⑥カラー／モノクロ：　⇒27ページ
⑦レイアウト：　⇒29ページ
⑧両面印刷/小冊子印刷：　⇒30ページ
⑨給紙方法：　⇒31ページ
⑩サポート：　⇒32ページ

［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。
標準（初期）設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

補足
プリンタードライバーの設定画面左側のイラスト下に現在の設定が表示されます。また、レイアウトの設定は、イラストをクリックして変更することもできます。

① 用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する［用紙サイズ］を選択します。

- A4
- レター
- リーガル
- A5
- A5（横）
- A6
- B5
- B6
- ハガキ
- 洋形4号封筒
- 洋形定形最大封筒
- A3
- B4
- ユーザー定義...

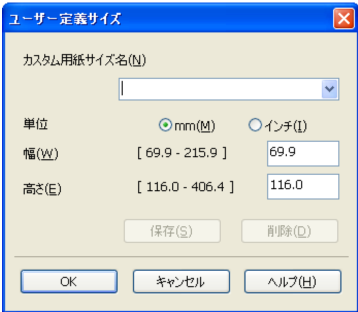
＜ユーザー定義サイズ＞

本製品は下記の範囲内で、任意の用紙サイズを印刷することができます。

最小　69.9×116ミリメートル（2.75×4.57インチ）
最大　215.9×406.4ミリメートル（8.5×16インチ）

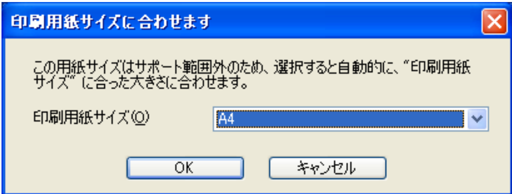
このオプションでは特定の大きさの用紙を次の方法で登録できます。

1 使いたい用紙のサイズを計ります。
2 ［用紙サイズ］から［ユーザー定義　...］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。
3 ［カスタム用紙サイズ名］に用紙名称を入力します。
4 単位は［mm］か［インチ］を選択します。
5 ［幅］と［高さ］を指定します。
6 ［保存］をクリックして用紙サイズを登録します。必要に応じて［削除］をクリックすることで、あらかじめ登録してある用紙サイズを削除することができます。
7 ［OK］をクリックすると、設定した値をユーザー定義サイズとして使用することができます。



＜印刷用紙サイズに合わせます＞

［用紙サイズ］から［A3］または［B4］を選択すると、右のダイアログボックスが表示されます。
本製品で対応していない用紙サイズ（A3、B4）を仮想の用紙サイズとして選択可能にしています。これらの用紙サイズは、ダイアログボックスの［印刷用紙サイズ］で選択した印刷可能サイズに変換して印刷します。



補足

- ●アプリケーションソフトによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。
- ●最小の用紙サイズを設定した場合は、用紙の余白設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

② 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

印刷の向き　◉縦(T)　○横(L)

縦	横

③ 部数

印刷する部数（1～999）を入力します。

部数(C) 1 □部単位(E)

部単位

「部単位」チェックボックスをチェックすると、文書一式が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。
「部単位」チェックボックスをチェックしていないときは、各ページが選択された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
例えば、3ページの文書を3部印刷したときは次のようになります。

「部単位」をチェックした場合	「部単位」をチェックしていない場合
1部目　2部目　3部目	1ページ目3部　2ページ目3部　3ページ目3部

④ 用紙種類

次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙種類を設定してください。

「普通紙」：	普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「普通紙（厚め）」：	厚めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「厚紙」：	厚めの用紙に印刷する場合
「超厚紙」：	「厚紙」「ハガキ」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒」：	封筒に印刷する場合
「封筒（厚め）」：	「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：	「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合
「再生紙」：	再生紙に印刷する場合
「ハガキ」：	はがきに印刷する場合
「ラベル紙」：	ラベル紙に印刷する場合
「光沢紙」	光沢紙に印刷する場合（給紙方法は、多目的トレイ（MPトレイ）を選択して、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください）

⑤ 印刷品質

印刷品質を次の2種類から選択します。

「標準（600×600dpi）」：	通常の印刷にお勧めします。 比較的速い時間で、品質の良い印刷ができます。
「きれい（2400dpi相当）」：	より品質の良い印刷をしたい場合、このモードを選択します。 このモードは、各ピクセルの階調性が向上するため、写真などの印刷に適しています。 ただし、印刷データが大きくなるため、印刷処理やデータ転送に時間がかかり、「標準（600×600dpi）」よりも印刷にかかる時間が長くなります。

補足

選択する「印刷品質」によって印刷時間が異なります。より品質のよい印刷をするためには、時間がかかりますが、印刷品質を下げると、印刷時間が早くなります。
「きれい（2400dpi 相当）」を選択して印刷したときに「メモリがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリを増やしてください。詳細は、⇒ユーザーズガイド応用編「メモリを増設する」を参照してください。

⑥ カラー /モノクロ

印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。

「カラー /モノクロ自動切換」： ドキュメント内を検索して、カラーデータのあるページはカラー設定に、カラーデータのないページはモノクロ設定に、ページ単位で自動に切り換えて印刷します。ただし、ご使用のデータが見た目はモノクロ文書であっても、ファイルとしてカラー情報を含んでいる場合には、カラーで印刷します。また、グレーの部分の印刷は、カラー設定で印刷することがあります。この設定を選択した場合は、印刷が若干遅くなります。

「カラー」： カラーで印刷する場合に選択します。

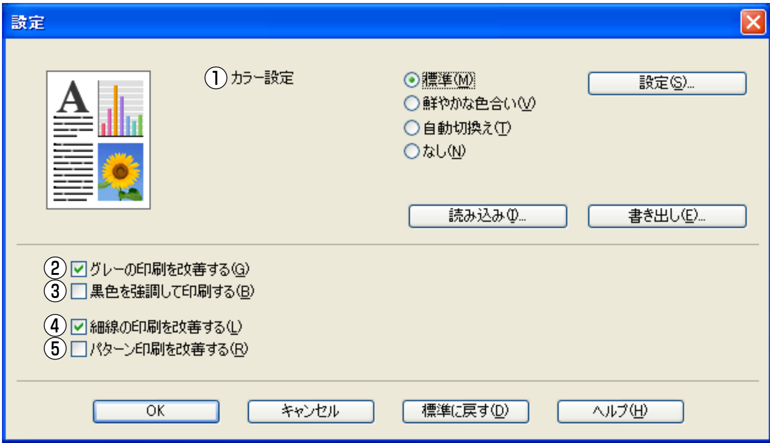
「モノクロ」： モノクロ（黒とグレースケールのテキストやオブジェクトのみで作成されたもの）で印刷する場合に選択します。カラーで作成した文書をモノクロで印刷すると、256階調のグレーで印刷されます。

［設定］： より詳細に設定する場合はこのボタンをクリックし、表示される「設定」ダイアログボックスで設定を変更します。

補足

カラートナーが交換時期になっている、またはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態では、カラー印刷を実行できません。このときプリンタードライバーの設定で［モノクロ］を選択し再度印刷し直すと、ブラックのトナーが交換時期に到達するまでモノクロ印刷できます。
また、カラートナーを消費したくない場合（モノクロ印刷の際）にも「モノクロ」を選択することによりブラックトナーだけで印刷することができます。

設定の詳細



①カラー設定： 次のカラー設定が選択できます。

- 標準 ············ 標準的な色合いで印刷します。
- 鮮やかな色合い··· 鮮やかな色合いで印刷します。
- 自動切換え ······ プリンタードライバーが、自動で上記2つのモードを切り替えて印刷します。
- なし············ 色合いの変更無しで印刷します。

［設定］
「標準」または「鮮やかな色合い」を選択したときに、明るさ、コントラストなど、さらに色合いを調節したい場合はこのボタンをクリックし、表示される「カスタム設定」ダイアログボックスで設定を変更します。「カスタム設定」ダイアログボックスによって調節した明るさ、コントラストなどの設定値、およびプレビュー画面として選択した画像は、「パラメータセットファイル」として保存することができます。このファイルを使って、例えば別のコンピューターにインストールした「MFC-XXXX Printer」プリンタードライバーに対し、同一設定にすることができます。

［読み込み］
「パラメータセットファイル」を読み込んで、上記各設定値、およびプレビュー画面用画像を、ファイルに格納されたデータに変更します。

［書き出し］
上記各設定値、およびプレビュー画面用画像データを、指定したファイル名で、「パラメータセットファイル」として保存します。

カスタム設定



- 明るさ ･････････ スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、より明るくなった印刷結果が得られます。数字を減らすと、より暗くなった印刷結果が得られます。
- コントラスト ････ スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、コントラストが強くなり、暗い部分はより暗く、明るい部分はより明るく印刷されます。
  数字を減らすとコントラストが弱くなり、暗い部分と明るい部分の差が少なくなった印刷結果が得られます。
- 赤 ･････････････ 赤の色要素を増減させた印刷結果が得られます。赤が弱くなると、シアンが強くなります。
- 緑 ･････････････ 緑の色要素を増減させた印刷結果が得られます。緑が弱くなると、マゼンタが強くなります。
- 青 ･････････････ 青の色要素を増減させた印刷結果が得られます。青が弱くなると、イエローが強くなります。
- 彩度 ････････････ スクロールバーを右へ移動させ数字を増やすと、より際立った色の印刷結果が得られます。
  数字を減らすと、より鮮やかさのなくなった印刷結果が得られます。
- ［参照］･････････ プレビュー画面の画像を変更することができます。ただし、表示できるのはビットマップファイルのみです。
- ［印刷］･････････ プレビュー画面に表示されている画像が印刷できます。

②「グレーの印刷を改善する」：グレーの部分の印刷に他の色要素が加わり、満足な印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。

③「黒色を強調して印刷する」：黒部分に十分な濃度の印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。黒部分を全トナーを用いて印刷します。

④「細線の印刷を改善する」：グラフなどの図形において、描画される線を太くします。
印刷された細線が細い場合は、このチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。アプリケーションソフトによっては、チェックしても改善されない場合があります。

⑤「パターン印刷を改善する」：グラフのようにパターンが含まれる図形において、印刷されたパターンがコンピューターの画面上に表示されたものよりも細かい場合はこのチェックボックスをチェックすることで改善される場合があります。
アプリケーションソフトによっては、チェックしても改善されない場合があります。

⑦ レイアウト

レイアウトの選択によって、1ページの画像サイズを縮小して、複数のページを1枚の用紙に印刷したり、画像サイズを拡大して1ページを複数の用紙に印刷することができます。

レイアウト(G)	2 ページ
ページの順序(P)	左から右
仕切り線(B)	――――

ページの順序

レイアウト機能を使って、複数のページ(最大25ページ)を1枚の用紙に印刷するときは、ページの並び順を選ぶことができます。

レイアウト／ページの順序を使用したときの例

レイアウト	ページの順序	印刷結果
2ページ	左から右	2ページを縮小して1枚の用紙に印刷します。
4ページ	左上から右	4ページを縮小して1枚の用紙に印刷します。
	左上から下	4ページを縮小して1枚の用紙に印刷します。
	右上から左	4ページを縮小して1枚の用紙に印刷します。
	右上から下	4ページを縮小して1枚の用紙に印刷します。

仕切り線

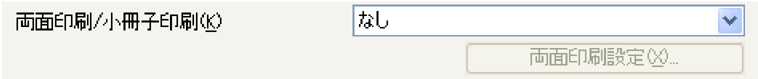
レイアウト機能を使って、複数のページ（最大25ページ）を1枚の用紙に印刷するときは、各ページの境界に実線または点線の境界線を入れることができます。

切り取り線を印刷

レイアウト機能を使って、1枚の用紙を複数のページ（最大縦5×横5倍）に印刷するときは、印刷部分と余白の境界に切り取り線を印刷できます。

⑧ 両面印刷/小冊子印刷

両面印刷や小冊子のような印刷物を作ることができます。



「なし」：　用紙の片面に印刷します。両面印刷や小冊子印刷を行いません。

「両面印刷」：　自動両面印刷をするときに選択します。

「両面印刷（手動）」：　手動両面印刷するときに選択します。印刷を開始するとコンピューターの画面に用紙のセット方法などが表示されます。
画面の指示に従って印刷してください。

「小冊子印刷」：　自動両面印刷機能とレイアウト機能の「2ページ」（2ページ分を1枚の用紙で印刷）を組み合わせて、小冊子のような印刷物を作るときに選択します。

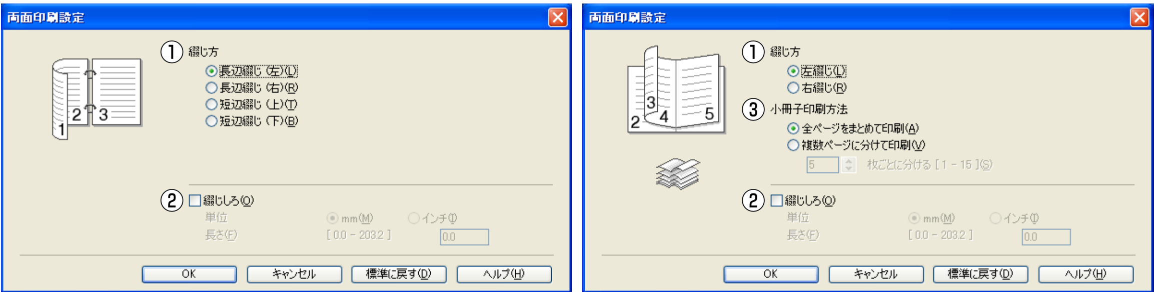
「小冊子印刷（手動）」：　手動両面印刷機能とレイアウト機能の「2ページ」（2ページ分を1枚の用紙で印刷）を組み合わせて、小冊子のような印刷物を作るときに選択します。印刷を開始するとコンピューターの画面に用紙のセット方法などが表示されます。
画面の指示に従って印刷してください。

［両面印刷設定］　より詳細に設定する場合はこのボタンをクリックし、表示される「両面印刷設定」ダイアログボックスで設定を変更します。

両面印刷設定の詳細

両面印刷や小冊子印刷、または用紙の向きを選択すると、12種類の綴じ方や綴じしろの設定ができます。

<両面印刷>　　<小冊子印刷>



① **綴じ方（両面印刷）**

印刷の向き、縦または横など8種類の綴じ方があります。

小冊子印刷の場合は、縦または横など4種類の綴じ方があります。

縦

長辺綴じ（左）	長辺綴じ（右）	短辺綴じ（上）	短辺綴じ（下）
1 2 3	3 2 1	1 2 3	3 2 1

横

長辺綴じ（上）	長辺綴じ（下）	短辺綴じ（右）	短辺綴じ（左）
1 2 3	3 2 1	3 2 1	1 2 3

① **綴じ方（小冊子印刷）**

縦

左綴じ	右綴じ
2 3 4 5	5 4 3 2

横

上綴じ	下綴じ
2 3 4 5	5 4 3 2

② **綴じしろ**

「綴じしろ」を選択すると、綴じしろの量をミリメートルまたはインチで設定できます。

③ **小冊子印刷方法（小冊子印刷）**

「全ページをまとめて印刷」：すべてのページをまとめて小冊子印刷をします。印刷されたすべての用紙を真中で折り曲げると小冊子になります。

「複数ページに分けて印刷」：指定したページ数ごとに小冊子印刷をします。印刷された複数の束を重ね合わせることで一つの小冊子が作成できます。ページ数が多く、一度に綴じるのが難しい場合にご使用をお勧めします。

⑨給紙方法

給紙するトレイを選択します。

給紙方法

1 ページ目(F)	自動選択
2 ページ目以降(O)	1 ページ目と同一

「自動選択」：　印刷データと同じ用紙サイズの紙が入っている記録紙トレイを自動的に選択し、印刷します。

「トレイ 1」：　記録紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。

「トレイ 2」（オプション）：
増設記録紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。

「MP トレイ」（多目的トレイ）：
多目的トレイ（MPトレイ）から普通紙、封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。

「手差し」：　多目的トレイ（MPトレイ）から普通紙、封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。

また、1ページ目と2ページ目以降で給紙方法を切り替えることができます。

「1ページ目」：　1ページ目を印刷するときの給紙方法を設定します。

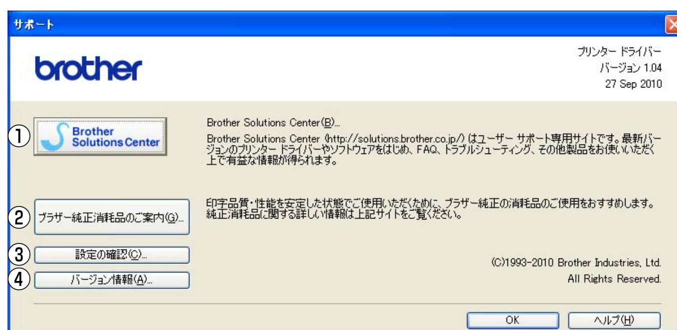
「2ページ目以降」：　2ページ目以降を印刷するときの給紙方法を設定します。

補足

- 記録紙トレイの用紙サイズの初期設定は、フリーです。どのサイズの印刷データを受信してもトレイの優先順位に従った記録紙トレイから給紙し、印刷します。
- トレイごとに用紙を設定したい場合（例：多目的トレイ（MPトレイ）はA5の用紙、トレイ1はA4の用紙など）は、操作パネルから各トレイの用紙サイズを設定してください。⇒ユーザーズガイド 基本編「基本設定機能」を参照してください。操作パネルで設定が終わったら、プリンタードライバーの自動検知機能を使用して、各トレイの用紙サイズ設定を検知する必要があります。⇒42ページ「［オプション］タブでの設定項目」を参照してください。

⑩ サポート

ドライバーのバージョンと設定情報が表示されます。また、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）へのリンクもあります。
［サポート］をクリックすると、次の画面が表示されます。



① **Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）**
　よくあるご質問（Q&A）、ユーザーズガイド、最新のドライバーやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているサポートサイトです。

② **ブラザー純正消耗品のご案内**
　ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページが表示されます。

③ **設定の確認**
　クリックすると、現在の基本的なドライバー設定の一覧が表示されます。

④ **バージョン情報**
　プリンタードライバーについての情報を表示します。

［拡張機能］タブでの設定項目



次の項目を設定できます。
（下記の⇒XXページをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

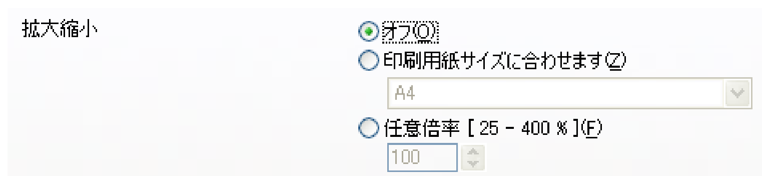
①拡大縮小：　⇒33ページ
②上下反転：　⇒33ページ
③透かし印刷を使う：　⇒33ページ
④日付・時刻・IDを印刷する：　⇒35ページ
⑤トナー節約モード：　⇒35ページ
⑥セキュリティ印刷：　⇒35ページ
⑦設定保護管理機能：　⇒38ページ
⑧ユーザー認証：　⇒39ページ
⑨その他特殊機能：　⇒40ページ

［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。
標準（初期）設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

補足
プリンタードライバーの設定画面左側に現在の設定が表示されます。

① 拡大縮小

アプリケーションソフトで作成した文書や画像のデータを変更せずに、ページイメージをそのまま拡大縮小して用紙サイズを変更し、印刷できます。



「オフ」：　画面に表示されたとおりに文書を印刷します。
「印刷用紙サイズに合わせます」：　文書が非定形サイズの場合や標準サイズの用紙しかない場合は、「印刷用紙サイズに合わせます」を選択し、「印刷用紙サイズ」で選択した用紙サイズに拡大縮小して印刷します。
「任意倍率」：　「任意倍率［25－400％］」で設定した倍率で印刷します。

② 上下反転

チェックボックスをチェックすると、上下を逆にして印刷します。

③ 透かし印刷を使う

ロゴやテキストを透かしとして文書に入れることができます。あらかじめいくつか透かしが登録されていますが、ビットマップファイルを作成して使うことができます。
チェックボックスをチェックすると、「透かし設定」から選択した透かしを文書に入れて印刷できるようになります。また、選択した透かしは編集することもできます。
チェックボックスをチェックし、［設定］をクリックすると、透かし印刷設定ダイアログボックスが表示されます。

透かし印刷設定の詳細



① **透かし設定**

使用する透かしを選択します。
［設定］をクリックすると、⇒34ページ「透かし印刷編集」画面 が表示され、透かしのサイズやページ上の位置を変更することができます。新しい透かしを追加したい場合は、［追加］をクリックし、「スタイル」の［文字を使う］または［ビットマップを使う］を選択します。
［削除］をクリックして表示される確認メッセージの［はい］をクリックすると、選択した透かしを削除できます。

② **透過印刷する**

「透過印刷する」チェックボックスをチェックすると、文書に対して透過して透かしが印刷されます。これをチェックしていないときは、文書の一番上に透かしが印刷されます。

「透過印刷する」をチェックした場合	「透過印刷する」をチェックしていない場合
あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ	あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ １２３４５ あいうえお ＡＢＣＤＥ

③ **袋文字で印刷する**

透かしの輪郭のみを印刷したいときは、「袋文字で印刷する」チェックボックスをチェックします。

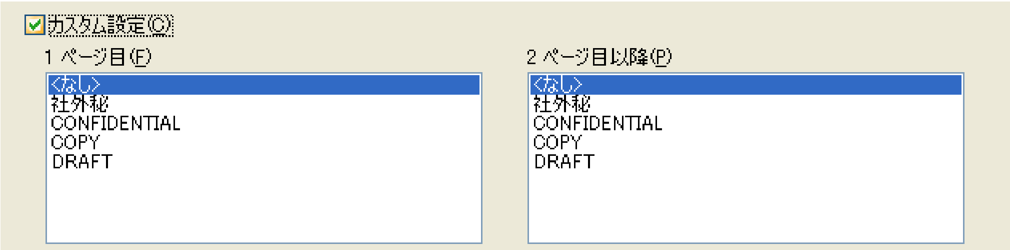
「袋文字で印刷する」をチェックした場合	「袋文字で印刷する」をチェックしていない場合
社外秘	社外秘

④ **カスタム設定**

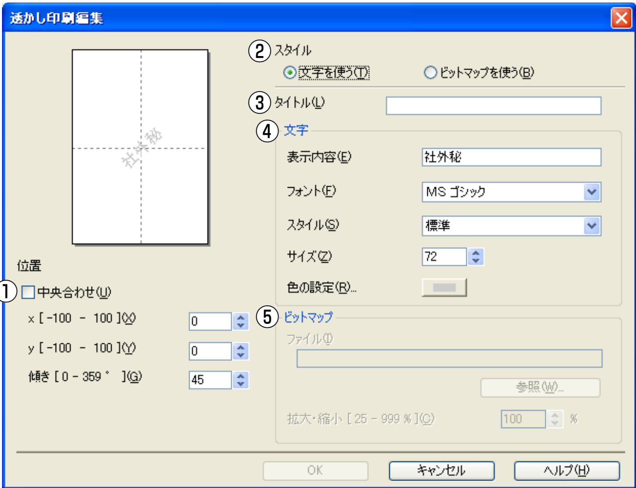
「カスタム設定」には、次の選択項目があります。

「1ページ目」：　　1ページ目に印刷する透かしを選択します。

「2ページ目以降」：2ページ目以降に印刷する透かしを選択します。



透かし印刷編集の詳細



① **位置**

ページ上の透かしを配置する位置や角度を設定します。

② **スタイル**

新しく追加する透かしが、文字かビットマップかを選択します。

③ **タイトル**

設定した透かしの名前を設定します。ここで設定した名前は、「透かし選択」に表示されます。

④ **文字**

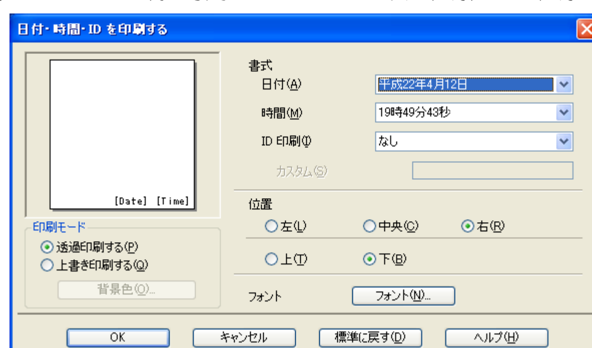
透かしの文字を「表示内容」に入力して、「フォント」、「スタイル」を選択し、「サイズ」（8〜255）、「色の設定」を設定します。

⑤ **ビットマップ**

「ファイル」ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、［参照］をクリックして、ビットマップファイルを指定します。
「拡大・縮小」でイメージのサイズ（25%〜999%）を設定します。

④ 日付・時間・IDを印刷する

日付、時間およびIDを自動で文書に入れて印刷することができます。
拡張機能タブのウインドーで「日付・時間・IDを印刷する」をチェックし［設定］をクリックすると、「日付・時間・IDを印刷する」ダイアログボックスが表示されます。日付、時間およびIDの書式や印刷位置、印刷モードの各項目を設定してください。



⑤ トナー節約モード

「トナー節約モード」で印刷することにより、消費するトナーを節約することができます。

補足

写真やモノクロ画像を印刷する場合は、「トナー節約モード」をおすすめしません。

⑥ セキュリティ印刷

コンピューターから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンターの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

コンピューター側でセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する



コンピューターで印刷を実行する



印刷データが本製品に届き、本製品のメモリ内に保持される



本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンターの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データは本製品のメモリから消去されます。

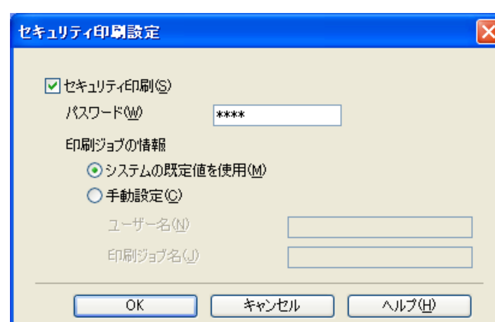
● コンピューター側の操作

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックする

3 ダイアログボックスの［拡張機能］タブで、セキュリティ印刷の［設定］をクリックする

4 ［セキュリティ印刷設定］で、［セキュリティ印刷］チェックボックスにチェックを付ける



5 パスワード（半角数字４桁）と印刷ジョブ情報を設定する

6 ［OK］をクリックする

MFC-XXXX のダイアログボックスを閉じるためにもう一度［OK］をクリックしてください。

7 ［印刷］ダイアログボックスで印刷を実行する

● 本製品の操作（MFC-9460CDN の場合）

8 ＜セキュリティ＞を押す

メモリにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。



セキュリティ印刷をします。

9 ＜▲＞または＜▼＞を押してユーザーを選択し、<OK> を押す



10 < ▲ > または < ▼ > を押して印刷したいデータを選択し、<OK> を押す

セキュリティ印刷
文書名?
▲ 1. TEST1
▼ 2. TEST2
▲▼で選択&OKボタン

11 4 桁のパスワードを入力し、<OK> を押す

セキュリティ印刷
TEST1
パスワード:XXXX
入力&OKボタン

12 < ▲ > または < ▼ > を押して「プリント」を選択し、<OK> を押す

印刷をしないでデータを削除する場合は、< ▲ > または < ▼ > を押して「消去」を選択し、<OK> を押してください。

セキュリティ印刷
TEST1
▲ プリント
▼ 消去
▲▼で選択&OKボタン

13 プリントしたい部数（1 ～ 999）をダイヤルボタンで入力し、<OK> を押す

印刷を開始します。

セキュリティ印刷
TEST1
部数 = 1
入力&OKボタン

● 本製品の操作（MFC-9970CDW の場合）

8 【セキュリティ印刷】を押す

メモリにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。

2011.8.21 15:25 FAX
電話帳 メニュー セキュリティ印刷 USBダイレクトプリント

9 【▲】または【▼】を押してユーザーを選択する

セキュリティ印刷 ユーザー選択
ユーザー1
ユーザー2
ユーザー3
ユーザー4

10 【▲】または【▼】を押して印刷したいデータを選択する

セキュリティ印刷 ジョブ選択
1 TEST1
2 TEST2
3 TEST3
4 TEST4

11 4 桁のパスワードを入力し、【OK】を押す

パスワード
XXXX
クリア
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 OK

12 【印刷】を押す

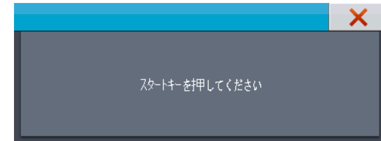
セキュリティ印刷
1 TEST
印刷 削除

13 プリントしたい部数（001 ～ 999）を液晶ディスプレイのテンキー、またはダイヤルボタンで入力し、【OK】を押す

部数入力
001
クリア
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 OK

14 ＜スタート＞を押す

印刷を開始します。



⑦ 設定保護管理機能

「設定保護管理機能」の［設定］をクリックすると、部数印刷、レイアウト・拡大縮小、カラー / モノクロ、透かし、日付・時間・ID印刷のロックをすることができます。

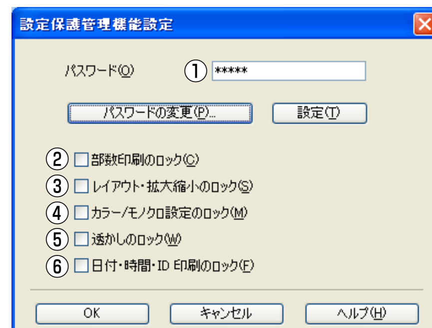
補足

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューの［印刷］から表示したプリンタードライバーの設定画面では、設定保護管理機能の項目が表示されません。プリンタードライバーの設定画面は、次の手順で［スタート］メニューから表示してください。

①Windows® XPの場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
Windows Vista® の場合は、から［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
Windows® 7の場合は、から［デバイスとプリンター］を選択します。

②「Brother MFC-XXXX Printer」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
Windows® 7の場合は、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

③「Brother MFC-XXXX Printerのプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定］をクリックします。
「Brother MFC-XXXX Printer 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。
Windows® 7の場合は、［基本設定］をクリックします。



① **パスワード**

保護したい機能を変更する場合は、登録したパスワードを入力し、［設定］をクリックすると、各保護対象機能のチェックボックスがグレー表示から解除されます。
パスワードを変更したいとき、またははじめてこの機能を設定する場合に、［パスワードの変更］をクリックし、パスワードを設定します。
パスワードは、半角英数字で25文字以内で入力してください。

② **部数印刷のロック**

部数印刷をロックして複数部印刷をできないようにします。

③ **レイアウト・拡大縮小のロック**

現在設定されているレイアウト・拡大縮小設定をロックします。もし、レイアウト設定が「2ページ」以外に設定されている場合、小冊子印刷ができなくなります。

④ **カラー /モノクロ設定のロック**

モノクロ印刷にロックされます。

⑤ **透かしのロック**

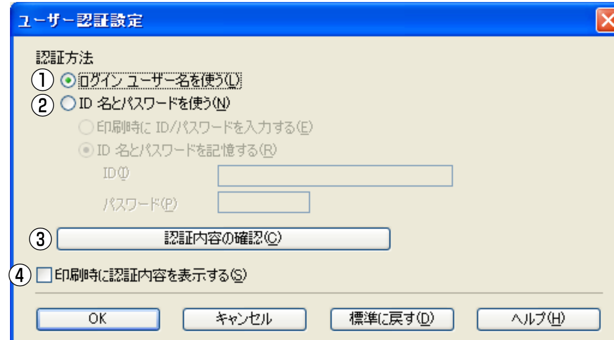
現在設定されている透かし設定をロックします。

⑥ **日付・時間・ID印刷のロック**

現在設定されている日付・時間・ID印刷の設定をロックします。

⑧ ユーザー認証

セキュリティ機能ロックによってコンピューターからの印刷を制限されている場合は、「ユーザー認証設定」ダイアログボックスにIDとパスワードを入力する必要があります。
［設定］をクリックし、表示された「ユーザー認証設定」ダイアログボックスでIDとパスワードを入力してください。
セキュリティ機能ロックに、コンピューターにログインするために使用しているユーザー名が登録されている場合は、「ログインユーザー名を使う」を選択すると、IDとパスワードの入力が不要になります。



① ログインユーザー名を使う

「②ID名とパスワードを使う」の代わりに、コンピューターにログインするために使用しているユーザー名で認証します。

② ID名とパスワードを使う

パスワードは半角4桁数字、ID名は14文字以内で入力してください。

- 印刷時にID/パスワードを入力する
  毎回印刷開始前に、IDとパスワードの入力画面を表示します。
- ID名とパスワードを記憶する
  セキュリティ機能ロックで設定されているIDとパスワードを入力します。

③ 認証内容の確認

本製品と通信し、現在のコンピューターからの印刷の制限状況を取得して表示します。

④ 印刷時に認証内容を表示する

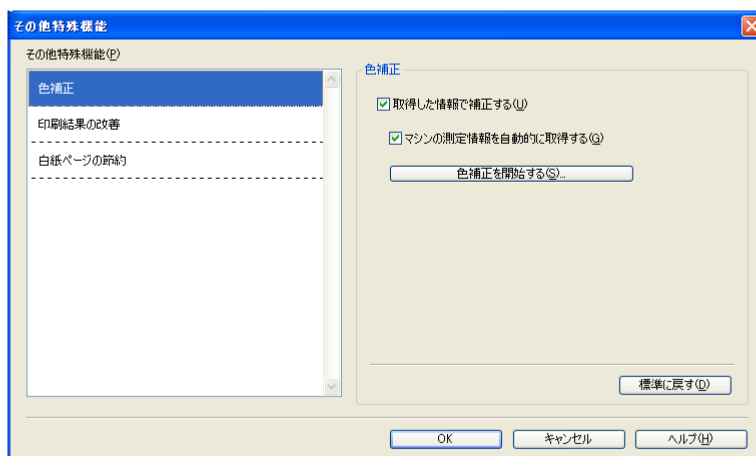
毎回印刷開始前に、現在のコンピューターからの印刷の制限状況を表示します。

補足

ユーザー認証を行うには、本製品でセキュリティ機能ロックを「On」に設定し、認証を行うログインユーザー名やID・パスワードをあらかじめ設定しておく必要があります。
詳細は、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

⑨ その他特殊機能

［その他特殊機能］をクリックすると、［その他特殊機能］ダイアログボックスが表示されます。



次の印刷機能を設定できます。
（下記の⇒XXページをクリックすると、各機能の詳細を説明しているページが表示されます。）

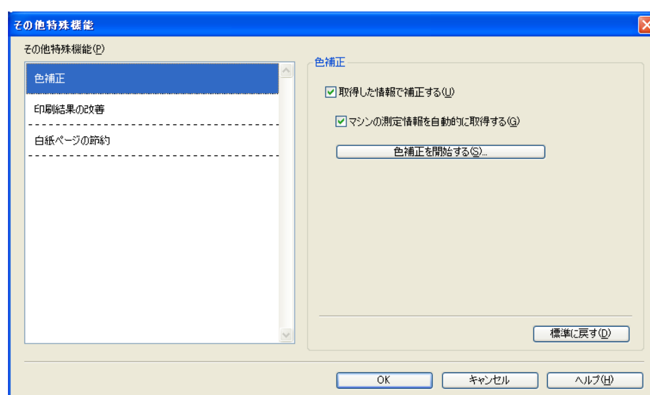
- 色補正：　⇒40ページ
- 印刷結果の改善：　⇒41ページ
- 白紙ページの節約：　⇒41ページ

［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。
標準（初期）設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

色補正
各カラーの印刷密度は、本製品の設置場所の温度や湿度といった環境により変化します。
本製品に格納されているカラー測定情報を利用してカラー印刷密度を改善し、色補正することができます。

- 取得した情報で補正する
  取得したカラー測定情報を使用しない場合は、チェックを外してください。
- マシンの測定情報を自動的に取得する
  最新の測定情報を自動的に取得します。

［色補正を開始する］をクリックすると、本製品に色補正を実行させ、その後測定情報を取得します。



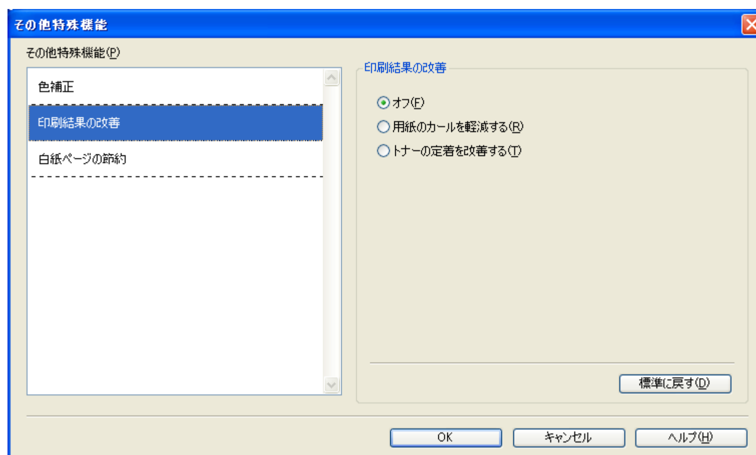
印刷結果の改善

印刷時の品質を改善することができます。

- 用紙のカールを軽減する

  印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」を選択することでカールが軽減される場合があります。
  改善されない場合は、⇒24ページ［基本設定］タブの用紙種類をより薄いものに変更してください。
- トナーの定着を改善する

  印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」を選択することで改善される場合があります。
  改善されない場合は、⇒24ページ［基本設定］タブの用紙種類をより厚いものに変更してください。

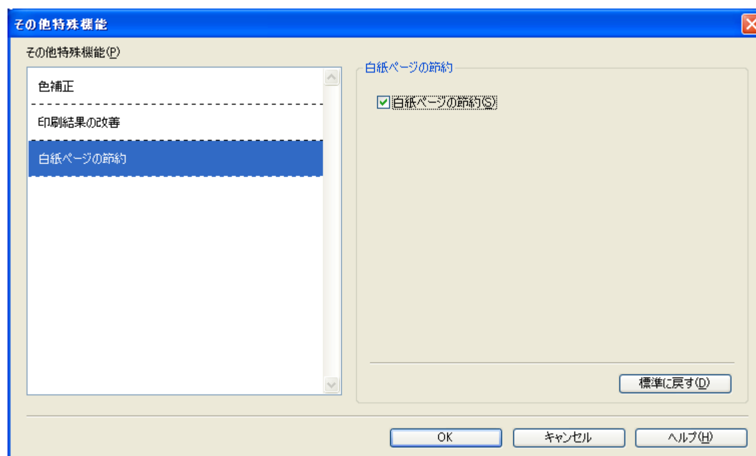


白紙ページの節約

「白紙ページの節約」のチェックボックスをチェックすると、自動的に白紙ページを印刷しないようにすることができます。
ただし、以下の場合は設定が無効になります。

- 透かし印刷
- 日付・時間・IDを印刷
- レイアウト印刷
- 両面/小冊子印刷※

  ※ 両面印刷は綴じしろを指定した場合のみ



[オプション] タブでの設定項目

オプションの「増設記録紙トレイ」(LT-300CL) を装着し、使用可能にするには、ドライバーにオプションをインストールする必要があります。オプションタブでは、本製品に装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタードライバーの機能に反映されます。

[オプション] タブを表示する

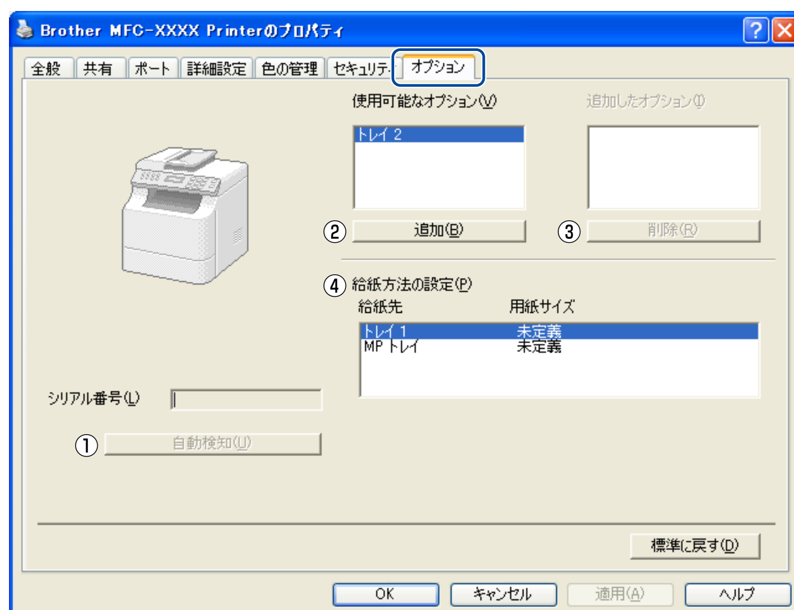
1 プリンタードライバーの一覧を表示する

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタと FAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  から［コントロール パネル］をクリックして開き、［プリンタ］をクリックして開きます。
- Windows® 7の場合
  から［デバイスとプリンター］を選択します。

2 本製品を選択し、[ファイル] ー [プロパティ] をクリックする

- Windows Vista®の場合
  ［整理］－［プロパティ］をクリックします。
- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。
  Windows® 7の場合
  ［プリンターのプロパティ］をクリックします。

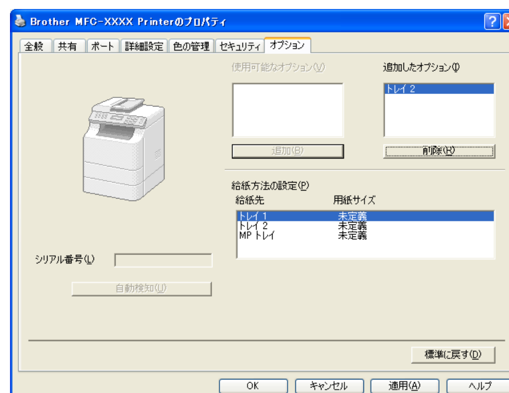
3 [オプション] タブをクリックする



Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

① **自動検知**

本製品に装着されているオプションや給紙先の用紙サイズ設定情報を取得して、オプション設定を自動的に行います。同時に、画面には［増設記録紙トレイ］が設置された本製品のイラストと認識されたシリアル番号が表示されます。



補足

自動検知による設定情報の取得は、プリンタードライバーが選択している印刷先のポートに本製品が接続され、かつ双方向通信が働く状態であることが必要です。

② **追加**

使用可能なオプションのリストから追加するオプションを選択して、追加ボタンをクリックします。

③ **削除**

追加したオプションのリストから削除するオプションを選択して、削除ボタンをクリックします。

④ **給紙方法の設定**

各給紙先に対して設定されている用紙サイズの情報を表示します。

トレイの用紙サイズは、操作パネルから設定できます。⇒ユーザーズガイド 基本編「基本設定機能」を参照してください。操作パネルで設定が終わったら、①の自動検知機能を使用して、各トレイの用紙サイズ設定を検知する必要があります。

BR-Script3プリンタードライバーについて

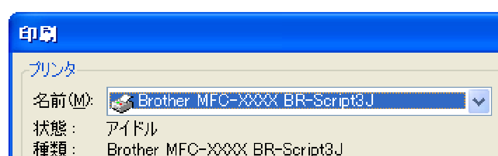
BR-Script3プリンタードライバーはWindows® 2000/XP/Windows Vista®/Windows® 7をサポートしています。プリンタードライバーは、付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM に収録されています。「かんたん設置ガイド」に従ってインストールしてください。詳しくは、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

BR-Script3プリンタードライバーを設定する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択する**

2 **［印刷］ダイアログボックスの中で本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックする**

アプリケーションソフトによって画面は異なります。



補足

プリンタードライバーの設定画面は、「スタート」メニューから表示することもできます。

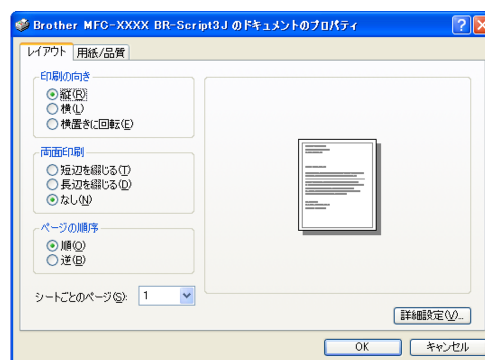
① Windows® 2000の場合は、［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。
Windows® XPの場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
Windows Vista® の場合は、から［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
Windows® 7の場合は、から［デバイスとプリンター］を選択します。

②「Brother MFC-XXXX BR-Script3J」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
Windows® 7の場合は、［印刷設定］をクリックします。

③「Brother MFC-XXXX BR-Script3J のプロパティ」ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定］をクリックします。
「Brother MFC-XXXX BR-Script3J 印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 **各項目を設定する**

設定内容の詳細は⇒ 47 ページを参照してください。



4 **［OK］をクリックする**

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

ポートを選択する

［Brother MFC-XXXX BR-Script 3J］のポートが選択されていることを確認します。

1 **本製品のプリンタードライバーのアイコンを表示する**

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタと FAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  から［コントロール パネル］をクリックして開き、［プリンタ］をクリックして開きます。
- Windows® 7の場合
  から［デバイスとプリンター］を選択します。

2 **［Brother MFC-XXXX BR-Script 3J］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする**

Windows® 7 の場合は、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

3 **［ポート］タブをクリックする**

4 **［Brother MFC-XXXX BR-Script 3J］のポートがチェックされていることを確認する**

選択されていないときは、［Brother MFC-XXXX BR-Script 3J］と表示されているチェックボックスをチェックします。



フォントオプションを指定する

TrueTypeフォントとPostScriptフォントの使用について、オプションを指定します。

1 本製品のプリンタードライバーのアイコンを表示する

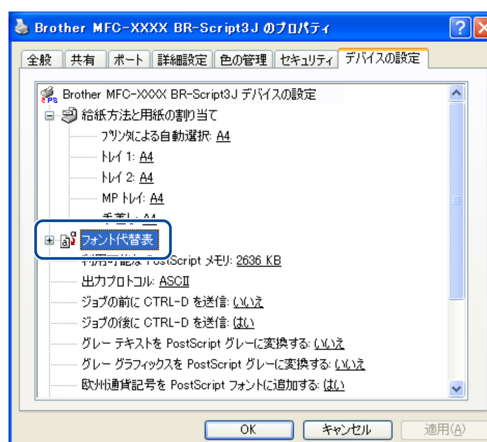
- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［プリンタと FAX］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  から［コントロール パネル］をクリックして開き、［プリンタ］をクリックして開きます。
- Windows® 7の場合
  から［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［Brother MFC-XXXX BR-Script 3J］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

Windows® 7 の場合は、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスの設定］タブをクリックする

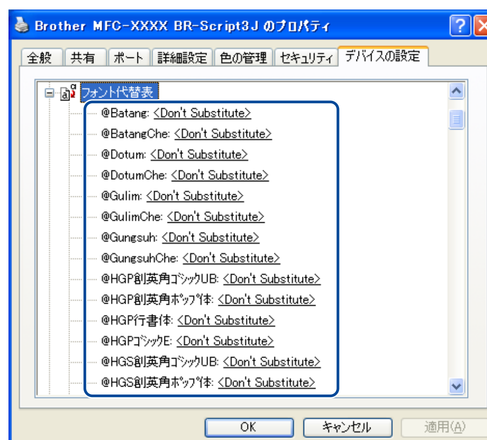
4 ［フォント代替表］をダブルクリックする



5 TrueType フォントオプションを指定する

PostScript フォントを使用する代わりに、TrueType フォントを使って印刷する場合は、［Don't Substitute］を選択します。

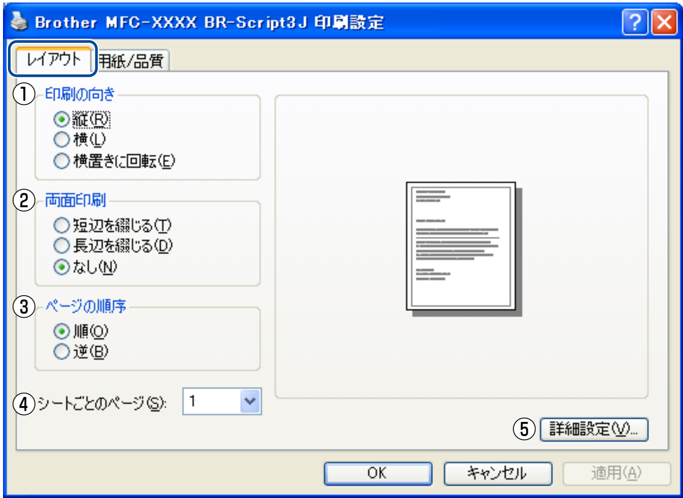
TrueType フォントを使用する代わりに、PostScript フォントを使って印刷する場合は、［フォント名］を選択します。



BR-Script3プリンタードライバーの設定内容

プリンタードライバーで変更できる設定項目について説明します。
設定できる項目は、OSが異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いのOSによっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

［レイアウト］タブでの設定項目



設定後［OK］をクリックして、選択した設定を確定します。

次の項目を設定できます。
（下記の⇒XXページをクリックすると、各項目の詳細を説明しているページが表示されます。）

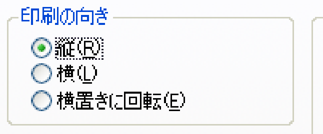
①印刷の向き：　⇒47ページ
②両面印刷：　⇒48ページ
③ページの順序：　⇒48ページ
④シートごとのページ：　⇒49ページ
⑤詳細設定：　⇒50ページ

［OK］をクリックして、変更した設定を確定します。

補足
設定項目は、プリンタードライバーの設定画面右側のイラストに現在の設定が表示されます。

① 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦、横または横置きに回転）を選択します。

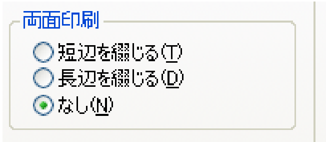


縦	横

「横置きに回転」：　レイアウトには一切影響を与えず、印刷面を反時計回りに90度回転して印刷します。

② 両面印刷

自動両面印刷の設定ができます。



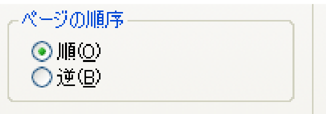
縦

短辺を綴じる	長辺を綴じる
1 面 2 面	1 面　2 面

横

短辺を綴じる	長辺を綴じる
1 面　2 面	1 面 2 面

③ ページの順序



「順」：　1ページ目が1番上になるように印刷されます。
「逆」：　最後のページが1番上になるように印刷されます。

④ シートごとのページ

1ページの画像サイズを縮小して、複数のページを1枚の用紙に印刷します。

シートごとのページ(S): 1

シートごとのページを使用したときの例

縦

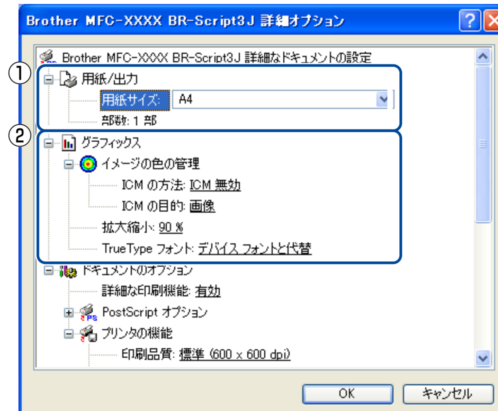
2ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	4ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	6ページ分を1枚の用紙で印刷する場合
9ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	16ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	小冊子で印刷する場合

横

2ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	4ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	6ページ分を1枚の用紙で印刷する場合
9ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	16ページ分を1枚の用紙で印刷する場合	小冊子で印刷する場合

⑤ 詳細設定

［詳細設定］をクリックすると、［Brother MFC-XXXX BR-Script3J 詳細オプション］ダイアログボックスが表示されます。



詳細オプションでは、次の項目を設定できます。

① 用紙/出力

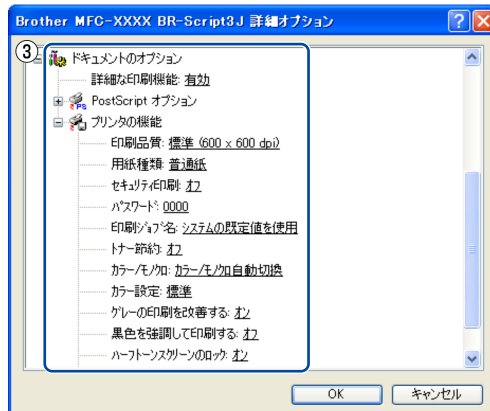
用紙サイズと部数を選択します。

- 用紙サイズ
  使用する用紙サイズを選択します。
- 部数
  印刷部数を設定します。

② グラフィックス

イメージの色の管理、拡大縮小、TrueTypeフォントを設定します。

- イメージの色の管理
  ICMによるカラー画像の色補正に関する設定をします。
  - ICMの方法
    色補正の計算をホストコンピューターまたは本製品で行うなどの設定をします。
  - ICMの目的
    印刷する対象物や目的に適したカラー画像の作成方法を設定します。
- 拡大縮小
  文書の拡大、縮小倍率を%で指定します。
- TrueTypeフォント
  TrueTypeフォントのオプションを指定します。「デバイスフォントと代替」（初期設定）を選択すると、TrueTypeフォントを含む文書の印刷用に、同等のプリンターフォントを使用します。この設定を使用すると印刷速度は速くなりますが、プリンターフォントでサポートされていない文字の場合は、欠落する恐れがあります。
  プリンターフォントの代わりにTrueTypeフォントをダウンロードして使用する場合は、「ソフトフォントとしてダウンロード」を選択してください。



③ ドキュメントのオプション

「プリンタの機能」の一覧から設定内容の変更ができます。

- 印刷品質
  印刷品質を次の2種類から選択します。
  - 標準（600×600dpi）
    通常の印刷にお勧めします。比較的速い時間で、品質の良い印刷ができます。
  - きれい（2400dpi相当）
    より品質の良い印刷をしたい場合、このモードを選択します。
    このモードは、各ピクセルの階調性が向上するため、写真などの印刷に適しています。
    ただし、印刷データが大きくなるため、印刷処理やデータ転送に時間がかかり、「標準（600×600dpi）」よりも印刷にかかる時間が長くなります。

補足

選択する「印刷品質」によって印刷時間が異なります。より品質のよい印刷をするためには、時間がかかりますが、印刷品質を下げると、印刷時間が早くなります。
「きれい（2400dpi 相当）」を選択して印刷したときに「メモリがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリを増やしてください。詳細は、⇒ユーザーズガイド応用編「メモリを増設する」を参照してください。

- 用紙種類
  次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙種類を設定してください。
  - 普通紙：　普通紙やコピー用紙に印刷する場合
  - 普通紙（厚め）：　厚めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
  - 厚紙：　厚めの用紙に印刷する場合
  - 超厚紙：　「厚紙」「ハガキ」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
  - 封筒：　封筒に印刷する場合
  - 封筒（厚め）：　「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
  - 封筒（薄め）：　「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合
  - 再生紙：　再生紙に印刷する場合
  - ラベル紙：　ラベル紙に印刷する場合
  - ハガキ：　はがきに印刷する場合
  - 光沢紙：　光沢紙に印刷する場合（給紙方法は、多目的トレイ（MPトレイ）を選択して、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください）
- セキュリティ印刷
  「セキュリティ印刷」を選択すると、本製品に文書を送信するときに、パスワードで文書にセキュリティをかけ、パスワードを知る人だけがその文書を印刷することができます。
  文書は本製品側で保護されているため、本製品の操作パネルからパスワードを入力して印刷します。また、文書にはパスワードと印刷ジョブ名を設定する必要があります。セキュリティ印刷についての詳細は、⇒35ページ「⑥ セキュリティ印刷」を参照してください。
- パスワード
  送信したセキュリティ文書のパスワードを選択します。
- 印刷ジョブ名
  セキュリティ文書の印刷ジョブ名を選択します。
- トナー節約
  「オン」を選択することにより、消費するトナーを節約することができます。
  ただし、印刷が薄くなります。初期設定は「オフ」です。

補足

写真やモノクロ画像を印刷する場合は、「オン」に設定しないでください。

- カラー／モノクロ
  印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。
  - カラー /モノクロ自動切換：ドキュメント内を検索して、カラーデータのあるページはカラー設定に、カラーデータのないページはモノクロ設定に、ページ単位で自動に切り換えて印刷します。ただし、ご使用のデータが見た目はモノクロ文書であっても、ファイルとしてカラー情報を含んでいる場合には、カラーで印刷します。また、グレーの部分の印刷は、カラー設定で印刷することがあります。この設定を選択した場合は、印刷が若干遅くなります。
  - カラー：カラーで印刷する場合に選択します。
  - モノクロ：モノクロ（黒とグレースケールのテキストやオブジェクトのみで作成されたもの）で印刷する場合に選択します。カラーで作成した文書をモノクロで印刷すると、256階調のグレーで印刷されます。

補足

カラートナーが交換時期になっている、またはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態では、カラー印刷を実行できません。このときプリンタードライバーの設定で［モノクロ］を選択し再度印刷し直すと、ブラックのトナーが交換時期に到達するまでモノクロ印刷できます。
また、カラートナーを消費したくない場合（モノクロ印刷の際）にも「モノクロ」を選択することによりブラックトナーだけで印刷することができます。

- カラー設定
  次のカラー設定が選択できます。
  - 標準：標準的な色合いで印刷します。
  - 鮮やかな色合い：鮮やかな色合いで印刷します。
  - なし：色合いの変更無しで印刷します。
- グレーの印刷を改善する
  グレーの部分の印刷に他の色要素が加わり、満足な印刷結果が得られない場合はこの機能を選択します。
- 黒色を強調して印刷する
  黒部分に十分な濃度の印刷結果が得られない場合は、この機能を設定します。
  黒部分を全トナーを用いて印刷します。
- ハーフトーンスクリーンのロック
  他のアプリケーションでハーフトーンの設定を適用しないようにします。初期設定は「オン」です。
- 高精度画像印刷
  高精度の画像や写真を印刷するときに「オン」を選択します。高画質にはなりますが、印刷時間が長くなります。
- 印刷結果の改善
  - オフ
  - 用紙のカールを軽減する：印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」を選択することでカールが軽減される場合があります。
    改善されない場合は、⇒24ページ［基本設定］タブの用紙種類をより薄いものに変更してください。
  - トナーの定着を改善する：印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」を選択することで改善される場合があります。
    改善されない場合は、⇒24ページ［基本設定］タブの用紙種類をより厚いものに変更してください。

[用紙/品質] タブでの設定項目



① トレイの選択

「自動選択」：	[デバイス設定] タブにある「給紙方法と用紙の割り当て」の設定に従って、印刷する用紙サイズが割り当てられたトレイ（給紙方法）を自動的に選択します。 [デバイス設定] タブの開き方は、⇒46ページ「フォントオプションを指定する」の手順1～3を参照してください。
「プリンタによる自動選択」：	本製品が自動的にトレイを選択します。
「トレイ 1」：	記録紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。
「トレイ 2」（オプション）：	増設記録紙トレイから普通紙を印刷する場合に選択します。
「MP トレイ」（多目的トレイ）：	多目的トレイ（MPトレイ）から封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。
「手差し」：	多目的トレイ（MPトレイ）から封筒または厚い用紙に印刷する場合に選択します。

② 色

カラーの画像を白黒で印刷するかカラーで印刷するか選択します。

③ 詳細設定

⇒50ページを参照してください。

印刷状況を確認する（ステータスモニター）

ご使用のコンピューターからステータスモニターで本製品の印刷状況などを確認できます。

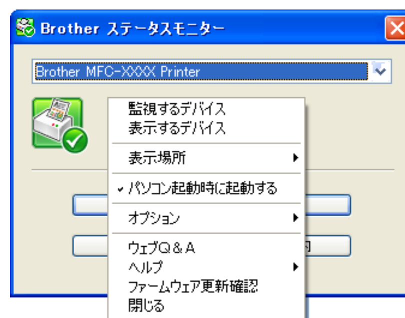
ステータスモニターを起動する

1 **［スタート］メニューの［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［ステータスモニター］の順に選択する**

ステータスモニターウインドーが表示されます。



2 **ステータスモニターウインドー上で右クリックし、メニューから［パソコン起動時に起動する］をクリックしてチェックする**



3 **ステータスモニターウインドー上で右クリックし、メニューの［表示場所］から、ステータスモニターを表示させたい場所を選択してチェックする**

ステータスモニターが選択した表示場所に表示されます。



補足

●タスクバーの通知領域にあるステータスモニターアイコンを右クリックしても手順2～3の操作が可能です。

●［パソコン起動時に起動する］のチェックを外すと、次回起動時からステータスモニターは表示されません。

Windows®7の場合

インストール中に［ステータスモニターを有効にする］を選択すると、もしくは がタスクバーに表示されます。
をタスクバーに表示するには、以下の手順を行ってください。

1 **をクリックする**

小さいウインドーにステータスモニターアイコンが表示されます。



2 **をタスクバーにドラッグする**



本製品の状態を確認する

ステータスモニターアイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

- **緑色のアイコン**

  本製品は正常に動作しています。

- **黄色のアイコン**

  本製品は警告状態です。

- **赤色のアイコン**

  本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題の解決方法は、「ユーザーズガイド 基本編」の「こんなときは」を参照してください。

- **灰色のアイコン**

  本製品の電源が入っていないか、接続が遮断されています。オフライン状態です。

Windows®編

2章

スキャナーとして使う

スキャナーとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナーとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナードライバーをインストールする

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMに収録されているドライバーをインストールする必要があります。
また、スキャナーを便利に使いこなすためにPresto! PageManagerの使用をお勧めします。Presto! PageManagerを使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

補足

- ドライバーやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- スキャン to OCRを利用するにはPresto! PageManagerのインストールが必要です。
- Presto! PageManager は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルはTXT形式、RTF形式、HTML形式、PDF形式で保存できるので、Microsoft® WordやAdobe® Acrobat®で編集できます。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は次のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/
- TWAIN とは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows® Imaging Acquisition）」はWindows®でデジタルカメラやスキャナーなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信するコンピューターでスキャンボタンの登録が必要です。初期設定では、スキャンしたデータは「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール手順を行ったコンピューターに保存されます。このまま使用する場合は設定の必要はありません。登録したコンピューターの名前を変更する場合は、⇒58ページ「ネットワーク設定の変更（ドライバーがインストール済みの場合）」を参照してください。

ネットワークを設定する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
「かんたん設置ガイド」に従ってスキャナードライバーをインストールしている場合は設定済みですので、ここでの設定は不要です。

補足

Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、ネットワーク経由でスキャンできないときは、ポート54925と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

ネットワーク設定の変更（ドライバーがインストール済みの場合）

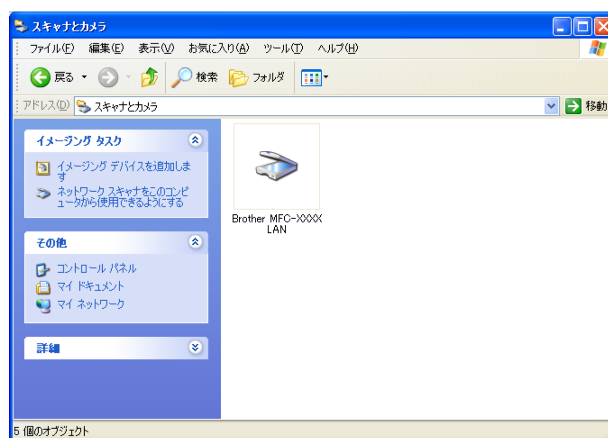
ネットワーク接続でドライバーがすでにインストールされている場合、以下の手順に従って設定を変更することができます。

1 「スキャナとカメラ」アイコン（スキャナとカメラ）をクリックする

- Windows® 2000の場合
  スタートメニューから［設定］－［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows® XPの場合
  スタートメニューから［コントロール パネル］－（［プリンタとその他のハードウェア］）－［スキャナとカメラ］を選択します。
- Windows Vista®の場合
  から［コントロール パネル］をクリックして開き、「ハードウェアとサウンド」から［スキャナとカメラ］をクリックして開きます。
- Windows® 7の場合
  から［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［スキャナー設定］－［スキャナーとカメラ］をクリックして開きます。

2 スキャナーのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］をクリックする

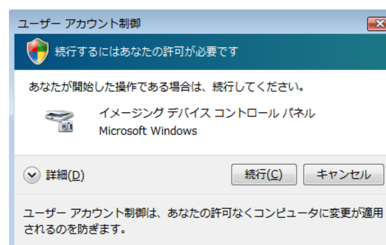
- アイコンを右クリックしたポップアップメニューからも操作できます。
- Windows Vista®、Windows® 7の場合は、スキャナーのアイコンを選択し、［プロパティ］をクリックします。



補足

Windows Vista®、Windows® 7の場合、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。
画面はWindows Vista®の画面です。

●管理者アカウントでログオンしているとき
- Windows Vista®の場合
  ［続行］をクリックします。
- Windows® 7の場合
  ［はい］をクリックします。

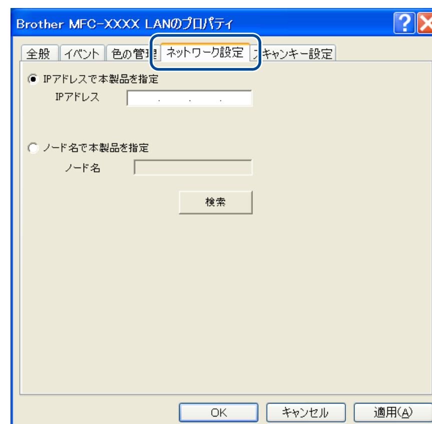


●一般ユーザーでログオンしているとき
- Windows Vista®の場合
  管理者アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
- Windows® 7の場合
  管理者アカウントのパスワードを入力し、［はい］をクリックします。



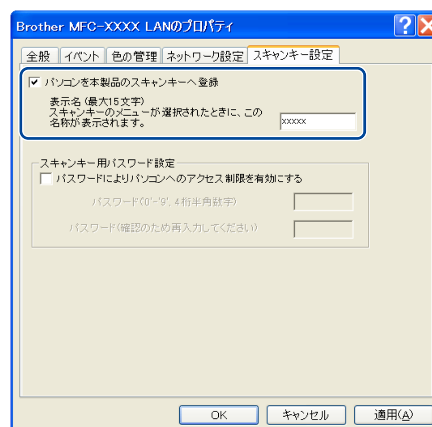
3 「ネットワーク設定」タブで設定項目を更新する

- IPアドレスを変更する場合
  本製品のIPアドレスを入力します。
- 名前を変更する場合
  本製品のノード名を「ノード名」欄に入力します。
- 使用可能な機器一覧から指定して変更する場合
  ［検索］をクリックし、既存のLAN内からネットワークスキャンが使用できるブラザー製品を検索後、指定して［OK］をクリックします。



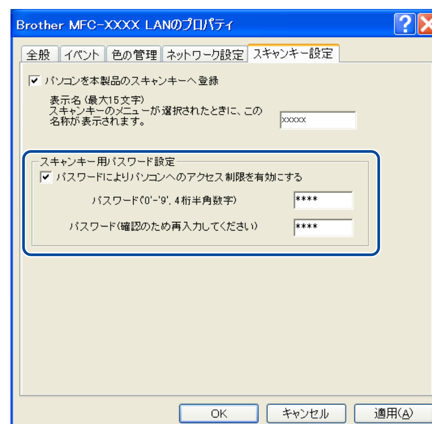
4 「スキャンキー設定」タブでスキャン画像を取り込むコンピューター名を登録する

本製品の＜スキャン＞を操作したときにコントロールパネル上に表示されるこのコンピューター名です。初期設定は、お使いのコンピューター名です。コンピューター名は、マイコンピューターのプロパティ画面で確認できます。



5 他の人からのアクセスを制限したい場合は、パスワードを設定する

パスワードを設定しておくと、ネットワークスキャンしたときに本製品側でパスワードを入力しなければスキャン画像が送信できなくなります。

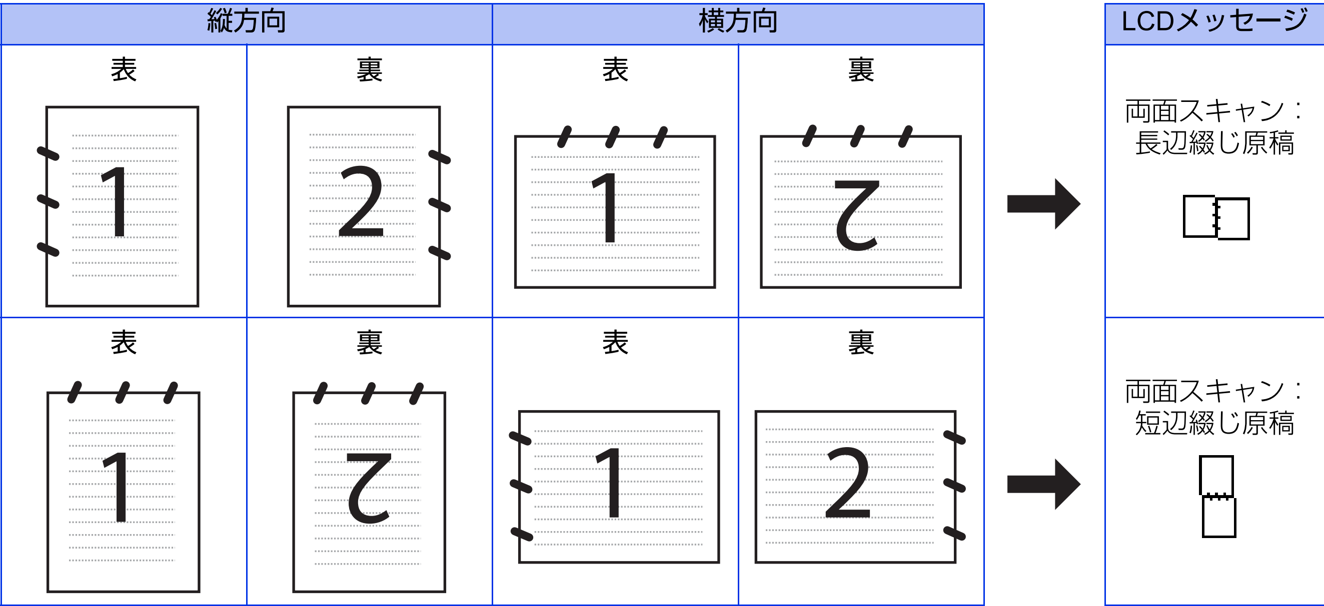


6 ［OK］をクリックする

設定が変更されます。

自動両面スキャンについて（MFC-9970CDWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、「両面スキャン：長辺綴じ原稿」または「両面スキャン：短辺綴じ原稿」を選択することで自動両面スキャンをすることができます。



スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション	詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール送信（MFC-9970CDWのみ）	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。（本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、コンピューター上の操作は必要ありません。）	⇒62ページ
	スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをコンピューターに送信し、Eメールの添付としてメールソフトが起動します。（複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。）	⇒64ページ
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	⇒66ページ
	TWAIN/WIAドライバー対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	⇒80ページ
	スキャン to OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Wordなどで編集できます。	⇒68ページ
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル	スキャンしたデータをコンピューター上のハードディスクに保存します。	⇒70ページ
	スキャン to FTP	スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	⇒72ページ
	スキャン to ネットワークファイル	スキャンしたデータを指定したネットワーク上の共有フォルダーに保存します。	⇒78ページ
	スキャン to USB	スキャンしたデータを本製品に差し込んだUSBメモリに保存します。	⇒74ページ

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿データを、コンピューターに送ってさまざまな形で利用します。<スキャン>ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter4から変更できます。詳しくは、⇒154ページを参照してください。

注意

液晶ディスプレイに［次の原稿をセットしてください　OKボタンを押してください］と表示された後、<停止/終了>を押したり、しばらく操作をしない場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】（MFC-9970CDWのみ）

準備～本製品とメールサーバーの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバー名（受信・送信）などの設定のことです。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

スキャンした原稿をEメールで送る

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿はＥメールの添付ファイルとして送信されます。

補足

- Eメールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することができます。
- 画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
- 使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限ります。ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの詳細については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 <スキャン>を押す

3 【スキャン to Eメール】を押す

4 宛先の入力方法を選ぶ

- Eメールアドレスを直接入力するときは、【直接入力】を選択して、手順5へ進んでください。
- 本製品内にEメールアドレスを登録しているときは、【電話帳】を選択して、手順6へ進んでください。
- を選択すると、【LDAPサーバー電話帳】と【本体電話帳】からEメールアドレスを検索できます。
  LDAPサーバーから検索したいときは、【LDAPサーバー電話帳】を選択して、手順7へ進んでください。
  本製品内の電話帳から検索したいときは、【本体電話帳】を選択して、手順8へ進んでください。
  LDAPの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

5 Eメールアドレスを入力し、【OK】を押す

必要に応じて A 1@ を押し、英数字や特殊記号を入力してください。
【OK】を押して、手順 10 に進んでください。入力方法については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

6 【▲】または【▼】で送信先のEメールアドレスを選択し、【OK】を押す

【OK】を押して、手順 10 に進んでください。電話帳については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

補足

*001 あ を選択すると、アルファベット順または数字順に検索できます。

7 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

LDAP の検索結果が、電話帳検索結果の前に と共にタッチパネルに表示されます。送信したいEメールアドレスを選択し、【OK】を押して、手順 10 に進んでください。

8 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

本製品内の電話帳検索結果がタッチパネルに表示されます。

9 【▲】または【▼】で宛先名を選択し、【▲】または【▼】でEメールアドレスを選択する

【OK】を押して、手順 10 に進んでください。

10 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】、【送信先件数】の内容をそれぞれ設定できます。

補足

- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、<スタート>を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

11 <スタート>を押す

原稿がスキャンされます。
スキャンが終了すると、本製品から設定したEメールアドレスへメールが送信されます。
原稿台ガラスをご使用の場合は、液晶ディスプレイに「次の原稿はありますか？」と表示されます。【はい】または【いいえ】を選択してください。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿を E メールの添付データとして取り込むことができます。スキャンした原稿データがコンピューターに届くと、メールソフトが起動しメール作成画面が表示されます。

MFC-9460CDNの場合

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **＜スキャン＞を押す**

3. **＜▲＞または＜▼＞を押して「スキャン to PC」を選択し <OK> を押す**

4. **＜▲＞または＜▼＞を押して「Eメール：Eメール添付」を選択し <OK> を押す**

```
ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ:PC画像表示
 OCR:ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ:Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5. **（ネットワーク接続の場合）**
   ＜▲＞または＜▼＞を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する
   ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
   送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して <OK> を押してください。

6. **<OK> を押す**

7. **＜スタート＞を押す**
   原稿のスキャンが開始されます。

MFC-9970CDWの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足
自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 <スキャン>を押す

3 【スキャン to PC】を押す

4 【E メール：E メール添付】を押す

5 （ネットワーク接続の場合）
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 【OK】を押す

7 （両面読み取りの場合）
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する

【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 <スタート>を押す

原稿のスキャンが開始されます。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をコンピューターのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがコンピューターに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、コンピューターの画面に表示されます。

MFC-9460CDNの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **<スキャン>を押す**

3 **<▲>または<▼>を押して「スキャン to PC」を選択し<OK>を押す**

4 **<▲>または<▼>を押して「イメージ：PC画像表示」を選択し<OK>を押す**

ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ:PC画像表示
OCR:ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ:Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

5 **（ネットワーク接続の場合）**
<▲>または<▼>を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して<OK>を押してください。

6 **<OK>を押す**

7 **<スタート>を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter4で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくは、⇒154ページを参照してください。

MFC-9970CDWの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

補足
自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 **<スキャン>を押す**

3 **【スキャン to PC】を押す**

4 **【イメージ：PC 画像表示】を押す**

5 **（ネットワーク接続の場合）**
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する
ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 **【OK】を押す**

7 **（両面読み取りの場合）**
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する
【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 **<スタート>を押す**
原稿のスキャンが開始されます。

補足
ControlCenter4で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくは、⇒154ページを参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

MFC-9460CDNの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 <スキャン>を押す

3 <▲>または<▼>を押して「スキャン to PC」を選択し<OK>を押す

4 <▲>または<▼>を押して「OCR：テキストデータ変換」を選択し<OK>を押す

5 （ネットワーク接続の場合）
<▲>または<▼>を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して<OK>を押してください。

6 <OK>を押す

7 <スタート>を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

MFC-9970CDWの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 <スキャン>を押す

3 【スキャン to PC】を押す

4 【OCR：テキストデータ】を押す

5 （ネットワーク接続の場合）【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 【OK】を押す

7 （両面読み取りの場合）【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する

【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 <スタート>を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダーに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、コンピューターの指定したフォルダーに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダーの設定は、ControlCenter4で行います。詳しくは、⇒154ページを参照してください。

MFC-9460CDNの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ＜スキャン＞を押す

3 ＜▲＞または＜▼＞を押して「スキャン to PC」を選択し <OK> を押す

4 ＜▲＞または＜▼＞を押して「ファイル：フォルダー保存」を選択し <OK> を押す

```
ｽｷｬﾝ to PC
▲OCR:ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
 Eﾒｰﾙ:Eﾒｰﾙ添付
▼ﾌｧｲﾙ:ﾌｫﾙﾀﾞｰ保存
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 （ネットワーク接続の場合）
＜▲＞または＜▼＞を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する

ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して <OK> を押してください。

6 <OK> を押す

7 ＜スタート＞を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

保存されるファイル形式や保存先フォルダー、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダー
  マイドキュメント￥マイピクチャ￥ControlCenter4￥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦※
  mm：月※
  dd：日※
  xxxxx：通し番号
  ※ 本製品に接続されているコンピューターの日付が反映されます。

MFC-9970CDWの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足
自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 ＜スキャン＞を押す

3 【スキャン to PC】を押す

4 【ファイル：フォルダー保存】を押す

5 （ネットワーク接続の場合）
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信するコンピューター名を選択する
ここでは、本製品に接続されているコンピューター名が表示されます。
送信先のコンピューターにパスワードが設定されている場合は、コンピューター名を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 【OK】を押す

7 （両面読み取りの場合）
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する
【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 ＜スタート＞を押す
原稿のスキャンが開始されます。

補足
保存されるファイル形式や保存先フォルダー、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
- 保存先フォルダー
  マイドキュメント￥マイピクチャ￥ControlCenter4￥Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦※
  mm：月※
  dd：日※
  xxxxx：通し番号
  ※ 本製品に接続されているコンピューターの日付が反映されます。

スキャンした原稿をFTPサーバーに保存する【スキャン to FTP】

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿データを、FTPサーバーに保存します。
ドライバーのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。
スキャン to FTP を使用するには、ウェブブラウザーであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法は、⇒99ページを参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-9460CDNの場合）

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **<スキャン>を押す**

3 **<▲>または<▼>を押して「スキャン to FTP」を選択し<OK>を押す**

▲ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
ｽｷｬﾝ to PC
▼ｽｷｬﾝ to FTP
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

4 **<▲>または<▼>を押して送信したいFTPサーバーのプロファイル名を選択する**

送信先のFTPサーバープロファイルを登録する方法は、⇒99ページを参照してください。

5 **<OK>を押す**

- 保存するファイル形式を「セキュリティPDF」に設定した場合は、4桁のパスワードを入力する必要があります。
- 「電子署名付 PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

6 **<スタート>を押す**

7 **ディスプレイに「接続中」と表示される**

FTPサーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPサーバーは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、認証エラーとなります。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-9970CDWの場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 ＜スキャン＞を押す

3 【スキャン to FTP】を押す

4 【▲】または【▼】を押して送信したい FTP サーバーのプロファイル名を選択する

送信先の FTP サーバープロファイルを登録する方法は、⇒99 ページを参照してください。

5 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】、【ファイル名】の内容をそれぞれ設定できます。

補足

- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、＜スタート＞を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- 【ファイル名】は、64文字以内で入力します。
  - あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
    例）2011年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）
  - 間違って入力した場合は、を押して消去します。
  - 操作パネルのダイヤルボタンは数字以外は入力できません。

6 ＜スタート＞を押す

7 ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPサーバーは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿をUSBメモリに保存する【スキャン to USB】

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿を、本製品のUSBコネクタに接続したUSBメモリに保存します。
ドライバーのインストールは不要です。

注意

液晶ディスプレイに「原稿読み取り中。デバイスを抜かないでください。」と、表示されているときは、本製品から電源プラグを抜いたり、USBメモリの抜き差しをしないでください。データやUSBメモリを壊す恐れがあります。

補足

電子署名付PDFを選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
インストールをすると、以下の手順で証明書の設定ができます。

1. ウェブブラウザーのアドレス入力欄にhttp://XXXXX/を入力する
   XXXXXはご使用になるプリンターのIPアドレスです。
   例） 本製品のIPアドレスが192.168.1.2の場合
   ブラウザーにhttp://192.168.1.2/を入力します。
2. ［管理者設定］をクリックする
3. ［ユーザー名］と［パスワード］を入力する
   お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。
4. ［電子署名付PDFファイル設定］を選択する

MFC-9460CDNの場合

1 USB メモリを本製品の USB コネクタに接続する

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 <スキャン>を押す

4 <▲>または<▼>を押して［スキャン to USB］を選択し<OK>を押す

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順 5 に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順12に進んでください。

```
▲スキャン to USB
 スキャン to ネットワークファイル
 スキャン to Eメール
▼スキャン to PC
▲▼で選択&OKボタン
```

5 <▲>または<▼>を押して「設定変更」を選択する

6 <OK>を押す

7 <▲>または<▼>を押してカラー/グレー/モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

8 <OK>を押す

9 <▲>または<▼>を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択します。

10 <OK>を押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4桁のパスワードを入力する必要があります。

11 保存するファイル名を入力する

- ファイル名は64文字まで入力することができます。
- 文字を削除するときは、<クリア>を押します。

12 <OK>を押す

13 <スタート>を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

●ファイルは USB メモリのルートディレクトリに BROTHER フォルダーが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダーがある場合は、その中に保存されます）

●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、⇒93ページを参照してください。

- ファイル形式
  カラー　100　dpi／PDF
- ファイル名
  yymmddxx
  yy：西暦の下2桁※
  mm：月※
  dd：日※
  xx：通し番号
  ※ 本製品の日付が反映されます。

MFC-9970CDWの場合

1 USB メモリを本製品の USB コネクタに接続する

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

3 ＜スキャン＞を押す

4 【スキャン to USB】を押す

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順5に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順6に進んでください。

5 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【ファイル名】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】の内容をそれぞれ設定できます。

補足

- ●【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- ●【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、＜スタート＞を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- ●【ファイル名】は、64文字以内で入力します。
  - あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
    例）2011年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）
  - 間違って入力した場合は、⌫を押して消去します。
  - 操作パネルのダイヤルボタンは数字以外は入力できません。

6 ＜スタート＞を押す

原稿がスキャンされます。
原稿台ガラスをお使いの場合は、液晶ディスプレイに「メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？」と表示されます。スキャンを終了後、本製品から USB メモリを取り外す前に必ず【いいえ】を選択してください。

補足

●ファイルは USB メモリのルートディレクトリに BROTHER フォルダーが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダーがある場合は、その中に保存されます）

●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、⇒95ページを参照してください。

- ファイル形式
  カラー　100　dpi／PDF
- ファイル名
  yymmddxx
  yy：西暦の下2桁※
  mm：月※
  dd：日※
  xx：通し番号
  ※ 本製品の日付が反映されます。

スキャンした原稿を共有フォルダーに保存する【スキャン to ネットワークファイル】

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿データを、ネットワーク上の共有フォルダーに保存します。
ドライバーのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたCIFSサーバー上に保存する機能です。
スキャン to ネットワークファイルを使用するには、ウェブブラウザーであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法は、⇒99ページを参照してください。

スキャンした原稿を登録した共有フォルダーに送る（MFC-9460CDNの場合）

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **＜スキャン＞を押す**

3 **＜▲＞または＜▼＞を押して「スキャン to ネットワークファイル」を選択し <OK> を押す**

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to PC
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 **＜▲＞または＜▼＞を押して送信したいプロファイルを選択する**

送信先の CIFS サーバーをプロファイルに登録する方法は、⇒ 101 ページを参照してください。

5 **<OK> を押す**

- 保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4桁のパスワードを入力する必要があります。
- 「電子署名付 PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

6 **＜スタート＞を押す**

7 **ディスプレイに「接続中」と表示される**

CIFS サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

プロファイルは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、送信エラーとなります。

スキャンした原稿を登録した共有フォルダーに送る（MFC-9970CDWの場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足
自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 ＜スキャン＞を押す

3 【スキャン to ネットワークファイル】を押す

4 【▲】または【▼】を押して送信したいプロファイル名を選択する

送信先の CIFS サーバーをプロファイルに登録する方法は、⇒ 99 ページを参照してください。

5 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】、【ファイル名】の内容をそれぞれ設定できます。

補足
- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、＜スタート＞を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- 【ファイル名】は、64文字以内で入力します。
  - あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
    例）2011年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）
  - 間違って入力した場合は、⌫を押して消去します。
  - 操作パネルのダイヤルボタンは数字以外は入力できません。

6 ＜スタート＞を押す

7 ディスプレイに「接続中」と表示される

CIFS サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足
プロファイルは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

アプリケーションからスキャンする

コンピューター側で、TWAINまたはWIA対応のアプリケーションを操作してスキャンします。
Windows Vista®をお使いの場合は、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAXとスキャン」も利用できます。Windows® 7をお使いの場合は、付属の「Windows® FAXとスキャン」から利用できます。
TWAINとは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition）」はWindows®でデジタルカメラやスキャナーなどからUSBなどを通して画像を取り込むためのものです。WIAはWindows® Meから採用された機能なので、それ以前の古いソフトウェアなどは対応していないことがあります。

TWAINドライバーを使ってスキャンする

本製品のドライバーはTWAINに対応しており、TWAIN対応のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、原稿をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。TWAIN対応の他のアプリケーションからスキャンするときも、手順は同様です。
また、MFC-9970CDWではADF（自動原稿送り装置）を使用して、原稿の両面をスキャンすることができます。

注意

あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（「TW-Brother MFC-XXXX」、「TW-Brother MFC-XXXX LAN」のいずれか）を選んでおきます。また、［ファイル］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 **Presto! PageManager 画面から をクリックする**

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

3 **必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで解像度や色数、明るさなどの項目を設定する**

詳しくは、⇒81 ページ「TWAIN ダイアログボックスでの設定」を参照してください。

4 **［スキャン開始］をクリックする**

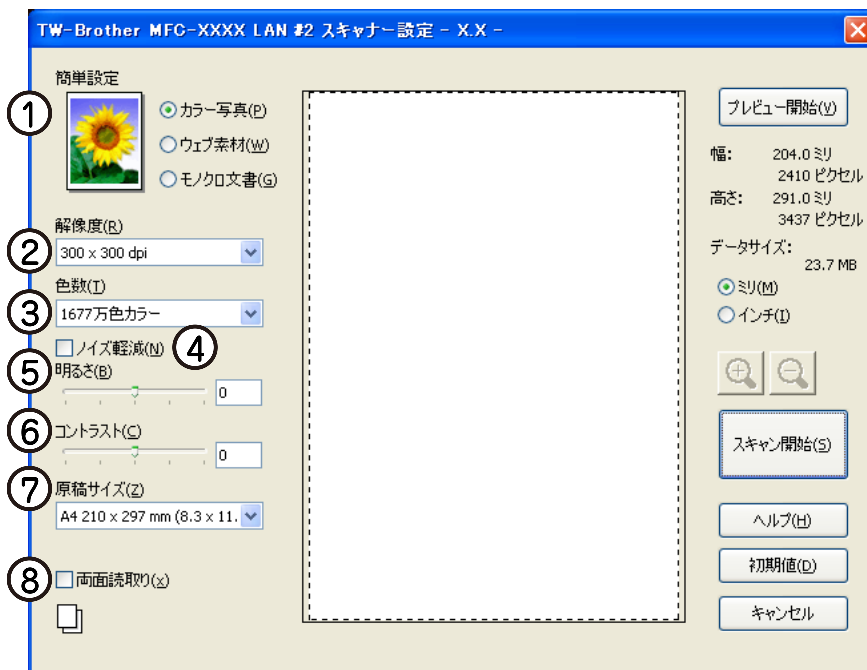
スキャンが終了すると、Presto! PageManager の表示エリアに、スキャンした原稿がサムネイルで表示されます。

補足

操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。

TWAINダイアログボックスでの設定

TWAINダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。



① 簡単設定（イメージタイプ）

カラー写真：写真の場合に選択します。（解像度：300×300dpi　色数：1677万色カラー）
ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。（解像度：100×100dpi　色数：1677万色カラー）
モノクロ文書：文書の場合に選択します。（解像度：200×200dpi　色数：白黒）

② 解像度

プルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリや読み取り時間が増えますが、スキャンした原稿の質は向上します。
選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒／グレー／256階調グレー	256色カラー	1677万色カラー
100×100dpi	○	○	○
150×150dpi	○	○	○
200×200dpi	○	○	○
300×300dpi	○	○	○
400×400dpi	○	○	○
600×600dpi	○	○	○
1200×1200dpi	○	×	○
2400×2400dpi	○	×	○
4800×4800dpi	○	×	○
9600×9600dpi	○	×	○
19200×19200dpi	○	×	○

③ 色数

白黒

文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。

グレー

写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。

256 階調グレー

写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。

256 色カラー

カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。

1677 万色カラー

カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

④ ノイズ軽減（1677 万色カラーで解像度 300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi のときのみ）

スキャンしたイメージのノイズを軽減します。スキャンしたイメージにノイズがある場合や、印字の際、縞状のパターンが発生する場合に使用してください。

⑤ 明るさ（白黒／グレー／ 256 階調グレー／ 1677 万色カラーのみ）

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさを調節してください。

⑥ コントラスト（グレー／ 256 階調グレー／ 1677 万色カラーのみ）

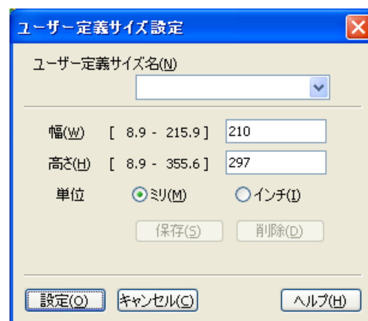
必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、コントラストを調節してください。

⑦ 原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- A4　210×297mm（8.3×11.7 インチ）
- JIS B5　182×257mm（7.2×10.1 インチ）
- レター　215.9×279.4mm（8 1/2 ×11 インチ）
- リーガル　215.9×355.6mm（8 1/2 ×14 インチ）
- A5　148×210mm（5.8×8.3 インチ）
- エグゼクティブ　184.1×266.7mm（7 1/4 ×10 1/2 インチ）
- 名刺　90×60mm（3.5×2.4 インチ）
- ポストカード　101.6×152.4mm（4×6 インチ）
- インデックスカード　127×203.2mm（5×8 インチ）
- L判　89×127mm（3.5×5 インチ）
- 2L判　127×178mm（5×7 インチ）
- ハガキ　100×148mm（3.9×5.8 インチ）
- 往復ハガキ　148×200mm（5.8×7.9 インチ）
- ユーザー定義サイズ

［ユーザー定義サイズ］を選択した場合は、右の画面が表示されます。
［幅］と［高さ］を入力します。



⑧ 両面読取り（MFC-9970CDW のみ）

両面に印刷された原稿を自動的に読み取ることができます。綴じしろの位置を指定することで、読み取った偶数ページのデータを自動的に回転し、すべてのページのイメージが同じ向きで表示されます。

- 長辺を綴じる
- 短辺を綴じる

補足

- 1677万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256色カラーを使用した場合の3倍ほどになります。
- ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。
- 名刺をスキャンするには、名刺サイズ（60×90mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。
- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の原稿をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。
- ユーザー定義サイズは、8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで調整できます。

自動両面スキャンする（MFC-9970CDWのみ）

両面に印刷された原稿を自動的にスキャンすることができます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする**

2 **［両面読取り］のチェックボックスにチェックする**

［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

3 **必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさなどの設定を調整する**

4 **［スキャン開始］をクリックする**

スキャンが終了したら［キャンセル］をクリックして Presto! PageManager 画面に戻ります。

補足

- スキャンする範囲をドラッグして調節することはできません。
- ［プレビュー開始］は、使用することができません。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく原稿をスキャンし、スキャンエリアに表示された原稿データのサムネイルを確認しながら、原稿データのサイズや解像度、色数、明るさなどを調整できる機能です。

補足

TWAINダイアログボックスの設定で［両面読取り］を設定したときは、プレビュー機能は使用できません。（MFC-9970CDWのみ）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ［プレビュー開始］をクリックする

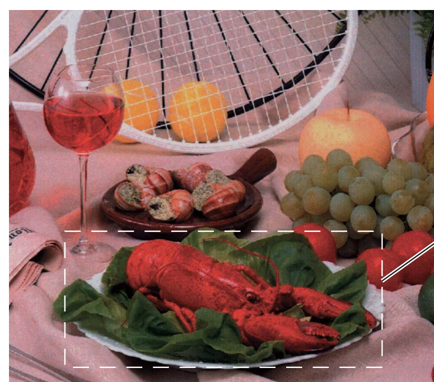
スキャンされた原稿データのサムネイルが TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

注意

ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレビュー開始］をクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度セットしてから［スキャン開始］をクリックする必要があります。

3 スキャンした原稿の一部分を切り取るには、マウスの左ボタンを使ってスキャンエリアの点線や角をドラッグする

点線を調整してスキャンしたい部分を囲みます。
プレビューのとおりでよければ、次へ進みます。



4 必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさなどの設定を調整する

5 ［スキャン開始］をクリックする

選択された範囲だけが Presto! PageManager 画面に表示されます。

6 Presto! PageManager 画面上で画像を調整する

WIAドライバーを使ってスキャンする（Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7のみ）

本製品のドライバーはWIAに対応しており、WIA対応のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、原稿をスキャンできます。
ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

注意

■あらかじめPresto! PageManagerを起動させ、［ファイル］メニューの［ソースの選択］で、接続している本製品のモデル名（「WIA-Brother MFC-XXXX」、「WIA-Brother MFC-XXXX LAN」のいずれか）を選んでおきます。また、［ファイル］メニューの［スキャンの設定］で、［TWAINユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外してください。

■WIA対応のアプリケーションでの両面スキャンは使用できません。両面スキャンをお使いの場合は、TWAINドライバーを使用してください。
⇒80ページ「TWAINドライバーを使ってスキャンする」を参照してください。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 **Presto! PageManager画面から をクリックする**

WIAダイアログボックスが表示されます。

3 **給紙方法を選択する**

4 **必要に応じてWIAダイアログボックスで解像度や明るさ、画像の種類などの項目を設定する**

詳しくは、⇒86ページ「WIAダイアログボックスでの設定」を参照してください。

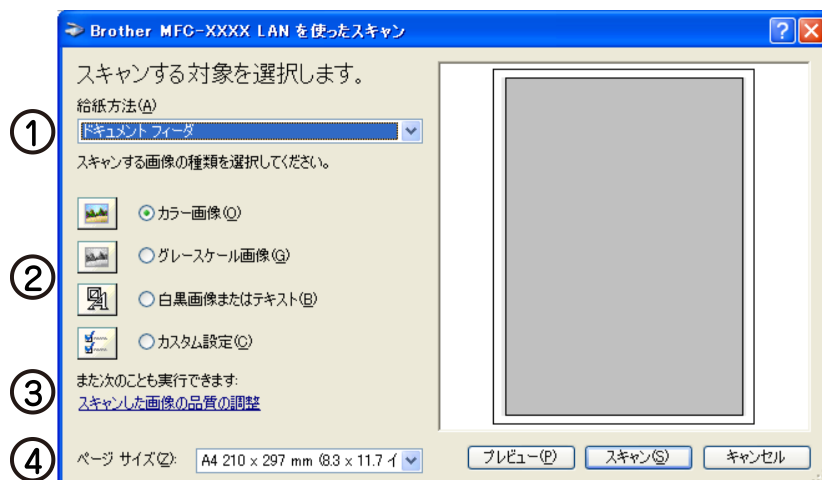
5 **［スキャン］をクリックする**

スキャンが終了するとPresto! PageManager画面に戻ります。

補足

操作の詳細については、Presto! PageManagerのヘルプをご覧ください。

WIAダイアログボックスでの設定



① 給紙方法

［フラットベット］は原稿台ガラスからスキャンするとき、［ドキュメントフィーダ］は ADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類を選択します。

③ スキャンした原稿の品質の調整

ここをクリックすると、［詳細プロパティ］ウインドーが表示されます。

④ ページサイズ

（①）給紙方法で「ドキュメントフィーダ」を選択した場合にページサイズを指定します。



⑤ 明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑥ 解像度

解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリや読み取り時間は増えますが、画質は向上します。
［100］［150］［200］［300］［400］［600］［1200］の中から選択します。

⑦ 画像の種類

［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］の中から選択します。

補足

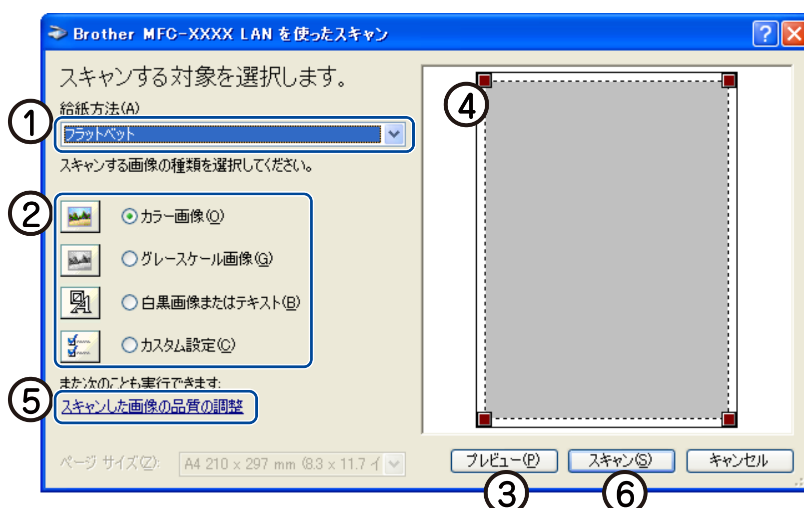
●Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7 で、2400/4800/9600/19200dpi の解像度を有効にするときは、「Scanner Utility」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「Scanner Utility」は以下の方法で起動します。

① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［スキャナー設定］－［Scanner Utility］の順に選択します。
「Scanner Utility」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

プレビューで画像を調整する

プレビューは、低い画質ですばやく原稿をスキャンし、スキャンエリアに表示された原稿データのサムネイルを確認しながら、原稿データのサイズや解像度、明るさ、画像の種類などを調整できる機能です。



1 **原稿の読み取る側を下にして、原稿台ガラスに置く**

2 **［給紙方法］のプルダウンメニューから［フラットベット］（①）を選択する**

3 **画像の種類を選択する（②）**

4 **［プレビュー］（③）をクリックする**

原稿全体がスキャンされ、スキャンエリア（④）に表示されます。

5 **（④）のウインドーでマウスの左ボタンを使ってスキャンエリアの点線や角をドラッグする**

点線を調整してスキャンしたい部分を囲みます。

6 **詳細設定が必要な場合は、［スキャンした画像品質の調整］（⑤）をクリックする**

詳細プロパティ画面が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら［OK］をクリックします。詳細プロパティ画面については、⇒86 ページの③を参照してください。

7 **［スキャン］（⑥）をクリックする**

選択された部分だけが取り込まれ、Presto! PageManager 画面（あるいはアプリケーションソフトの画面）に表示されます。

Windows®フォト ギャラリー、Windows® FAXとスキャンを使用する場合

Windows Vista®、Windows® 7をお使いの場合、付属の「Windows®フォト ギャラリー」や「Windows® FAXとスキャン」で、画像を直接スキャンできます。
また、MFC-9970CDWではADF（自動原稿送り装置）を使用して、原稿の両面をスキャンすることができます。



Windows® 7は「Windows® FAXとスキャン」のみ対応しています。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 本製品のスキャナーを選択する

● Windows® フォト ギャラリーの場合

1 ［ファイル］－［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ
2 接続している本製品のモデル名（Brother MFC-XXXX）を選んで、［読み込み］をクリックする
新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

● Windows® FAX とスキャンの場合

1 ［ファイル］－［新規作成］－［スキャン］を選ぶ
2 複数台接続している場合は、本製品のモデル名（Brother MFC-XXXX）を選んで、［OK］をクリックする
新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

3 ［スキャナの種類］で「フィーダ（片面スキャン）」※（ADF）または「フラットベッド」（原稿台ガラス）を選択する

- 「フィーダ（片面スキャン）」※を選んだ場合は、手順6に進んでください。
- 「フラットベッド」を選んだ場合は、いったん画像を確認する（プレビュー）ことができます。手順 4 に進んでください。プレビューなしでそのままスキャンするときは、手順6に進んでください。

※ MFC-9970CDW の場合、「フィーダ（両面スキャン）」も選択できます。

4 ［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、マウスの左ボタンを使ってスキャンエリアの点線や角をドラッグする

点線を調整してスキャンしたい部分を囲みます。

6 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

新しいスキャンダイアログボックスの設定については、⇒89 ページ「新しいスキャンダイアログボックスの設定について」を参照してください。

7 ［スキャン］をクリックする

● Windows® フォトギャラリーの場合

［画像とビデオを読み込んでいます］ダイアログが表示されたら、［読み込み］をクリックします。
画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。

● Windows® FAX とスキャンの場合

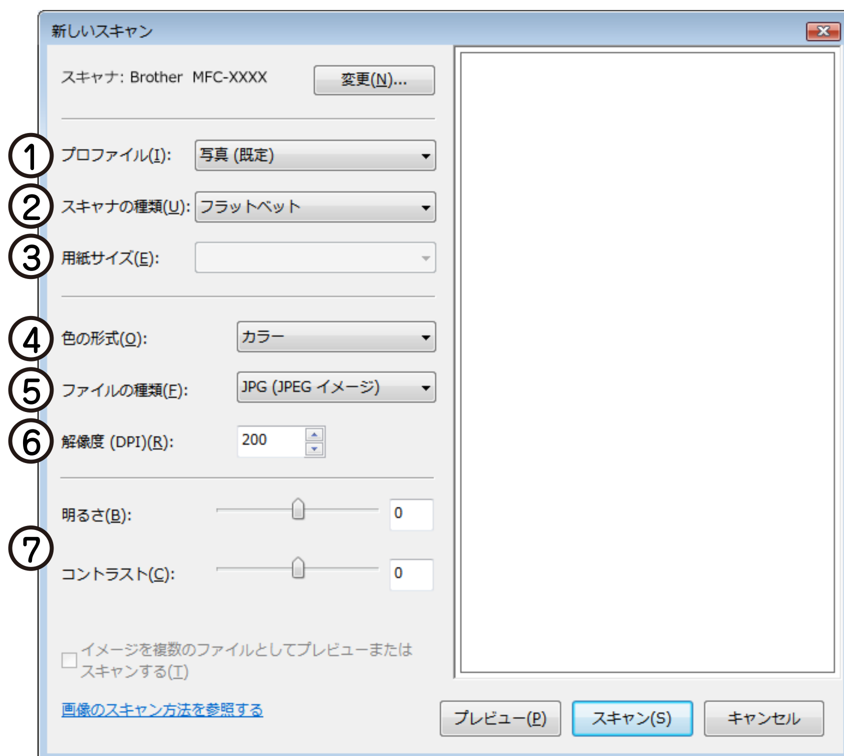
画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。

8 画像を保存する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

新しいスキャンダイアログボックスの設定について

新しいスキャンダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。



① プロファイル

スキャンする原稿の種類や用途に応じて設定を選びます。選んだ項目に応じて、他の項目が自動的に最適なものに設定されます。

② スキャナの種類

原稿のセット方法を「フィーダ（片面スキャン）」※か「フラットベッド」から選びます。「フィーダ（片面スキャン）」※を選んだ場合は、用紙サイズを指定します。画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

※MFC-9970CDWの場合、「フィーダ（両面スキャン）」も選択できます。

③ 用紙サイズ

②スキャナの種類で「フィーダ（片面スキャン）」※を選択した場合に用紙サイズを指定できます。

※MFC-9970CDWの場合、「フィーダ（両面スキャン）」も選択できます。

④ 色の形式

スキャンする色の形式を設定します。

⑤ ファイルの種類

スキャンして作成するファイルの種類を設定します。

⑥ 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、600、1200dpiから選べます。

補足

●Windows Vista®/Windows® 7 で、2400/4800/9600/19200dpi の解像度を有効にするときは、「Scanner Utility」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「Scanner Utility」は以下の方法で起動します。

① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［MFC-XXXX］ー［スキャナー設定］ー［Scanner Utility］の順に選択します。
「Scanner Utility」が起動します。

※アプリケーションによっては、1200dpi以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

⑦ 明るさ / コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、薄い原稿のときはコントラストを強くします。

Windows®編

3章

ソフトウェアを使うための設定

操作パネルからのスキャン設定（MFC-9460CDNの場合）

解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。また、スキャン to FTP、スキャン to USB、スキャン to ネットワークファイルでは、解像度とファイル形式の初期設定を変更できます。

ファイルサイズを設定する

1 **＜メニュー＞→<1>→<8>→<2>を押す**

＜▲＞または＜▼＞で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 **＜▲＞または＜▼＞でカラーまたはグレーを選択する**

3 **<OK>を押す**

4 **＜▲＞または＜▼＞でファイルサイズを選択する**

［小］、［中］、［大］から選択できます。

補足

お買い上げ時は［中］に設定されています。

5 **<OK>を押す**

6 **＜停止/終了＞を押す**

スキャン to FTPの初期設定を変更する

1 **< メニュー > → <7> → <5> を押す**

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

2 **< ▲ > または < ▼ > を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

3 **<OK> を押す**

4 **< ▲ > または < ▼ > を押して画像の形式を選択する**

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択できます。

5 **<OK> を押す**

6 **< 停止 / 終了 > を押す**

スキャン to USBの初期設定を変更する

解像度と画像の形式を変更する

1 **<メニュー>→<5>→<2>→<1>を押す**

<▲>または<▼>で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 **<▲>または<▼>を押してカラー/グレー/モノクロと解像度を選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

3 **<OK>を押す**

4 **<▲>または<▼>を押して画像の形式を選択する**

- カラー/グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティPDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択できます。

5 **<OK>を押す**

6 **<停止/終了>を押す**

ファイル名を変更する

1 **<メニュー>→<5>→<2>→<2>を押す**

<▲>または<▼>で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 **新しいファイル名を入力する**

ファイル名は64文字まで入力できます。

3 **<OK>を押す**

4 **<停止/終了>を押す**

スキャン to ネットワークファイルの初期設定を変更する

1 ＜メニュー＞→<7>→<6>を押す

＜▲＞または＜▼＞で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 ＜▲＞または＜▼＞を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

3 <OK>を押す

4 ＜▲＞または＜▼＞を押して画像の形式を選択する

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[PDF/A]、[セキュリティPDF]、[電子署名付PDF]、[TIFF]を選択できます。

5 <OK>を押す

6 ＜停止 / 終了＞を押す

操作パネルからのスキャン設定（MFC-9970CDWの場合）

スキャン to USBの初期設定を変更する

1. **＜スキャン＞を押す**
2. **【スキャン to USB】を押す**
3. **必要に応じて【◀】または【▶】で初期値にしたい設定を変更する**
   初期値の設定は【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】の内容をそれぞれ設定できます。
4. **最後の設定を変更後、【◀】または【▶】で【設定を保持する】を選択する**
5. **【はい】を押す**
   変更した設定が初期値として登録されます。
6. **＜停止 / 終了＞を押す**

設定をリセットする

1. **＜スキャン＞を押す**
2. **【スキャン to USB】を押す**
3. **【◀】または【▶】で【設定をリセットする】を選択する**
4. **【はい】を押す**
5. **＜停止 / 終了＞を押す**

スキャン to Eメール送信の初期設定を変更する

補足

Eメールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することができます。
画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限ります。
ワンタッチダイヤルの詳細については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

1 **<スキャン>を押す**

2 **【スキャン to E メール送信】を押す**

3 **送信先を選択する**

【直接入力】、【電話帳】、 から選択できます。以下のいずれかから選択してください。

- Eメールアドレスを直接入力するときは、【直接入力】を選択して、手順4へ進んでください。
- 本製品内にEメールアドレスを登録しているときは、【電話帳】を選択して、手順5へ進んでください。
- を選択すると、【LDAPサーバー電話帳】と【本体電話帳】からEメールアドレスを検索できます。
  LDAPサーバーから検索したいときは、【LDAPサーバー電話帳】を選択して、手順6へ進んでください。
  本製品内の電話帳から検索したいときは、【本体電話帳】を選択して、手順7へ進んでください。
  LDAPの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

4 **E メールアドレスを入力し、【OK】を押す**

必要に応じて A 1 @ を押し、英数字や特殊記号を入力してください。
【OK】を押して、手順 9 に進んでください。テキストの入力方法については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

5 **【▲】または【▼】で送信先の E メールアドレスを選択し、【OK】を押す**

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。電話帳については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

補足

*001 あ を選択すると、アルファベット順または数字順に検索できます。

6 **液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す**

LDAP の検索結果が、電話帳検索結果の前に と共にタッチパネルに表示されます。送信したい E メールアドレスを選択し、【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

7 **液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す**

本製品内の電話帳検索結果がタッチパネルに表示されます。

8 **【▲】または【▼】で宛先名を選択し、【▲】または【▼】で E メールアドレスを選択する**

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

9 **必要に応じて【◀】または【▶】で初期値にしたい設定を変更する**

初期値の設定は【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】の内容をそれぞれ設定できます。

10 最後の設定を変更後、【◀】または【▶】で【設定を保持する】を選択する

11 【はい】を押す

変更した設定が初期値として登録されます。

12 ＜停止 / 終了＞を押す

設定をリセットする

1 ＜スキャン＞を押す

2 【スキャン to E メール送信】を押す

3 送信先を選択する

【直接入力】、【電話帳】、［検索アイコン］から選択できます。以下のいずれかから選択してください。

- Eメールアドレスを直接入力するときは、【直接入力】を選択して、手順4へ進んでください。
- 本製品内にEメールアドレスを登録しているときは、【電話帳】を選択して、手順5へ進んでください。
- ［検索アイコン］を選択すると、【LDAPサーバー電話帳】と【本体電話帳】からEメールアドレスを検索できます。
LDAPサーバーから検索したいときは、【LDAPサーバー電話帳】を選択して、手順6へ進んでください。
本製品内の電話帳から検索したいときは、【本体電話帳】を選択して、手順7へ進んでください。
LDAPの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

4 E メールアドレスを入力し、【OK】を押す

必要に応じて A 1 @ を押し、英数字や特殊記号を入力してください。
【OK】を押して、手順 9 に進んでください。テキストの入力方法については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

5 【▲】または【▼】で送信先の E メールアドレスを選択し、【OK】を押す

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。電話帳については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

補足

*001 あ を選択すると、アルファベット順または数字順に検索できます。

6 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

LDAP の検索結果が、電話帳検索結果の前に［アイコン］と共にタッチパネルに表示されます。送信したい E メールアドレスを選択し、【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

7 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

本製品内の電話帳検索結果がタッチパネルに表示されます。

8 【▲】または【▼】で宛先名を選択し、【▲】または【▼】で E メールアドレスを選択する

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

9 【◀】または【▶】で【設定をリセットする】を選択する

10 【はい】を押す

11 ＜停止 / 終了＞を押す

FTP／ネットワークファイルの保存先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバーやネットワーク上の共有フォルダーに保存する際の送信先を、プロファイルとして10件まで登録することができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。
- プロファイル名......................................14字以内
- ホストアドレス（ドメイン名）.............64字以内
- ユーザー名...32字以内
- パスワード...32字以内
- 転送先フォルダー 60字以内

1 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

- XXXXXは本製品のIPアドレスです。
- IPアドレスはネットワーク設定リストで確認することができます。ネットワーク設定リストの印刷方法については ユーザーズガイド基本編「レポート・リスト」を参照してください。

2 「管理者設定」をクリックする

3 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

4 必要に応じて設定を変更する

設定を変更する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ ネットワークファイル　スキャン設定］をクリックすると以下の画面が表示され、「スキャン to FTP」または「スキャン to ネットワークファイル」の設定を変更することができます。
また、15文字以内で2種類のオリジナルファイル名を登録することができます。
（画面はMFC-9970CDWの場合です。）

管理者設定

パスワードの設定	Web表示	電子署名付PDFファイル設定	スキャン to Eメール
FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル	FTP/ネットワークファイル スキャン設定	印刷ログ機能設定	セキュリティ機能ロック

FTP/ネットワークファイル スキャン設定

プロファイル名 1	⦿FTP	○ネットワーク
プロファイル名 2	⦿FTP	○ネットワーク
プロファイル名 3	⦿FTP	○ネットワーク
プロファイル名 4	⦿FTP	○ネットワーク
プロファイル名 5	⦿FTP	○ネットワーク
プロファイル名 6	○FTP	⦿ネットワーク
プロファイル名 7	○FTP	⦿ネットワーク
プロファイル名 8	○FTP	⦿ネットワーク
プロファイル名 9	○FTP	⦿ネットワーク
プロファイル名 10	○FTP	⦿ネットワーク

オリジナルファイル名登録

1. BRNxxxxxxxxxxxx
2. Mitsumori
3. Report
4. Cyumon-syo
5. Keiyaku-syo
6. Denpyo
7. Jucyu-syo
8.
9.

キャンセル　OK

注意

Windowsでファイル名での使用が禁止されている文字（¥ / : * ? " > < |）は入力しないでください。
送信エラーの原因になります。

補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。「スキャン to ネットワークファイル」のプロファイルを設定する場合は、上記画面の［ネットワーク］にチェックをしてから該当のプロファイルを設定してください。

プロファイルを設定する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ ネットワークファイル　スキャンプロファイル］をクリックすると以下の画面が表示され､｢スキャン to FTP｣または｢スキャン to ネットワークファイル｣のプロファイルを設定することができます。（画面はMFC-9970CDWの場合です。）

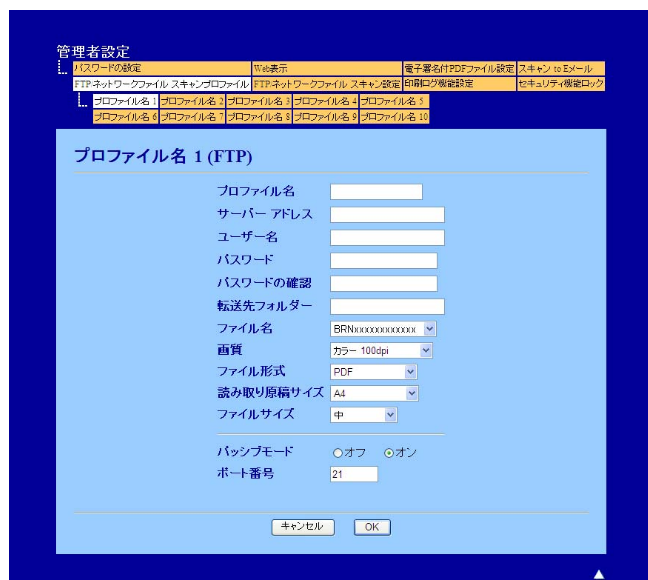
補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。「スキャン to ネットワークファイル」のプロファイルを設定する場合は、事前に［FTP/ネットワークファイル　スキャン設定］画面で［ネットワーク］にチェックをする必要があります。詳しくは、⇒100ページを参照してください。

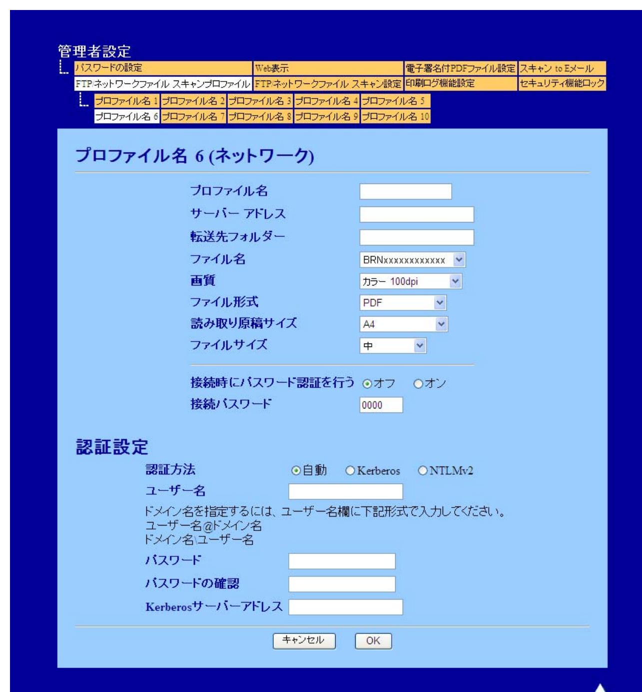


［プロファイル名］をクリックすると以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。

「スキャン to FTP」の場合



「スキャン to ネットワークファイル」の場合



1 **プロファイル名を入力する**

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

2 **「サーバーアドレス」にサーバーのドメイン名を入力する**

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

3 **（「スキャン to FTP」の場合のみ）**
サーバーにログインするためのユーザー名を入力する

4 **（「スキャン to FTP」の場合のみ）**
サーバーにログインするためのパスワードを入力する

5 **スキャンした原稿の転送先フォルダーを入力する**

転送先フォルダーのパスを入力します。（例：brother/abc/）

6 **必要に応じて［ファイル名］から、画像を保存するファイル名を選択する**

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、⇒ 100 ページ「設定を変更する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナーのカウンター（6 文字）＋拡張子が付きます（例：Mitsumori_098765.pdf）。

7 **必要に応じて［画質］から解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー 100 dpi
- カラー 300 dpi
- グレー 100 dpi
- グレー 300 dpi
- モノクロ 200×100 dpi
- カラー 200 dpi
- カラー 600 dpi
- グレー 200 dpi
- モノクロ 200 dpi

8 **必要に応じて［ファイル形式］から画像の形式を選択する**

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択できます。

9 **必要に応じて［読み取り原稿サイズ］から読み取り原稿サイズを選択する（MFC-9970CDW のみ）**

下記の中から選択してください。

- A4
- USレター
- リーガル/フォリオ

10 **（「スキャン to FTP」の場合）**
必要に応じて、パッシブモードとポート番号を設定する

ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありませんが、FTP サーバーの設定をご確認ください。

（「スキャン to ネットワークファイル」の場合）
必要に応じて、パスワード認証を設定する

11 **［OK］をクリックする**

設定した内容で、プロファイルが登録されます。

Windows®編

4章

リモートセットアップ

リモートセットアップについて

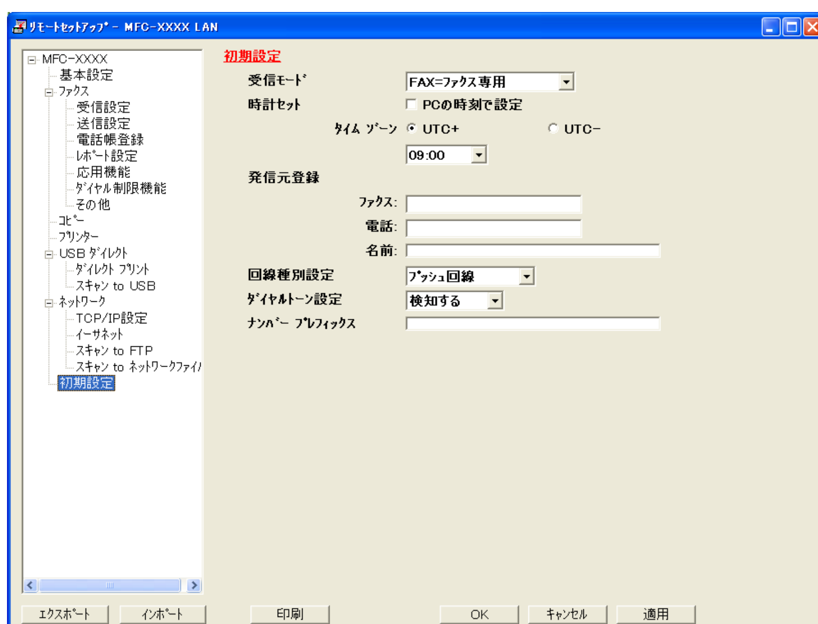
通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をコンピューターで簡単に行うことができます。

補足

Windows® XP Service Pack2以降/Windows Vista®/Windows® 7で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、リモートセットアップが使用できないときは、ポート54922を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［リモートセットアップ］の順に選択します。
ネットワーク接続時は、パスワードを入力する必要があります（初期設定は“access”です）。
表示される画面は、モデルによって異なります。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド基本編「付録　機能一覧」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にコンピューターにダウンロードされ、画面上に表示されます。

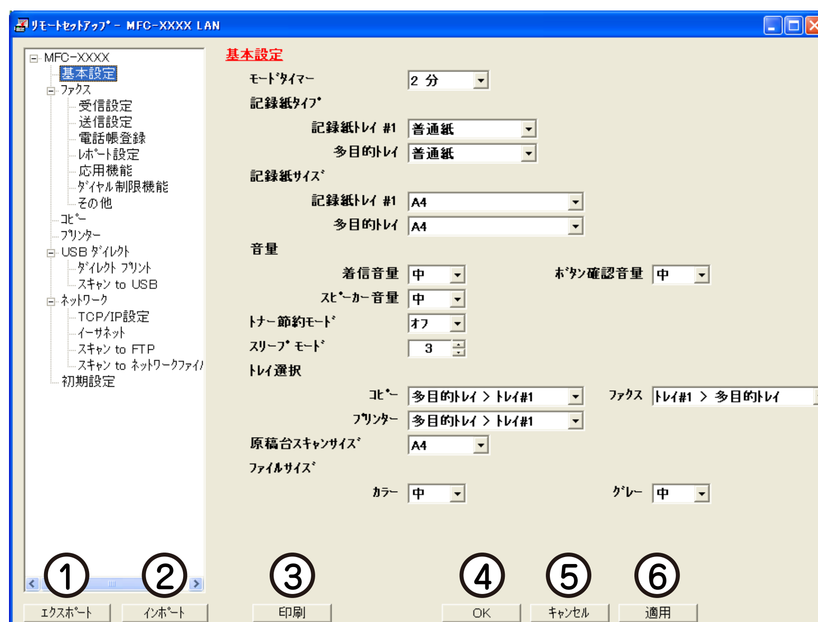
補足

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのコンピューターに Brother ドライバー & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- PCファクス受信ソフトウェアが起動しているとリモートセットアップは使用できません。
- ウイルスバスター ™ などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド基本編「レポート・リスト」と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

MFC-9460CDNの場合

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モードタイマー	ー	○
	記録紙設定	記録紙タイプ	○
		記録紙サイズ	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープモード	○
	トレイ選択	コピー	○
		ファクス	○
		プリンター	○
	画面のコントラスト	ー	×
	セキュリティ	セキュリティ 機能ロック	×
		セキュリティ 設定ロック	×
	原稿読み取り設定	原稿台スキャンサイズ	○
		ファイルサイズ	○
ファクス	受信設定	ファクス無鳴動受信	×
		呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
		両面印刷	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○
		リアルタイム送信	○
		ポーリング送信	×
		送付書	○
		送付書コメント	○
		海外送信モード	×
	電話帳登録	電話帳/ワンタッチ	○
		電話帳/短縮	○
		電話帳/グループ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	レポート設定	送信結果レポート	○
		通信管理間隔	○
	応用機能	転送/メモリ受信※1	○
		暗証番号	○
		ファクス出力	×
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○
	通信待ち確認	−	×
	その他	安心通信モード	○
		ナンバーディスプレイ	×
コピー	コピー画質	−	○
	明るさ	−	○
	コントラスト	−	○
	カラー調整	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンター	エミュレーション	−	×
	プリンター オプション	フォント リスト	×
		プリンター設定	×
		テスト プリント	×
	両面印刷	−	○
	印刷カラー	−	○
	プリンター リセット	−	×
	色補正	−	×
	自動色ずれ補正	色ずれ補正実施	×
	手動色ずれ補正	色ずれチャート印刷	×
		補正値入力	×
	補正頻度	−	○
USBダイレクト	ダイレクト プリント	記録紙サイズ	○
		記録紙タイプ	○
		レイアウト	○
		印刷の向き	○
		部単位	○
		プリント画質	○
		PDFオプション	○
		インデックス プリント	○
	スキャン to USB	解像度	○
		ファイル名	○
レポート印刷	送信結果レポート	表示	×
		印刷	×
	機能案内	−	×
	電話帳リスト	メモリ番号順	×
		名前順	×

分類	中分類	項目		設定の可否
レポート印刷	通信管理レポート	―		×
	設定内容リスト	―		×
	着信履歴リスト	―		×
	ネットワーク設定リスト	―		×
	ドラム汚れ印刷	―		×
ネットワーク	TCP/IP設定	IP取得方法		○
		IP アドレス		○
		サブネット マスク		○
		ゲートウェイ		○
		ノード名		○
		WINS設定		○
		WINS サーバー	プライマリ	○
			セカンダリ	○
		DNS サーバー	プライマリ	○
			セカンダリ	○
		APIPA		○
		IPv6		○
	イーサネット	―		○
	接続状態	―		×
	MACアドレス	―		×
	スキャン to FTP	―		○
	スキャン to ネットワークファイル	―		○
	ネットワーク設定リセット	―		×
製品情報	シリアル No.	―		×
	印刷枚数表示	―		×
	消耗品寿命	ドラム寿命		×
		ベルトユニット寿命		×
		ヒーター寿命		×
		レーザー寿命		×
		PFキット MP 寿命		×
		PFキット 1 寿命		×
		PFキット 2 寿命※3		×
	消耗品リセット※2	―		×
初期設定	受信モード	―		○
	時計セット	時計セット		○
		タイムゾーン		○
	発信元登録	―		○
	回線種別設定	―		○
	ダイヤルトーン設定	―		○
	特別回線対応	―		○
	ナンバー プレフィックス	―		○

分類	中分類	項目	設定の可否
初期設定	リセット	機能設定	×
		ネットワーク	×
		電話帳 & ファクス	×
		全設定	×
	表示言語	−	×

※1: ファクス転送またはPCファクス受信が選択されている場合。
※2: 消耗品が寿命になったときのみ表示されます。
※3: 増設記録紙トレイ（オプション）装着時。

補足
各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド基本編「付録　機能一覧」を参照してください。

MFC-9970CDWの場合

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モードタイマー	−	○
	記録紙トレイ設定	多目的トレイ	○
		記録紙トレイ#1	○
		記録紙トレイ#2※1	○
		トレイ選択：コピー※1	○
		トレイ選択：ファクス※1	○
		トレイ選択：プリンター※1	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープ モード	○
	画面の設定	画面の明るさ	○
		照明ダウンタイマー	○
	セキュリティ	セキュリティ 機能ロック	×
		セキュリティ 設定ロック	×
ファクス	受信設定	ファクス無鳴動受信	×
		呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		転送/メモリ受信※2	○
		印刷濃度	○
		受信スタンプ	○
		両面印刷	○
	送信設定	とりまとめ送信	○
		送付書（印刷サンプル）	×
		送付書コメント	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	レポート設定	送信結果レポート	○
		通信管理間隔	○
	ファクス出力	―	×
	暗証番号	―	○
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○
		LDAPサーバー	○
	通信待ち一覧	―	×
	その他	安心通信モード	○
		ナンバーディスプレイ	×
プリンター	エミュレーション	―	×
	プリンター オプション	フォント リスト	×
		プリンター設定	×
		テスト プリント	×
	両面印刷	―	○
	印刷カラー	―	○
	プリンター リセット	―	×
	色補正	色補正実施	×
		リセット	×
	自動色ずれ補正	―	×
	手動色ずれ補正	色ずれチャート印刷	×
		補正値入力	×
	補正頻度	―	○
レポート印刷	送信結果レポート	表示	×
		印刷	×
	機能案内	―	×
	電話帳リスト	メモリ番号順	×
		名前順	×
	通信管理レポート	―	×
	設定内容リスト	―	×
	着信履歴リスト	―	×
	ネットワーク設定リスト	―	×
	ドラム汚れ印刷	―	×
	無線レポート印刷	―	×
ネットワーク	有線LAN	TCP/IP設定	○
		イーサネット	○
		有線LAN状態	×
		MACアドレス	×
		初期設定に戻す	×
		有線LAN有効	×

分類	中分類	項目	設定の可否
ネットワーク	無線LAN	TCP/IP設定	○
		無線接続ウィザード	×
		WPS/AOSS	×
		WPS（PIN方式）	×
		無線状態	×
		MACアドレス	×
		初期設定に戻す	×
		無線LAN有効	×
	Eメール/IFAX	メールアドレス	○
		サーバー設定	○
		メール 受信設定	○
		メール 送信設定	○
		リレー 設定	○
	ネットワーク設定リセット	−	×
製品情報	シリアル No.	−	×
	印刷枚数表示	−	×
	消耗品寿命	ドラム 寿命	×
		ベルトユニット 寿命	×
		ヒーター寿命	×
		レーザー寿命	×
		PFキット MP 寿命	×
		PFキット 1 寿命	×
		PFキット 2 寿命※1	×
	消耗品リセット※3	−	×
初期設定	受信モード	−	○
	時計セット	時計セット	○
		タイム ゾーン	○
	発信元登録	−	○
	回線種別設定	−	○
	ダイヤルトーン設定	−	○
	ナンバー プレフィックス	−	○
	特別回線対応	−	○
	リセット	機能設定	×
		ネットワーク	×
		電話帳 & ファクス	×
		全設定	×
	表示言語	−	×

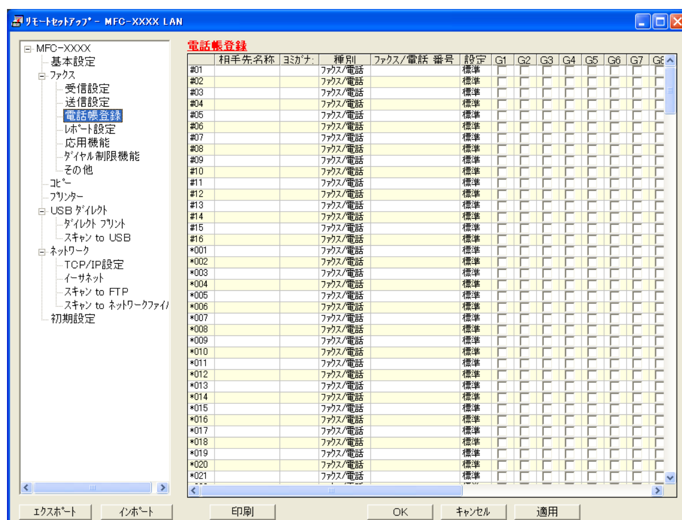
※1: 増設記録紙トレイ（オプション）装着時。
※2: ファクス転送またはPCファクス受信が選択されている場合。
※3: 消耗品が寿命になったときのみ表示されます。

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド基本編「付録　機能一覧」を参照してください。

電話帳を登録する

リモートセットアップの操作の例として、電話帳を登録する場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「電話帳登録」をクリックすると、次の画面が表示されます。



この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：MFC-9460CDNの場合は、最大16件（01～16）
  MFC-9970CDWの場合は、最大40件（01～40）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は10文字（漢字入力の場合）まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

2 登録する短縮番号の行にある「ファクス / 電話 番号」をダブルクリックし、電話番号、ファクス番号を入力する

3 種別を選ぶ

4 「ヨミガナ：」をダブルクリックし、ヨミガナを入力する

5 「相手先名称」をダブルクリックし、相手先の名前を入力する

漢字で登録 / 修正することができます。

6 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスをONにする

例）グループ3に登録する場合は、「G3」をONにします。

7 [OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。

1 **左側から「電話帳登録」を選ぶ**
電話帳の画面が表示されます。

2 **「相手先名称」にグループ名を入力する**

3 **種別でグループを選ぶ**
グループ番号は「1～20」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。

4 **グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする**
例）グループ2に登録する場合は、「G2」を ON にします。

5 **[OK]をクリックする**
設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳を複数の本製品で共有する

登録した電話帳を、複数の本製品で共有することができます。これには、電話帳のエクスポートとインポートを利用します。

1 **共有したい電話帳がある本製品にコンピューターを接続し、リモートセットアップを起動する**

2 **左側から「電話帳登録」を選ぶ**
電話帳の画面が表示されます。

3 **[エクスポート]をクリックする**

4 **[電話帳のみ]が選択されていることを確認し、[開始]をクリックする**
その他の設定もすべて複写したい場合は、[全設定（電話帳含む)]を選択します。

5 **ファイル名を入力し、[保存]をクリックする**

6 **同じコンピューターを、電話帳を複写したい本製品に接続し、リモートセットアップを起動する**

7 **[インポート]をクリックする**

8 **[電話帳のみ]が選択されていることを確認し、[開始]をクリックする**
その他の設定もすべて複写したい場合は、[全設定（電話帳含む)]を選択します。

9 複写したい電話帳のファイルを選択し、［開く］をクリックする

電話帳データがインポートされ、リモートセットアップの起動画面が表示されます。
「電話帳」には、青いマークが表示されています。

10 ［適用］または［OK］をクリックする

電話帳データが複写先の本製品の電話帳データに上書きされ、新しい電話帳に置き換わります。数分かかることがあります。

Windows®編

5章

PCファクス

PCファクスを使用する前に

PCファクスを利用すると、コンピューター上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送受信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PCファクスのアドレス帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。詳しくは、⇒122ページを参照してください。
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。詳しくは、⇒117ページを参照してください。

補足

- 送信を行う前に個人情報、アドレス帳を設定しておくと便利です。
- PCファクスは、モノクロのみ対応しています。
- Windows® XP/Windows Vista®/Windows® 7で「インターネット接続ファイアウォール」を有効にしていて、PCファクスが使用できないときは、ポート54926と137を開けて通信可能にする必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を登録します。
登録は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。
ファクスのヘッダーには、個人情報の［名前］に入力した名称が表示されます。

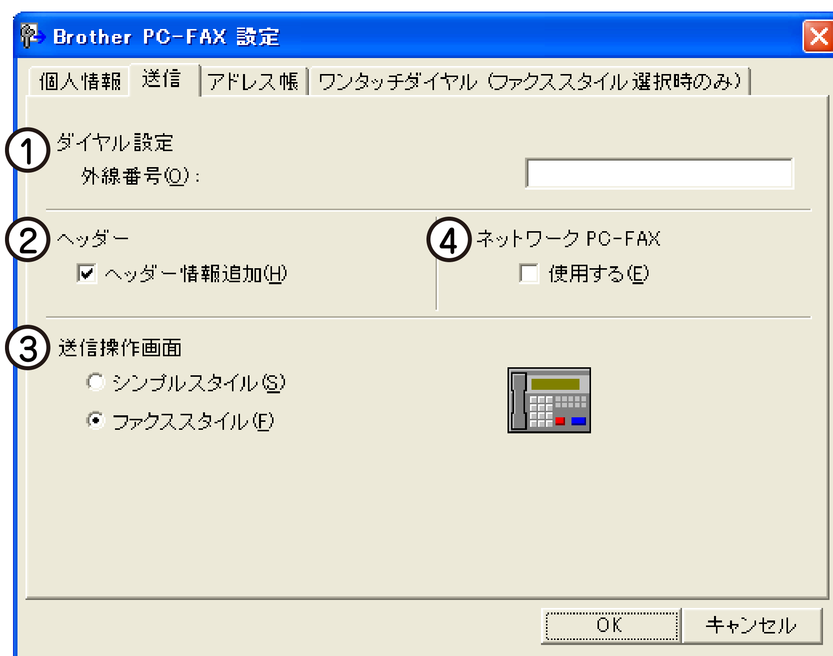
1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］ー［Brother］ー［MFC-XXXX］ー［PC-FAX送信］ー［PC-FAX設定］の順に選択する**

2 **個人情報を入力し［OK］をクリックする**

個人情報が保存されます。

送信の設定をする

ファクス送信に関する設定を行います。
設定は、［Brother PC-FAX設定］ダイアログボックスの［送信］タブで行います。



① ダイヤル設定

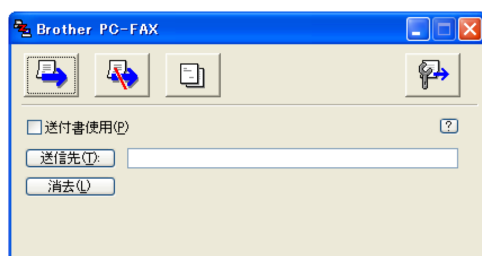
外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBXなどの内線接続で必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このボックスをチェックします。

③ 送信操作画面

［シンプルスタイル］か［ファクススタイル］のどちらかを選択できます。



<シンプルスタイル>



<ファクススタイル>

④ ネットワーク PC-FAX（MFC-9970CDW のみ）

PCファクス機能を使ってメールアドレスにファクス送信するときは、［使用する］をチェックしておく必要があります。
（送信先がファクス番号の場合、チェックは必要ありません）

アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号をPCファクスアドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

補足

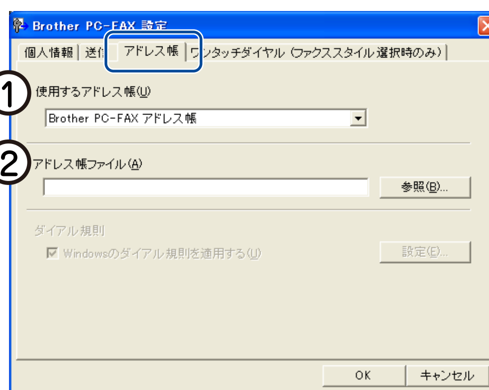
「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。詳しくは、⇒122ページを参照してください。

設定は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［アドレス帳］タブで行います。

1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する**

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 **［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする**



①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「Brother PC-FAX アドレス帳」を選びますが、Windows® メールや Outlook®、Outlook® Express のアドレス帳を利用する場合は、「Windows メールアドレス帳」、「Windows アドレス帳」、「Outlook Express アドレス帳」、または「Microsoft Outlook アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選びます。

補足

- Microsoft® Outlook® 2000/2002/2003/2007に対応しています。
- Outlook® のアドレス帳を使用するには、Outlook® が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

3 **［OK］をクリックする**

PC ファクスで使用するアドレス帳が設定されます。

コンピューターからファクスを送る［PCファクス送信］

コンピューター上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定⇒117ページで選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

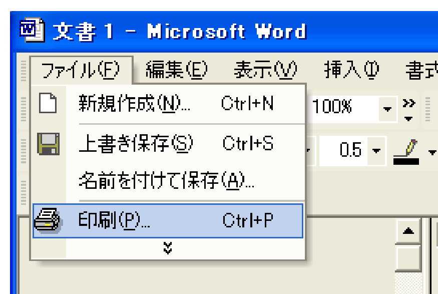
注意

PC-FAXは、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

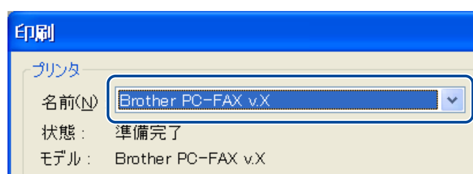
ファクススタイルで送る

1 コンピューター上のアプリケーションでファイルを作成する

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する



3 プリンター名の▼から［Brother PC-FAX v.X］を選択して、［OK］をクリックする



4 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力する

- ダイヤルパッド（①）をクリックして番号を入力する。
- 10個のワンタッチダイヤルボタン（②）のいずれかをクリックする。
- ［アドレス帳］（③）をクリックし、アドレス帳から送付先を選択する。



補足

Windows®メールやOutlook®、Outlook® Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。
詳しくは、⇒118ページを参照してください。

5 ［送信］をクリックする

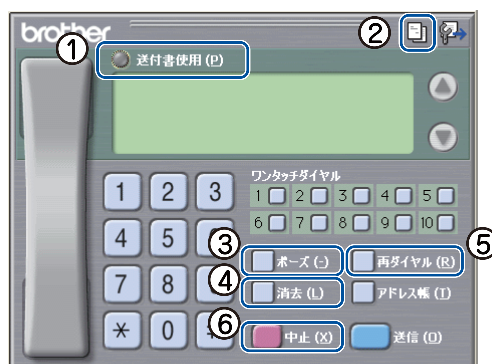
ファクス送信が開始されます。
送るのをやめるには、［中止］をクリックします。

補足

●ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。

●ワンタッチダイヤルボタンやアドレス帳を使うには、あらかじめPCファクスアドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。詳しくは、⇒122ページを参照してください。

●ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。



①送付書使用

ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合に、クリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。

②送付書の作成

送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。詳しくは、⇒132ページを参照してください。

③ポーズ

ダイヤル番号の入力時に、ポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。画面上に「-」が表示されます。

④消去

ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

⑤再ダイヤル

ファクスを再送する場合にクリックします。[再ダイヤル] をクリックするたびに、最新のものからさかのぼって5件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、[送信] をクリックします。

⑥中止

ファクスの送信を中止する場合にクリックします。

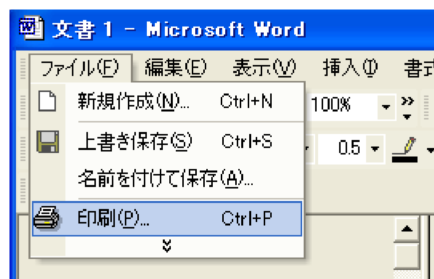
シンプルスタイルで送る

注意

「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

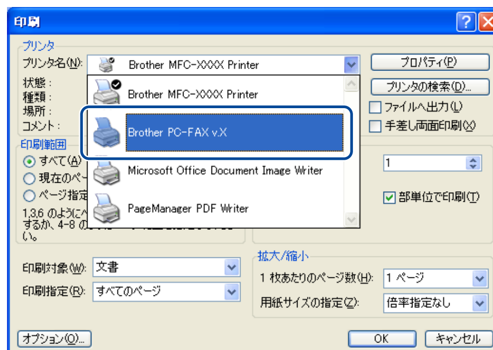
1 **コンピューター上のアプリケーションでファイルを作成する**

2 **[ファイル] メニューから [印刷] を選択する**



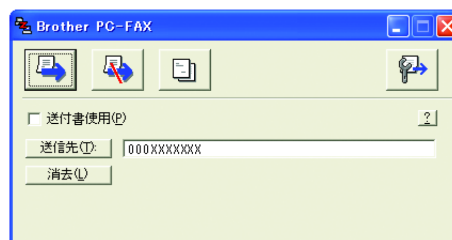
Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

3 プリンター名の▼から［Brother PC-FAX v.X］を選択して、［OK］をクリックする



4 ［送信先］に、相手のファクス番号を入力する

- 相手のファクス番号は、［送信先］をクリックしてアドレス帳から選択することもできます。
- Windows®メールやOutlook®、Outlook® Expressのアドレス帳のデータを利用することもできます。詳しくは、⇒118ページを参照してください。
- ファクス番号を間違って入力したときには、［消去］をクリックします。



5 送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、［送付書使用］チェックボックスをチェックする

送付書の作成については詳しくは、⇒ 132 ページを参照してください。

6 をクリックする

- ファクス送信が開始されます。
- をクリックすると、ファクスの送信を中止します。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- アドレス帳を使うには、あらかじめ「PCファクス アドレス帳」でファクス番号を登録しておく必要があります。詳しくは、⇒122ページを参照してください。
- ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。詳しくは、⇒132ページを参照してください。

PCファクスアドレス帳を利用する

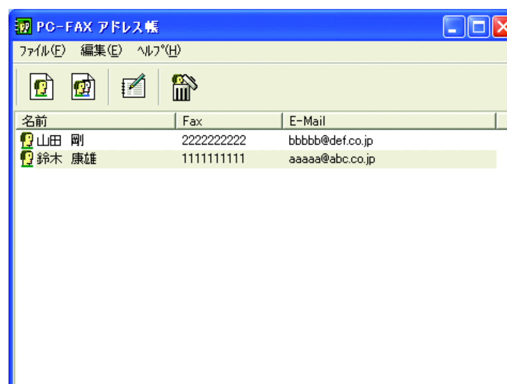
PCファクスを使うときは、PCファクスアドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PCファクスアドレス帳データは、CSV形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PCファクスアドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで行います。

1 **［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］の順に選択する**

右の画面が表示されます。



2  **をクリックする**

右の画面が表示されます。

3 **相手先の情報を入力する**

［名前］の入力は必須です。

4 **［決定］をクリックする**

相手先の情報が保存されます。

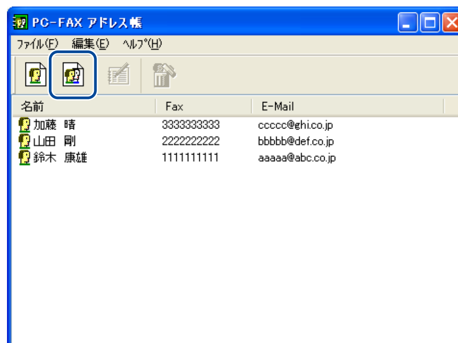
補足

- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで行います。
- アドレス帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

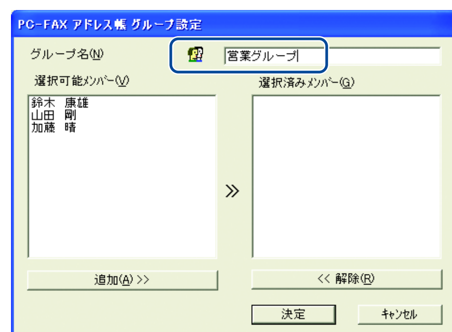
グループダイヤルに相手先を登録する

同一の原稿を複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数の相手先をグループにまとめて登録しておくと便利です。
一度の操作で、グループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 **[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、をクリックする**

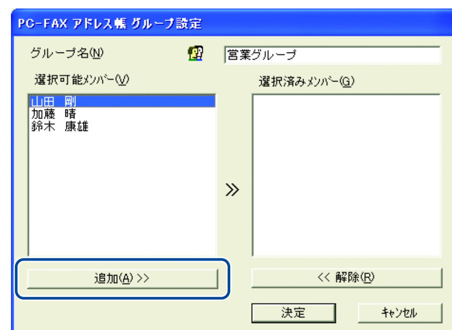


2 **[グループ名] にグループ名を入力する**



3 **[選択可能メンバー] ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、[追加] をクリックする**

グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。
追加したメンバーは、[選択済みメンバー] ボックスに一覧表示されます。

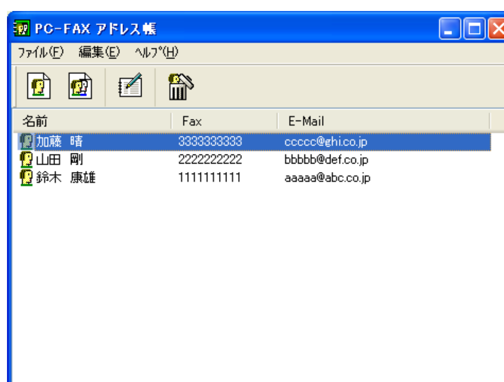


4 **メンバーの追加後、[決定] をクリックする**

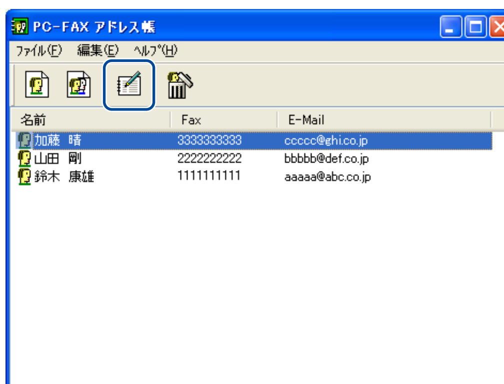
補足
1つのグループダイヤルに最大50件までメンバーを登録できます。また、グループダイヤルは最大256個まで登録できます。

アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択する



2 をクリックする



3 相手先またはグループ情報を編集する

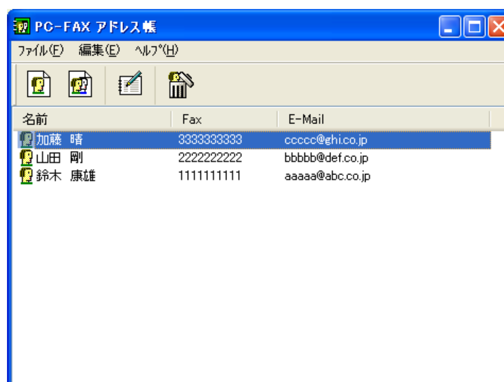
PC-FAX アドレス帳 メンバー設定
名前(N)：加藤 晴　敬称(T)：
会社名(O)：
部署(D)：　役職(J)：
国/地域(R)：　郵便番号(Z)：
都道府県(V)：　市町村(C)：
番地(S)：
勤務先電話番号(B)：　自宅電話番号(H)：
ファクス(F)：3333333333　携帯電話(P)：
E-Mail(E)：ccccc@ghi.co.jp
決定　キャンセル

4 ［決定］をクリックする

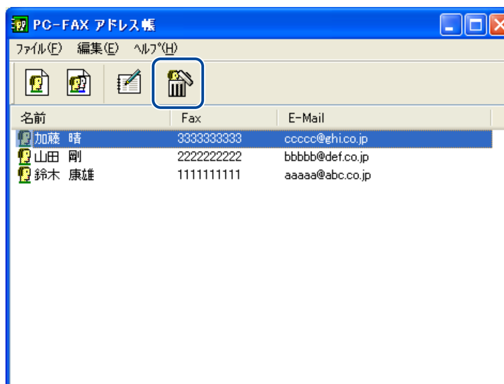
変更した相手先またはグループ情報が保存されます。

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

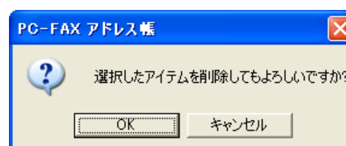
1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択する



2  をクリックする



3 ［OK］をクリックする

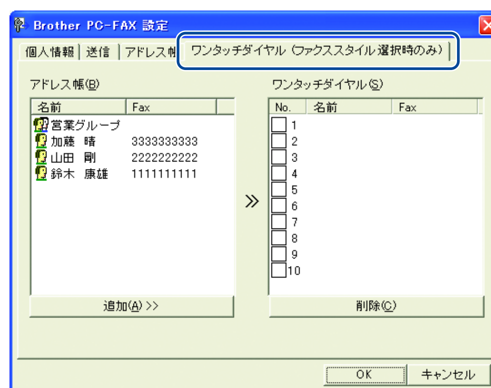


ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

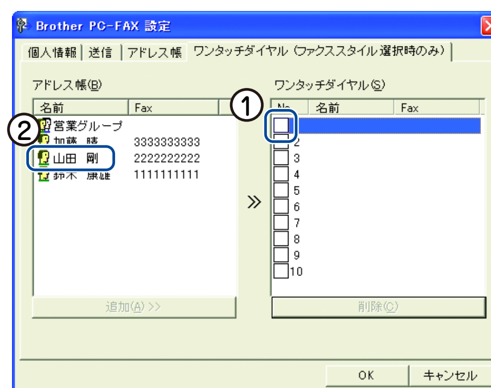
メンバーまたはグループは、ワンタッチダイヤルボタンに10件まで登録できます。
登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1から10のいずれか）をクリックするだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］の順に選択する

2 ［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする



3 ［ワンタッチダイヤル］ボックスで、登録先のワンタッチダイヤルの番号をクリックする（①）続けて、［アドレス帳］ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックする（②）



4 ［追加］をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順3、4の操作を繰り返します。

5 ［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

1 ［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除するメンバーまたはグループをクリックする

2 ［削除］をクリックする

補足

ワンタッチダイヤルを使用するには、［送信］タブの［送信操作画面］で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV 形式のファイル、「vCard」またはリモートセットアップのダイヤルデータとしてエクスポートすることができます。

補足

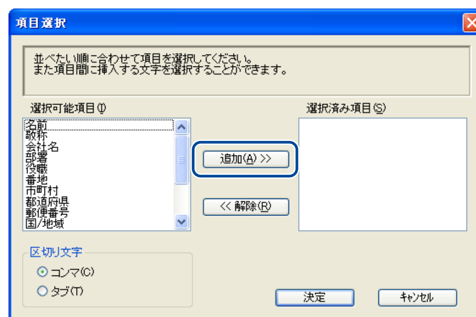
「vCard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「vCard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV形式でエクスポートする

1 **[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、[ファイル] ー [エクスポート] ー [テキストファイル] の順にクリックする**

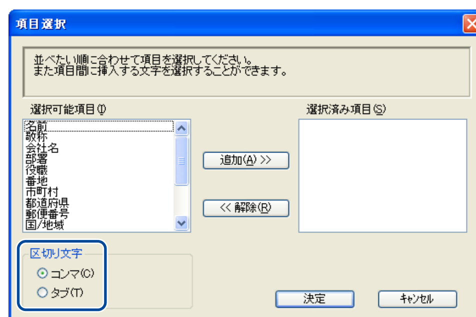
2 **[選択可能項目] 欄でエクスポートする項目を選んで、[追加] をクリックする**

追加したい項目について、この操作を繰り返します。



3 **[区切り文字] で [コンマ] または [タブ] を選択する**

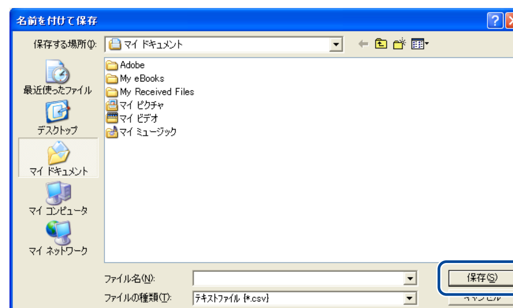
この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。



4 **[決定] をクリックする**

データがエクスポートされます。

5 **ファイル名を入力してから、[保存] をクリックする**



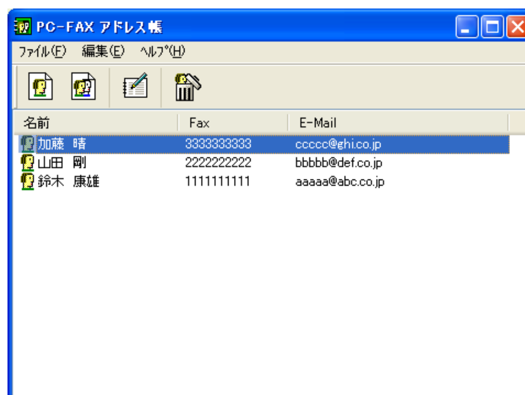
補足

●アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
●エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。

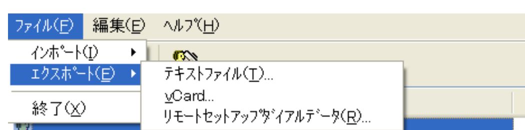
vCard（vcf形式）またはリモートセットアップダイアルデータでエクスポートする

1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、エクスポートしたい相手先をクリックする

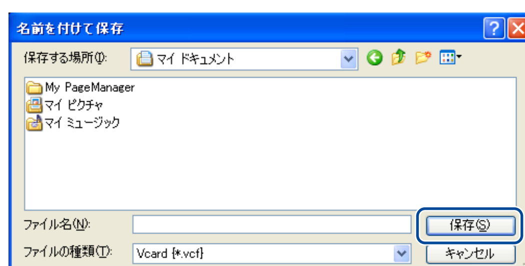
追加したい相手先について、この操作を繰り返します。



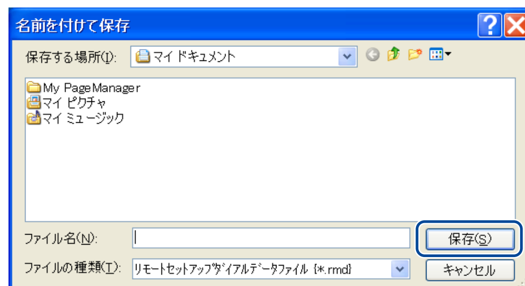
2 ［ファイル］－［エクスポート］－［vCard］または［リモートセットアップダイアルデータ］の順にクリックする



3 ファイル名を入力してから、［保存］をクリックする



<vcf形式>



<リモートセットアップダイアル>

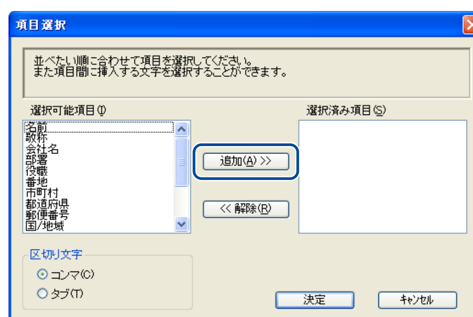
アドレス帳をインポートする

CSV形式のファイル、「vCard」またはリモートセットアップのダイヤルデータを、アドレス帳にインポートできます。

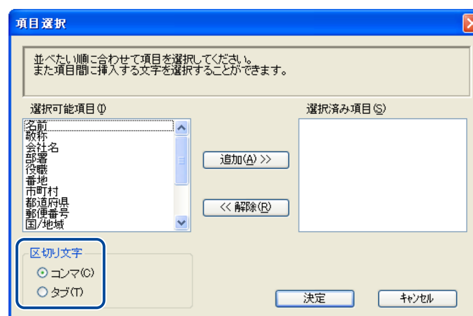
CSV形式でインポートする

1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］ －［インポート］ －［テキストファイル］の順にクリックする

2 ［選択可能項目］欄からインポートする項目を選択してから、［追加］をクリックする



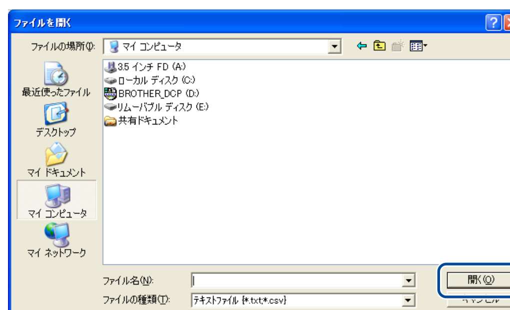
3 インポートするファイル形式により、［区切り文字］で［コンマ］または［タブ］を選択する



4 ［決定］をクリックする

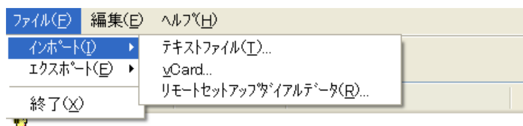
データがインポートされます。

5 インポートするファイルを選択して、［開く］をクリックする



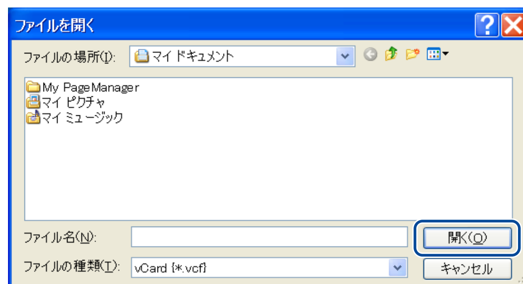
vCard（vcf形式）またはリモートセットアップダイアルデータでインポートする

1 ［PC-FAX アドレス帳］ダイアログボックスで、［ファイル］－［インポート］－［vCard］または［リモートセットアップダイアルデータ］の順にクリックする

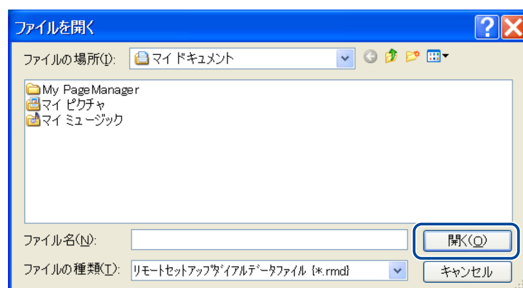


2 インポートするファイルを選択して、［開く］をクリックする

選んだvcf形式のデータまたはリモートセットアップダイヤルのデータが、PC ファクスアドレス帳に追加されます。



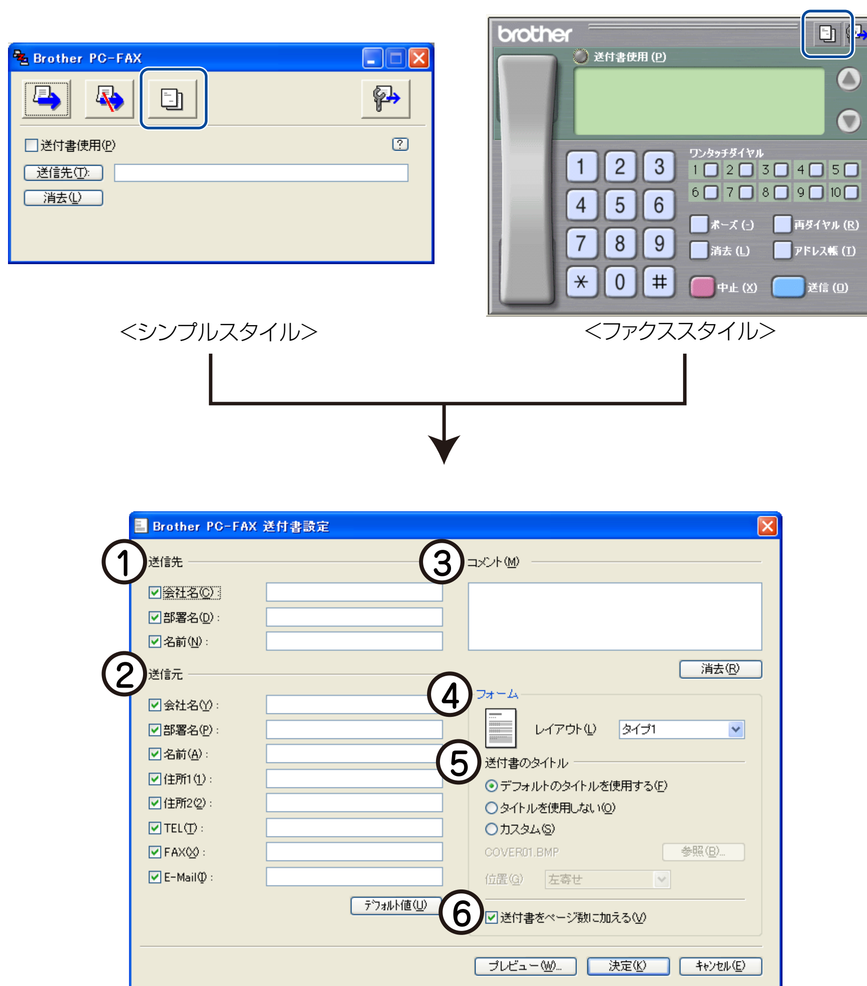
<vcf形式>



<リモートセットアップダイアル>

送付書を作成する

ファクスを送信する画面(シンプルスタイルまたはファクススタイル)で をクリックすると、以下の画面が表示されます。



送付書に表示させたい項目のチェックボックスをチェックし、各項目を設定して、［決定］をクリックします。

① 送信先

送信先の情報を入力します。

② 送信元

送信元の情報を入力します。

③ コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④ フォーム

送付書のスタイルを選択します。

⑤ 送付書のタイトル

送付書のタイトルを選択します。
［カスタム］を選択すると、会社独自のロゴなどのビットマップファイルを挿入できます。［位置］で配置を選択します。

⑥ 送付書をページ数に加える

このボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。

コンピューターでファクスを受信する［PCファクス受信］

受信したファクスをデータとしてコンピューターに保存します。

注意

■コンピューターでファクスを受信するには、コンピューターの［PC ファクス受信］の起動と、本製品を［PC ファクスモード］にする必要があります。

■ファクスを受信したとき、コンピューターの電源が入っていなかったり、コンピューターと接続されていない場合は、本製品に受信データを保存します。

■PC-FAX 受信は、モノクロのみ対応しています。（カラーファクスを受信すると、データはコンピューターに転送されず本製品で印刷されます。）

■コンピューターにファイアウォールなどの機能を持つソフトウェアがインストールされている場合は、いったん停止させるか、UDPのポート137/54926を有効に設定してください。

■PCファクス受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

■本製品がネットワーク接続されている場合は、コンピューター側でPCファクス受信を起動してから設定してください。

■受信したファクスのデータがコンピューターへ正しく送られない場合は、「かんたん設置ガイド」に従ってソフトウェアをインストールし直してください。

［PCファクス受信］を起動する

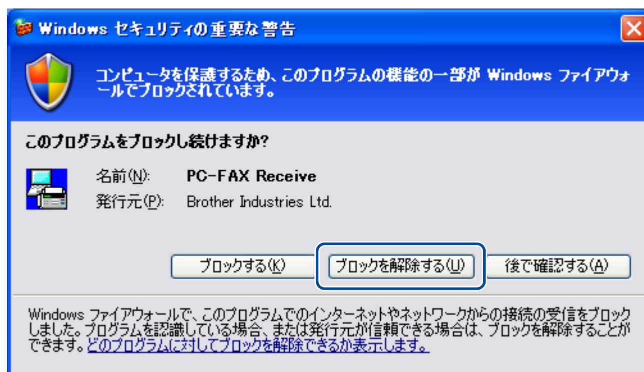


［スタート］メニューの、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［PC-FAX 受信］－［PC-FAX 受信を起動］の順で選択する

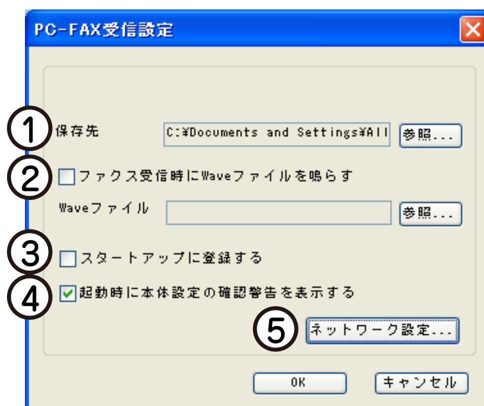
タスクバー上にPC ファクスのアイコン 14:11 が表示されます。

補足

●ネットワーク環境で Windows® XP Service Pack 2、Windows Vista® または Windows® 7 をご使用の場合は、PC ファクス受信を起動すると［Windowsセキュリティの重要な警告］が表示されることがあります。その場合は［ブロックを解除する］※を選択してください。
※Windows® 7の場合は、［アクセスを許可する］を選択してください。



●受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの　PC　ファクスアイコン を右クリックして「PC-FAX受信設定」を選びます。



① 保存先

受信したファクスの保存先フォルダーを指定します。

② ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす

ファクス受信時に着信音を鳴らすときはチェックボックスにチェックを入れ、着信音にするWaveファイルを指定します。

③ スタートアップに登録する

このボックスをチェックすると、コンピューターを起動する際に自動的に［PC-FAX 受信］が起動されますが、データが転送されるまで時間がかかります。

④ 起動時に本体設定の確認警告を表示する

「PC-FAX 受信」を起動したときに、本体設定の確認警告画面を表示します。表示させたくない場合は、チェックボックスのチェックを外します。

⑤ ネットワーク設定（ネットワーク接続時のみ）

ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IPアドレスやノード名などの設定ができます。
詳しくは、⇒59ページを参照してください。

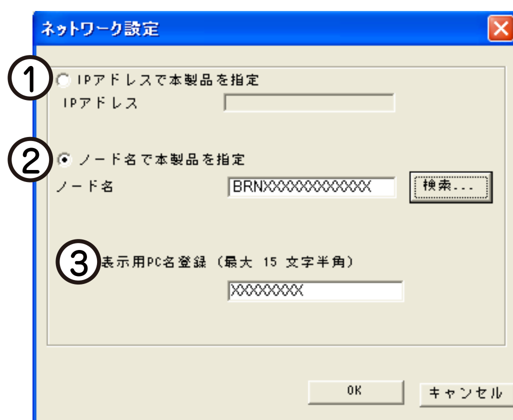
ネットワーク接続されたコンピューターに登録された本製品を変更する

本製品で受信したファクスをコンピューターに送るための設定は、ソフトウェアのインストール時に終了しています。
ドライバーのインストールについては、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
インストール時に設定した本製品を変更するときは、以下の手順に従ってください。



「PC-FAX 受信設定」ダイアログの［ネットワーク設定］をクリックする

「ネットワーク設定」ダイアログが表示されます。



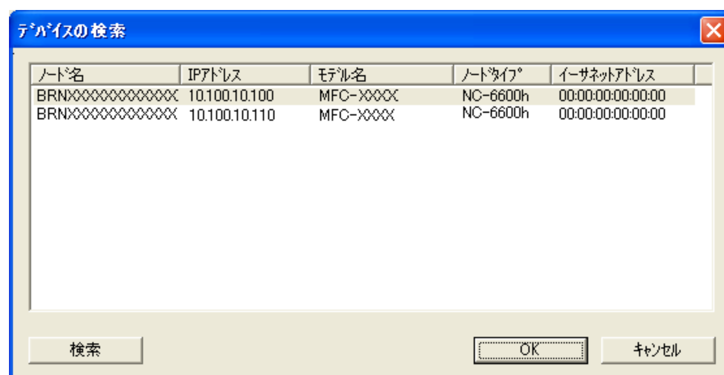
IPアドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で本製品を指定してください。

① IP アドレスで本製品を指定

本製品のIPアドレスを入力してください。
IPアドレスの設定については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

②ノード名で本製品を指定

本製品のノード名を入力するか、［検索］をクリックし、一覧から本製品を選択してください。



③表示用 PC 名登録

本製品のディスプレイに表示されるコンピューター名を登録することができます。
半角15文字まで入力可能です。

本製品をPCファクス受信モードにする／PCファクス受信するコンピューターを変更する

MFC-9460CDNの場合

1 **＜メニュー＞→<2>→<5>→<1>を押す**

2 **＜▲＞または＜▼＞で、「PCファクス受信」を選び、<OK>を押す**

「パソコンの「PC-FAX 受信」を起動してください。OK ボタンを押してください」と表示されたら、コンピューター側で PC ファクス受信を起動してから <OK> を押します。

3 **＜▲＞または＜▼＞で、<USB>またはコンピューター名を選び、<OK>を押す**

4 **＜▲＞または＜▼＞で、「本体でも印刷」の設定を選択する**

- 「する」：受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 「しない」：受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

5 **<OK>を押す**

6 **＜停止/終了＞を押す**

補足

ネットワーク環境の場合、複数のコンピューターが接続されていても、PCファクス受信するコンピューターとして指定できるのは1台だけです。

MFC-9970CDWの場合

1 【メニュー】を押す

2 【▲】または【▼】で【ファクス】を選択する

3 【▲】または【▼】で【受信設定】を選択する

4 【▲】または【▼】で【転送 / メモリ受信】を選択する

5 【PC ファクス受信】を押す

6 液晶ディスプレイに「パソコンの「PC-FAX 受信」を起動してください」と表示されたら、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。

⇒ 133 ページ「[PC ファクス受信] を起動する」

7 PC ファクス受信を起動させたコンピューターを、本製品の画面から選択する

USB 接続しているコンピューターを選択する場合は、【<USB>】を選択します。

ネットワーク接続しているコンピューターを選択する場合は、接続先のコンピューターの名前を選択します。

補足

このとき、PCファクス受信が起動しているコンピューターしか選択できません。

8 【OK】を押す

9 本製品で印刷するかしないかを選択する

- 【本体でも印刷する】：受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

10 ＜停止／終了＞を押す

補足

PCファクス受信をするコンピューターを変更する場合は、手順7で受信先のコンピューターを選択し直してください。

受信したときは

PCファクスの受信を開始すると青色のアイコン 、 がタスクバー上で交互に表示されます。
受信が終了すると、 が表示されます。

1 **をダブルクリックする**

- 「Presto!PageManager」が起動します。
- 受信したデータが保存されている「Faxes」フォルダーが自動的に表示されます。

2 **ファイル名をダブルクリックして内容を確認する**

補足

- 受信したファクスを一度確認すると、アイコンが緑色 に変わります。
- 受信したファクスには、受信した日時のファイル名が付けられています。
  例）Fax 2010-5-20 16:40:21.tif

Windows®編

6章

その他の便利な使い方（ControlCenter4）

ControlCenter4とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナー、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。
ContorolCenter4には2つのモード（Homeモード、Advancedモード）があり、ご自分の使用目的や用途に合った最適なモードを選択することができます。

● **Homeモード**

Homeモードは、初心者向けのモードです。簡単な操作で機能を実行することができます。詳しくは、⇒142ページ「Homeモード」を参照してください。

● **Advancedモード**

Advancedモードは、中級者〜上級者向けのモードです。Homeモードに比べて、各機能の細かな設定を行うことができます。詳しくは、⇒157ページ「Advancedモード」を参照してください。

ControlCenter4を起動する



［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX］－［ControlCenter4］を選択する

ControlCenter4のウインドーが開き、タスクトレイに が表示されます。

ControlCenter4のモードを変更する

「Homeモード」と「Advancedモード」の2種類から選択できます。

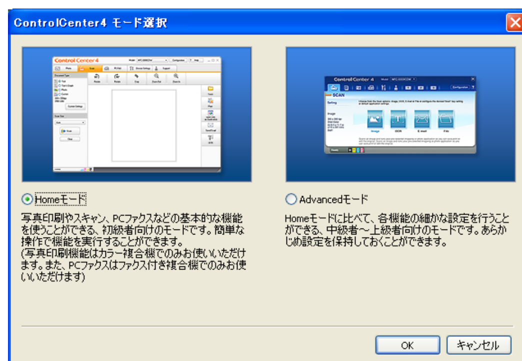


［設定］をクリックして、［モード選択］を選択する



「Homeモード」または「Advancedモード」を選び、［OK］をクリックする

ControlCenter4のモードが変更されます。



起動時の動作を設定する

コンピューターを起動したとき、ControlCenter4も同時に起動させることができます。



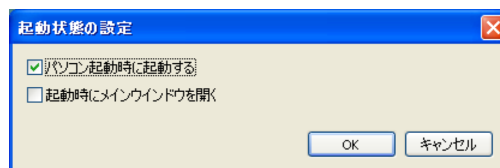
タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選択する

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。



起動時の動作を選択する

- パソコン起動時に起動する：
  コンピューターが起動すると自動的にControlCenter4が起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウインドウを開く：
  ControlCenter4が起動すると、メインウインドーを開きます。

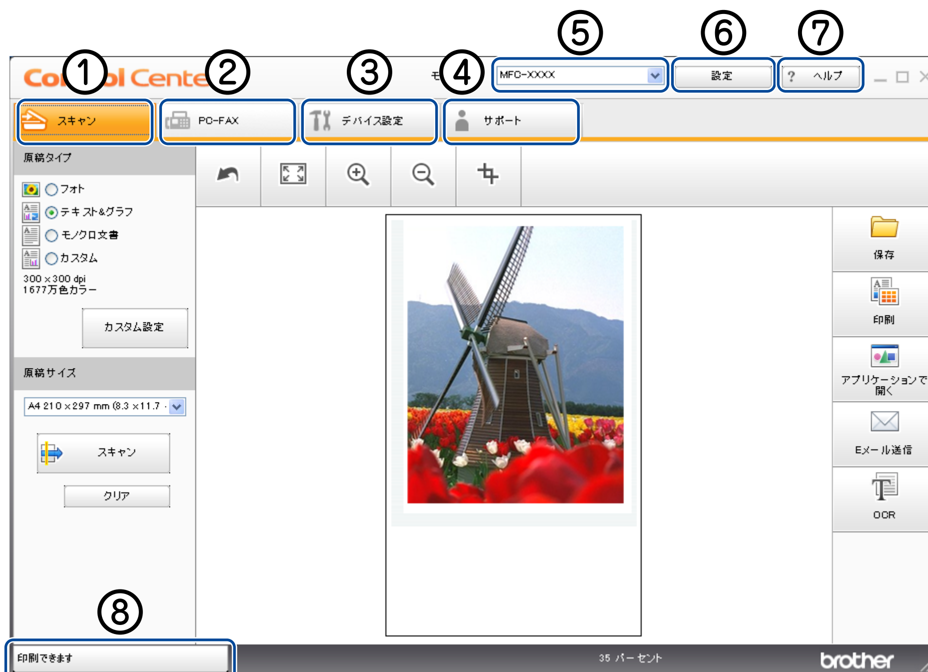




［OK］をクリックする

Homeモード

Homeモードでは本製品の基本的な機能を簡単な操作で使うことができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。



① スキャン

原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、Eメールにデータを添付したりすることができます。詳しくは⇒143ページを参照してください。

② PC-FAX

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信することができます。ファクスを受信して、内容を閲覧することもできます。詳しくは⇒149ページを参照してください。

③ デバイス設定

操作パネルのスキャンボタンの設定や、電話帳の登録などが行えます。詳しくは⇒153ページを参照してください。

④ サポート

ControlCenterヘルプファイル、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）へのリンクが表示されます。詳しくは⇒156ページを参照してください。

⑤ モデル

お使いの製品のモデル名を選択できます。

⑥ 設定

ControlCenter4のモードの変更や、起動の設定が行えます。

⑦ ヘルプ

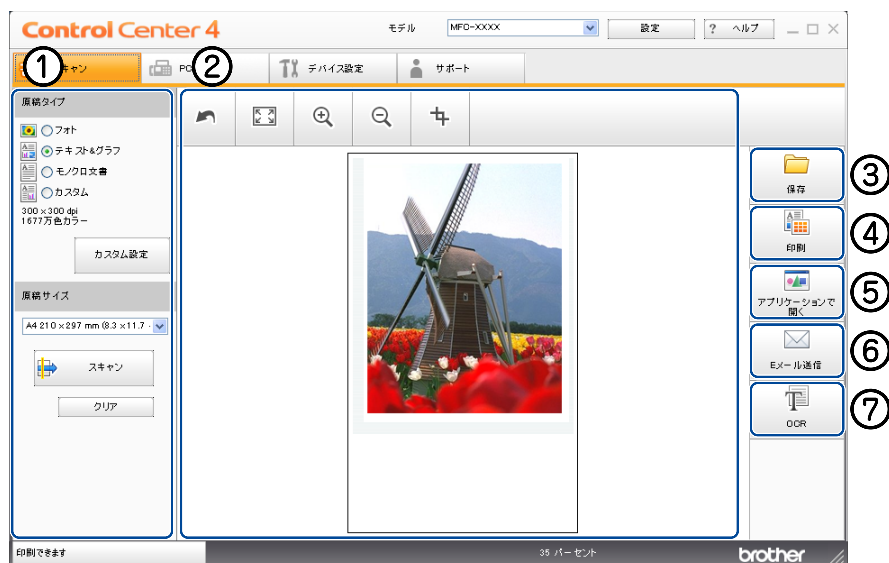
ヘルプファイルを表示できます。

⑧ ステータスモニター

ステータスモニターを表示できます。

スキャン

各種スキャン機能がまとめられています。使用する目的に応じてスキャン機能を選択してください。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。



① スキャン設定エリア
② イメージビューワー
③ 保存ボタン
④ 印刷ボタン
⑤ アプリケーションで開くボタン
⑥ Eメール送信ボタン
⑦ OCR ボタン

ファイル形式

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。
- Windowsビットマップ（＊.bmp）
- JPEG（＊.jpg）
- TIFF（＊.tif）
- TIFFマルチページ（＊.tif）
- Portable Network Graphics（＊.png）
- PDF（＊.pdf）
- パスワード付きPDF（＊.pdf）
- XML Paper Specification（＊.xps）

補足

●ファイル形式の選択は、［保存］、［Eメール送信］または［OCR］をクリックした後に設定ダイアログボックスで行います。また、［OCR］の場合は、選択できるファイル形式が異なります。

●TIFFおよびTIFFマルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。

●XML Paper Specification は、Windows Vista®、Windows® 7 に標準でインストールされている XML ベースの文書フォーマットです。

●パスワード付きPDFは、［保存］または［Eメール送信］を選択してください。

ドキュメントサイズ

プルダウンメニューからドキュメントサイズを選択できます。［1 to 2（A4）］を選択した場合は、スキャンした原稿は A5 サイズ2枚に分割されます。

原稿をスキャンして画像を保存する

原稿をスキャンして画像データをコンピューターの指定したフォルダーに保存します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**

3 **［スキャン］をクリックする**

4 **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**

5 **［保存］をクリックする**

［保存］ダイアログボックスが表示されます。

6 **保存先のフォルダーなどの項目を設定する**

7 **［OK］をクリックする**

設定した保存先に、画像データが保存されます。

原稿をスキャンして画像を印刷する

原稿をスキャンして画像データを印刷できます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［スキャン］タブを選択する**

必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。

3 **［スキャン］をクリックする**

4 **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**

5 **［印刷］をクリックする**

6 **必要に応じて、印刷設定を変更する**

7 **［印刷開始］をクリックする**

ファイルが印刷されます。

原稿をスキャンしてアプリケーションに送る

原稿をスキャンして画像データを直接アプリケーションから開いて編集できます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［スキャン］タブを選択する**

必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。

3 **［スキャン］をクリックする**

4 **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**

5 **［アプリケーションで開く］をクリックする**

「アプリケーションで開く」のダイアログボックスが表示されます。

6 **ドロップダウンリストからアプリケーションを選択し、［OK］をクリックする**

選択したアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

原稿をスキャンしてEメールで送る

原稿をスキャンして画像データを添付ファイルとして、画像データを添付ファイルとして、OS既定のメールソフトの送信画面が表示されます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［スキャン］タブを選択する**

必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。

3 **［スキャン］をクリックする**

4 **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**

5 **［E メール送信］をクリックする**

「E メール送信」のダイアログボックスが表示されます。

6 **必要に応じて、添付ファイルの設定を変更する**

7 **［OK］をクリックする**

画像データを添付ファイルとして、メールソフトの送信画面が表示されます。

OCRを使用して原稿をスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、コンピューターで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［スキャン］タブを選択する**

必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。

3 **［スキャン］をクリックする**

4 **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**

5 **必要に応じて、OCR の設定を変更する**

6 **［OK］をクリックする**

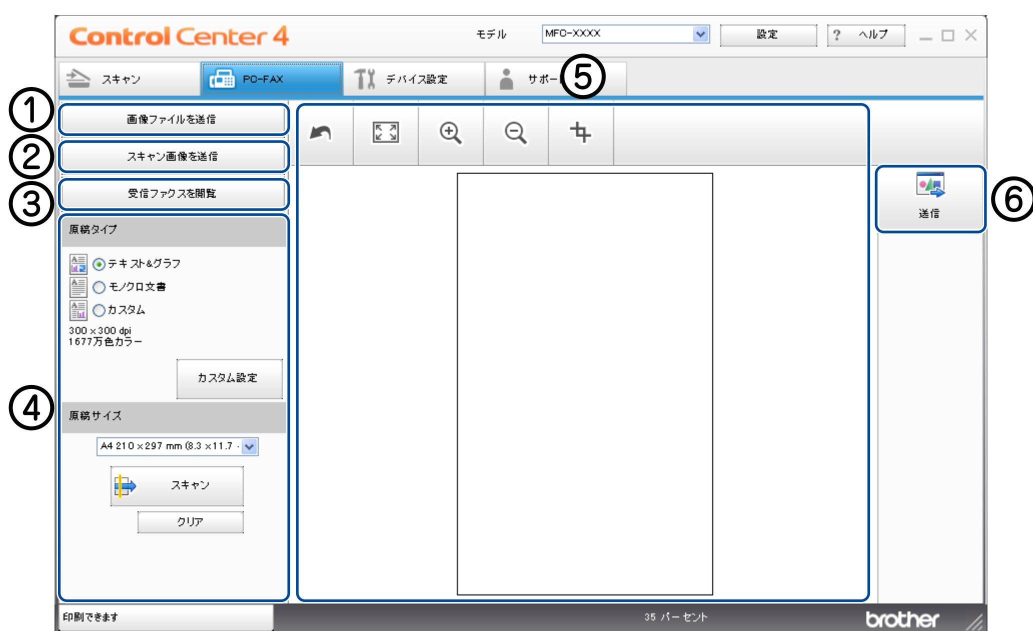
原稿がスキャンされます。
OCR の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

PCファクス

画像データを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、コンピューターで内容を確認することもできます。各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。

補足

- ●PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）
- ●PC-FAXは、A4サイズのみ対応しています。



① 画像ファイルを送信ボタン

② スキャン画像を送信ボタン

③ 受信ファクスを閲覧ボタン

④ スキャン設定エリア

⑤ イメージビューワー

⑥ 送信ボタン

画像データをファクスで送る

コンピューター内に保存された画像データをファクスとして送信します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［PC-FAX］タブを選択する**

3 **［画像ファイルを送信］をクリックする**

4 **画像データを選択する**

補足

- フォルダーをクリックすると、フォルダーの中を閲覧できます。
- 画像データを選択して［拡大表示］をクリックすると、画像データが表示されます。

5 **［送信］をクリックする**

PC-FAX 送信画面が表示されます。

6 **送り先の FAX 番号を入力する**

7 **［送信］をクリックする**

ファクスが送信されます。

原稿をスキャンしてファクスを送る

原稿をスキャンして画像データをファクスとして送信します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［PC-FAX］タブを選択する**

3 **［スキャン画像を送信］をクリックする**

4 **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**

5 **［スキャン］をクリックする**

6 **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**

7 **［送信］をクリックする**

PC-FAX 送信画面が表示されます。

8 **送り先の FAX 番号を入力する**

9 **［送信］をクリックする**

ファクスが送信されます。

PC-FAX受信の閲覧と印刷をする

コンピューターから受信データをPC-FAXで閲覧、または印刷をすることができます。PC-FAX受信を使用する前に、本製品の操作パネルメニューでPC-FAX受信設定を行う必要があります。詳しくは、⇒136ページ「本製品をPCファクス受信モードにする／PCファクス受信するコンピューターを変更する」を参照してください。

1 **［PC-FAX］タブを選択する**

2 **［受信ファクスを閲覧］をクリックする**

PC-FAX受信が起動し、ファクスの受信が始まります。

補足
画像データを選択して［拡大表示］をクリックすると、受信したファクスが表示されます。

3 **［印刷］をクリックする**

4 **必要に応じて、印刷設定を変更する**

5 **［印刷開始］をクリックする**

受信したファクスが印刷されます。

デバイス設定

操作パネルのスキャンボタンの設定を変更したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を変更したりできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。



① リモートセットアップ
② 電話帳
③ スキャンキー設定
④ BRAdmin

リモートセットアップ

コンピューター上で本製品に関する機能設定ができます。



［デバイス設定］タブを選択する



［リモートセットアップ］をクリックする

リモートセットアップ画面が表示されます。詳しくは、⇒ 104 ページを参照してください。

電話帳

コンピューター上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

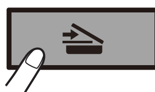
1 **［デバイス設定］タブを選択する**

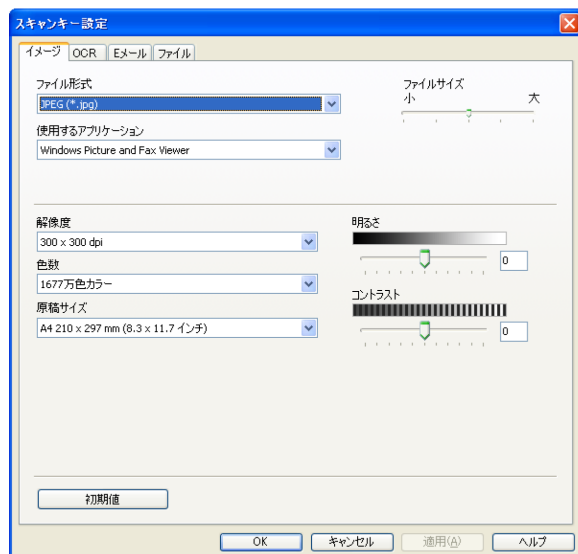
2 **［電話帳］をクリックする**

電話帳画面が表示されます。詳しくは、⇒ 104 ページを参照してください。

スキャンキー設定

<スキャン>からスキャンする場合のスキャン設定を変更することができます。





1 **［デバイス設定］タブを選択する**

2 **［スキャンキー設定］をクリックする**

スキャンキー設定画面が表示されます。スキャンキーの設定をし、［OK］をクリックしてください。

BRAdminユーティリティ

［BRAdmin］で、BRAdmin Light、BRAdmin Professionalのユーティリティを開くことができます。
BRAdminは、ブラザーネットワークプリンターを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンターを設定し、そのステータスを確認することができます。
BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。付属のドライバー＆ソフトウェアー CD-ROMからBRAdmin Lightをインストールするには、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
より高度な管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からBRAdmin Professionalの最新版をダウンロードして使用してください。

1 **［デバイス設定］タブを選択する**

2 **［BRAdmin］をクリックする**

BRAdmin Light、もしくはBRAdmin Professionalダイアログボックスが表示されます。

補足

BRAdmin Light とBRAdmin Professional の両方がインストールされている場合は、BRAdmin Professional がControlCenter4により起動されます。

サポート

ControlCenter4のヘルプなど、本製品をお使いいただくためのサポート情報を表示します。

ControlCenterのヘルプを表示する

ControlCenter4の各機能の詳細に関するヘルプを表示します。

1 [サポート］タブを選択する

2 [ControlCenter のヘルプ］をクリックする

ブラザーソリューションセンターを表示する

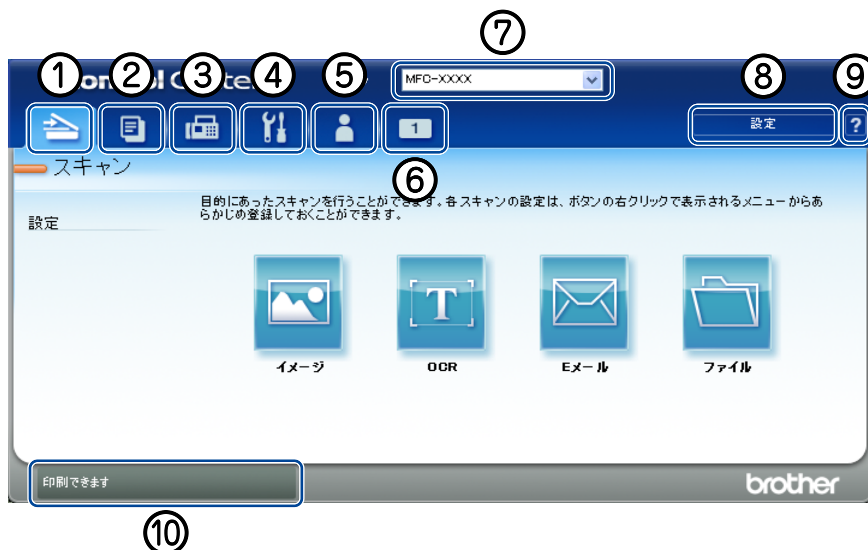
ウェブブラウザーを起動して、本製品のサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）を表示します。よくあるご質問(Q&A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

1 [サポート］タブを選択する

2 [ブラザーソリューションセンター］をクリックする

Advancedモード

Advancedモードでは本製品のすべての機能の操作や設定を行うことができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。



① スキャン

原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、Eメールにデータを添付することができます。詳しくは⇒158ページを参照してください。

② PC コピー

コンピューター経由で原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。詳しくは⇒161ページを参照してください。

③ PC-FAX

スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信することができます。ファクスを受信して、内容を閲覧することもできます。詳しくは⇒162ページを参照してください。

④ デバイス設定

操作パネルのスキャンボタンの設定や、電話帳の登録などが行えます。詳しくは⇒164ページを参照してください。

⑤ サポート

ControlCenterヘルプファイル、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）へのリンクが表示されます。詳しくは⇒167ページを参照してください。

⑥ カスタム

カスタマイズしたタブを作成することができます。各タブにはスキャンやコピーでよく使用する設定をボタンとして登録できます。詳しくは⇒168ページを参照してください。

⑦ モデル

お使いの製品のモデル名を選択できます。

⑧ 設定

ControlCenter4のモードの変更や、起動の設定が行えます。

⑨ ヘルプ

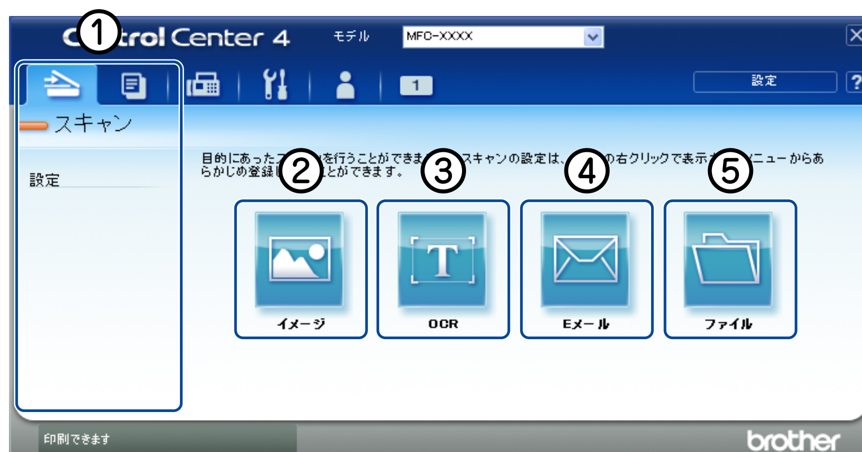
ヘルプファイルを表示できます。

⑩ ステータスモニター

ステータスモニターを表示できます。

スキャン

使用する目的に応じて、原稿をスキャンします。各機能に関するその他の詳細に関しては、ヘルプをクリックしてください。



① スキャン設定エリア

② イメージボタン

③ OCR ボタン

④ E メールボタン

⑤ ファイルボタン

補足

- 各ボタンの設定は、右クリック、または［設定］をクリックすると変更することができます。ダイアログボックスが表示されたら設定を変更し、［OK］をクリックしてください。
- スキャンしたイメージは［プレスキャン］をクリックすると、プレビューとして見ることができます。ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレスキャン］をクリックした時点で原稿が排出されるため、再度セットしてから［スキャン］をクリックしてください。

ファイル形式

それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。
（［イメージ］、［Eメール］または［ファイル］の場合）

- Windowsビットマップ（＊.bmp）
- JPEG（＊.jpg）
- TIFF（＊.tif）
- TIFFマルチページ（＊.tif）
- Portable Network Graphics（＊.png）
- PDF（＊.pdf）
- パスワード付きPDF（＊.pdf）
- XML Paper Specification（＊.xps）

（［OCR］の場合）

- テキストファイル（＊.txt）
- リッチテキスト形式（＊rtf）
- HTML（＊.htm）

補足

- TIFFおよびTIFFマルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。
- XML Paper Specification は、Windows Vista®、Windows® 7 に標準でインストールされている XML ベースの文書フォーマットです。

ドキュメントサイズ

プルダウンメニューからドキュメントサイズを選択できます。［1 to 2（A4）］を選択した場合は、スキャンした原稿は A5 サイズ2枚に分割されます。

原稿をスキャンしてアプリケーションに送る

原稿をスキャンして画像データを直接アプリケーションから開いて編集できます。

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **［スキャン］タブを選択する**
   必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
   スキャン設定を変更したい場合は、［イメージ］を右クリックし、［ボタン設定］をクリックして変更します。プレビューを見たい場合は、［プレスキャン］のチェックボックスをチェックし、［OK］をクリックしてください。

3. **［イメージ］をクリックする**
   スキャンの設定で選択したアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

OCRを使用して原稿をスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、コンピューターで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **［スキャン］タブを選択する**
   必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
   スキャン設定を変更したい場合は、［OCR］を右クリックし、［ボタン設定］をクリックして変更します。プレビューを見たい場合は、［プレスキャン］のチェックボックスをチェックし、［OK］をクリックしてください。

3. **「OCR」をクリックする**
   原稿がスキャンされます。
   ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

原稿をスキャンしてEメールで送る

原稿をスキャンして画像データを添付ファイルとして、画像データを添付ファイルとして、OS既定のメールソフトの送信画面が表示されます。

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **［スキャン］タブを選択する**
   必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
   スキャン設定を変更したい場合は、［E メール］を右クリックし、［ボタン設定］をクリックして変更します。プレビューを見たい場合は、［プレスキャン］のチェックボックスをチェックし、［OK］をクリックしてください。

3. **［E メール］をクリックする**
   選択された画像データを添付ファイルとして、コンピューターのメールソフトの送信画面が表示されます。

原稿をスキャンして画像を保存する

原稿をスキャンして画像データをコンピューターの指定したフォルダーに保存します。

1. **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2. **［スキャン］タブを選択する**
   必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
   スキャン設定を変更したい場合は、［ファイル］を右クリックし、［ボタン設定］をクリックして変更します。プレビューを見たい場合は、［プレスキャン］のチェックボックスをチェックし、［OK］をクリックしてください。

3. **［ファイル］をクリックする**
   設定した保存先に、画像データが保存されます。

PCコピー

原稿をスキャンして画像データを印刷する機能がまとめられています。本製品をコピー機として使うことができます。各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。

補足

●各ボタンの設定は、右クリック、または［設定］をクリックすると変更することができます。ダイアログボックスが表示されたら設定を変更し、［OK］をクリックしてください。

●スキャンしたイメージは［プレスキャン］をクリックすると、プレビューとして見ることができます。ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合は、［プレスキャン］をクリックした時点で原稿が排出されるため、再度セットしてから［スキャン］をクリックしてください。

原稿をコピーする

原稿をスキャンして画像データを本製品から印刷できます。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［PC コピー］タブを選択する**

必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
スキャン設定を変更したい場合は、設定を変更したいボタンを右クリックし、［ボタン設定］をクリックして変更します。プレビューを見たい場合は、［プレスキャン］のチェックボックスをチェックし、［OK］をクリックしてください。

3 **［カラー コピー］／［モノクロ コピー］／［2 in 1 コピー］／［4 in 1 コピー］のいずれかをクリックする**

原稿がコピーされます。

PCファクス

画像データを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。

補足
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）
- PC-FAXは、A4サイズのみ対応しています。

画像データをファクスで送る

コンピューターから画像データをPC-FAXで送信することができます。

1 ［PC-FAX］タブを選択する

2 ［画像ファイルを送信］をクリックする

3 画像データを選択する

補足
- フォルダーをクリックすると、フォルダーの中を閲覧できます。
- 画像データを選択して［拡大表示］をクリックすると、画像データが表示されます。

4 ［送信］をクリックする

PC-FAX 送信画面が表示されます。

5 送り先の FAX 番号を入力する

6 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

原稿をスキャンしてファクスを送る

原稿をスキャンして画像データをファクスとして送信します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **［PC-FAX］タブを選択する**

必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
スキャン設定を変更したい場合は、［スキャン画像を送信］を右クリックし、［ボタン設定］をクリックして変更します。プレビューを見たい場合は、［プレスキャン］のチェックボックスをチェックし、［OK］をクリックしてください。

3 **［スキャン画像を送信］をクリックする**

原稿がスキャンされ、PC-FAX 送信画面が表示されます。

4 **送り先の FAX 番号を入力する**

5 **［送信］をクリックする**

ファクスが送信されます。

コンピューターでファクスを受信する

コンピューターから受信データをPC-FAXで閲覧、または印刷をすることができます。コンピューターでファクスを受信するには、本製品の操作パネルメニューでPC-FAX受信設定を行う必要があります。詳しくは、⇒136 ページ「本製品を PC ファクス受信モードにする／PCファクス受信するコンピューターを変更する」を参照してください。

1 **［PC-FAX］タブを選択する**

2 **［受信ファクスを閲覧］をクリックする**

PC-FAX 受信が起動し、ファクスの受信が始まります。

補足

画像データを選択して［拡大表示］をクリックすると、受信したファクスが表示されます。

3 **［印刷］をクリックする**

4 **必要に応じて、印刷設定を変更する**

5 **［印刷開始］をクリックする**

受信したファクスが印刷されます。

デバイス設定

操作パネルのスキャンボタンの設定を変更したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を変更したりできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。

リモートセットアップ

コンピューター上で本製品に関する機能設定ができます。

1 **［デバイス設定］タブを選択する**

2 **［リモートセットアップ］をクリックする**
リモートセットアップ画面が表示されます。詳しくは、⇒ 104 ページを参照してください。

電話帳

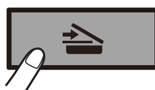
コンピューター上で本製品の電話帳に関する操作ができます。

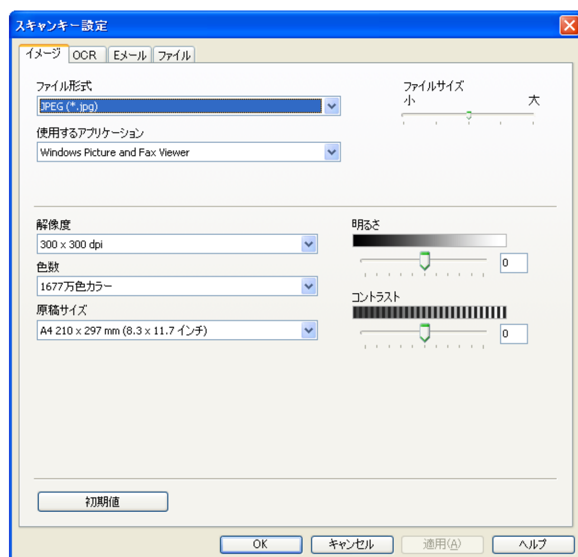
1 **［デバイス設定］タブを選択する**

2 **［電話帳］をクリックする**
電話帳画面が表示されます。詳しくは、⇒ 104 ページを参照してください。

スキャンキー設定

<スキャン>からスキャンする場合のスキャン設定を変更することができます。





1 **［デバイス設定］タブを選択する**

2 **［スキャンキー設定］をクリックする**

スキャンキー設定画面が表示されます。スキャンキーの設定をし、［OK］をクリックしてください。

BRAdminユーティリティ

［BRAdmin］で、BRAdmin Light、BRAdmin Professionalのユーティリティを開くことができます。
BRAdminは、ブラザーネットワークプリンターを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンターを設定し、そのステータスを確認することができます。
BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。付属のドライバー＆ソフトウェアーCD-ROMからBRAdmin Lightをインストールするには、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
より高度な管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からBRAdmin Professionalの最新版をダウンロードして使用してください。

1 **［デバイス設定］タブを選択する**

2 **［BRAdmin］をクリックする**

BRAdmin Light、もしくはBRAdmin Professionalダイアログボックスが表示されます。

補足

BRAdmin Light とBRAdmin Professional の両方がインストールされている場合、BRAdmin Professional がControlCenter4により起動されます。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

サポート

ControlCenter4のヘルプなど、本製品をお使いいただくためのサポート情報を表示します。

ControlCenterのヘルプを表示する

ControlCenter4の各機能の詳細に関するヘルプを表示します。

1. **［サポート］タブを選択する**
2. **［ControlCenter のヘルプ］をクリックする**

ブラザーソリューションセンターを表示する

ウェブブラウザーを起動して、本製品のサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）を表示します。よくあるご質問(Q&A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

1. **［サポート］タブを選択する**
2. **［ブラザーソリューションセンター］をクリックする**

カスタム

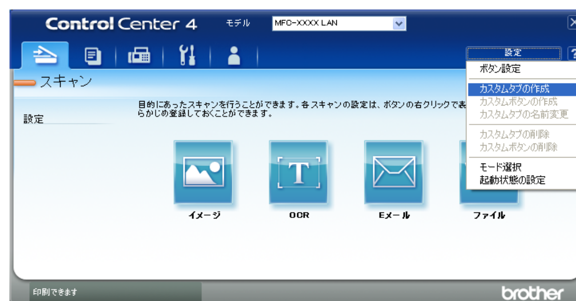
よく使う機能をまとめて、オリジナルのタブを3つまで作成できます。
各機能の詳細は、ControlCenter4のヘルプを参照してください。

オリジナルのタブを作成する

最大3つのオリジナルのタブを作成することができます。各タブには最大5つの機能を登録できます。

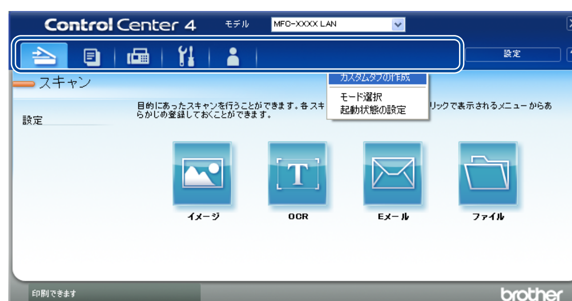


［設定］から［カスタムタブの作成］を選択する





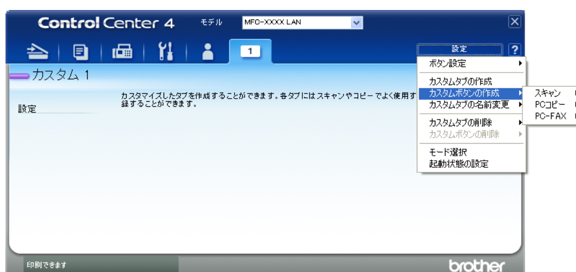
右図の枠内を右クリックして［カスタムタブの作成］を選択することもできます。



［カスタム］ボタンを作成する

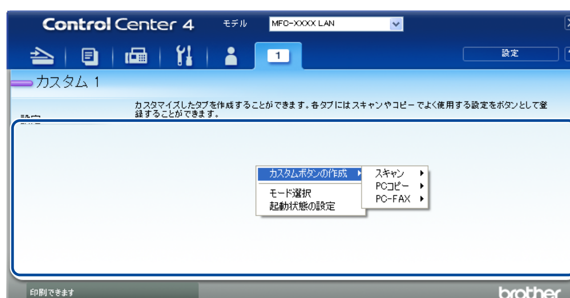
1 **登録したいカスタムタブをクリックし、［設定］から［カスタムボタンの作成］を選択し、メニューリストから作成したい機能ボタンを選択する**

設定ダイアログボックスが表示されます。



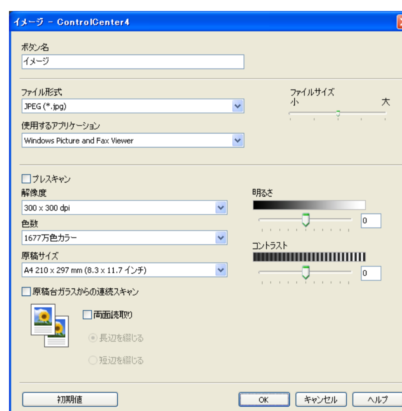
補足

右図の枠内を右クリックして［カスタムボタンの作成］を選択することもできます。



2 **ボタン名を入力し、必要に応じて設定を変更して、［OK］をクリックする**

作成したボタンによって設定が異なります。



補足

カスタム登録したタブやボタンの設定変更や削除を行うときは、［設定］をクリックして、メニューに従ってください。

Macintosh編

1章

プリンターとして使う

プリンターとして使用する前に

ドライバーをインストールする

本製品をプリンターとして使用するには、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMの中にあるプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーは、Mac OSに簡単にインストールでき、印刷方向や用紙のカスタムサイズの設定などができます。Macintoshとの接続やドライバーのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

プリンターとしての特長

本製品は、高品質のレーザープリンターとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもMacintoshからのデータを印刷することができます。
ネットワーク環境では、ネットワークプリンターとして使用できます。
以下に、プリンターとしての特長を説明します。

● 高速 28 枚 / 分※の印刷速度

ハイスピードなプリンティングを実現する28枚/分※（A4サイズ）エンジンと、スムーズなデータ処理を実現する高速RISCチップを搭載しています。（印刷スピードは複雑なデータの場合など、印刷する内容によって異なります。）

部数の多いドキュメント出力の場合や、複数の人が使用する状況、効率化が求められる現場でも、快適なプリントアウトを実現できます。

※ MFC-9970CDWは、28枚/分（A4サイズ）、MFC-9460CDNは、24枚/分（A4サイズ）の印刷速度です。

● 自動両面印刷

1分間に最高14ページ※の両面印刷ができます。（印刷スピードは複雑なデータなど、印刷する内容によって異なります。）省資源、経費削減に有効です。

※ 両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、7枚/分です。

● 高品質なカラードキュメント作成

高解像度2400dpi×600dpiにより、細かい文字もくっきりと、写真やイラストも美しくプリントアウトできます。

● 大容量 250 枚のトレイ給紙

250枚の普通紙がセット可能な記録紙トレイを標準装備しています。

さらにオプションの増設記録紙トレイ（LT-300CL）（500枚）をセカンドカセットとして装着することができます。

多目的トレイ（MPトレイ）（50枚）と合わせて、最大800枚の給紙が可能です。

● Hi-Speed USB 2.0 標準装備

データの高速通信が可能なHi-Speed USB 2.0に対応しています。コンピューターの電源が入ったままでもUSBケーブルの抜き差しが可能なため、簡単かつ便利にコンピューターと接続できます。さらにインターフェイス自動切替により、複数のコンピューターでの共有も容易です。

● 多様なネットワーク環境に対応

IEEE802.11b/gに準拠した無線LANに対応しています。（MFC-9970CDWのみ）

また高速大容量転送を実現する10BASE-T/100BASE-TX有線ネットワークをサポートし、Windows®やMacintoshなどさまざまなネットワーク環境に対応しています。

補足

自動インターフェイス選択機能
本製品には自動インターフェイス選択機能が搭載されています。受信したデータのインターフェイスに応じて、USBインターフェイス、10BASE-T/100BASE-TXのネットワークが自動的に変更されます。

● ランニングコストを節約する分離型カラーカートリッジを採用

経済的な設計のトナーとドラムの分離型カートリッジを採用しています。トナーのみの交換ができるため無駄がなく、標準トナーと大容量トナーによって、低ランニングコストを実現します。※1
また、両面印刷機能やトナー節約機能で、さらに印刷コストを削減することができます。

トナー		印刷可能枚数※1	色
標準トナー※2	TN-390BK	約2,500枚	ブラック
	TN-390C TN-390M TN-390Y	約1,500枚	シアン マゼンタ イエロー
大容量トナー	TN-395BK	約4,000枚	ブラック
	TN-395C TN-395M TN-395Y	約3,500枚	シアン マゼンタ イエロー
超大容量トナー※3	TN-398BK TN-398C TN-398M TN-398Y	約6,000枚	ブラック シアン マゼンタ イエロー

※1： 印刷可能枚数はJIS X 6932（ISO/IEC 19798）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6932（ISO/IEC 19798）とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）
※２： 製品同梱のトナーです。
※３： MFC-9970CDW のみ

● セキュリティ印刷

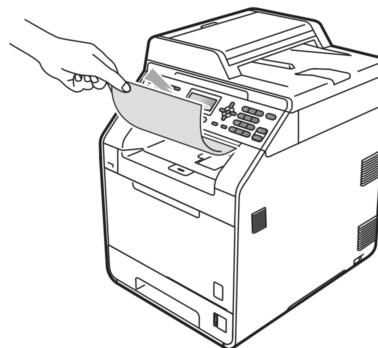
データ印刷時、設定したパスワードを本製品の操作パネルで入力しないと印刷できないようにします。書類の機密保持に役立ちます。詳しくは⇒186ページを参照してください。

● 印刷枚数の制限

ユーザーごとにパスワードを割り当てて、印刷枚数を制限することで不要な出力を防止し、経費削減につながります。
詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

補足

- 解像度などの設定については、⇒182ページを参照してください。
- 記録紙についての詳細は、ユーザーズガイド基本編「ご使用の前に　記録紙について」を参照してください。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。



- 本製品が Macintosh からのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのは Macintosh の印刷終了後です。また、Macintoshから印刷中にファクスを受信すると、Macintoshの印刷終了後に受信したファクスの印刷を開始します。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

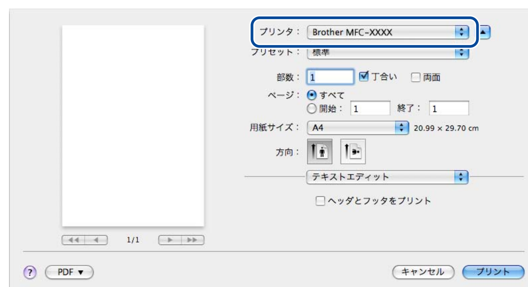
ご使用のソフトウェアの種類やMacintoshの環境によっては、本製品で印刷できない場合もあります。

印刷する

片面に印刷する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

2 ［プリント］ダイアログボックス内の［プリンタ］から本製品のプリンター名を選択する



3 必要に応じて部数、ページなどを設定し、［プリント］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する

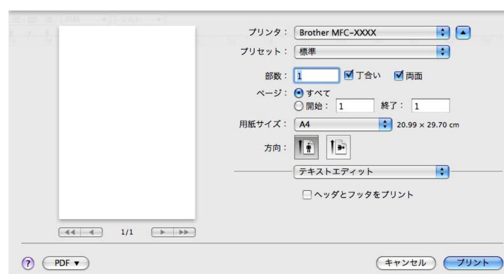
両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**

2 **［プリンタ］ダイアログボックスの中で本製品のプリンター名を選択する**

Mac OS X 10.4.11 の場合は、手順 4 に進みます。

3 **［両面］のチェックボックスにチェックする**

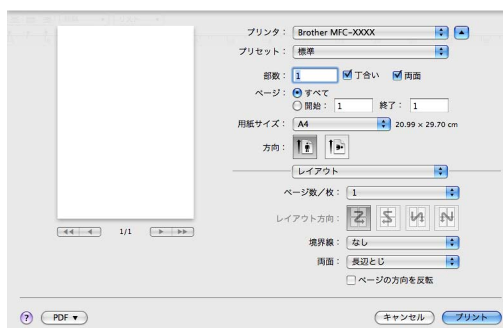


4 **ポップアップメニューから［レイアウト］を選択し、両面の［長辺とじ］、［短辺とじ］を選択する**

Mac OS X 10.4.11 の場合



Mac OS X 10.5.x、10.6.x の場合



補足

必要に応じて部数、ページなどを設定してください。

5 **［プリント］をクリックする**

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

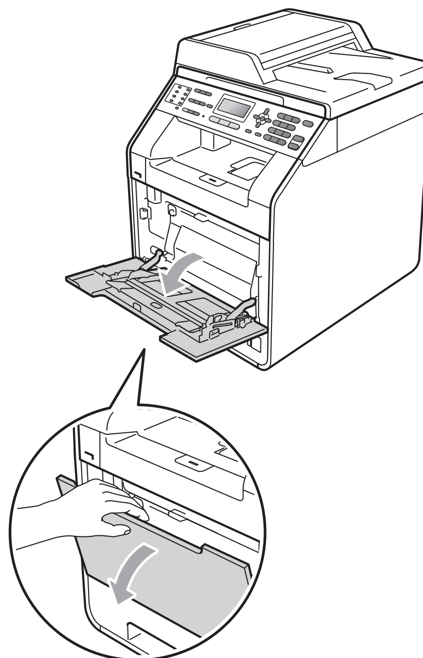
補足

印刷品質は、本製品の設置環境によって異なる場合があります。

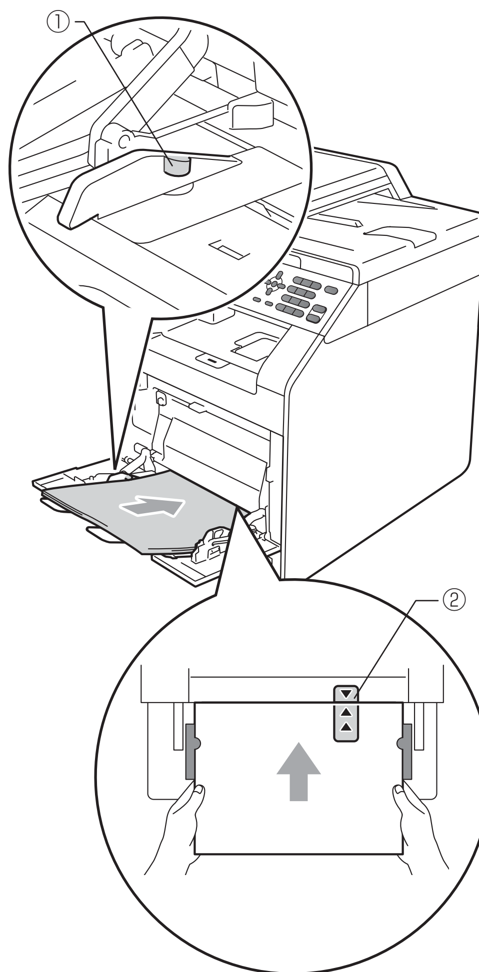
多目的トレイ（MPトレイ）を使用して印刷する

1 多目的トレイを開く

必要に応じて、用紙ストッパーを開きます。



2 印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットする



補足

- 用紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。ただし、封筒は最大3枚まで、厚紙は最大25枚（163g/m^2/43lb）まで入れてください。紙づまりを起こす恐れがあります。
- 用紙の先端をマーク②の位置に合わせてください。
- 光沢紙の場合は、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください。

3 記録紙ガイドをつまみながら、記録紙の幅に合わせる

4 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

5 ［プリンタ］ダイアログボックス内の本製品のプリンター名を選択する

必要に応じて用紙サイズや向きなどの印刷設定を行ってください。

6 ［プリント］をクリックする

本製品のプリントデータランプが点滅して印刷を開始します。

注意

■用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■多目的トレイ（MPトレイ）から用紙が一度に2枚給紙される場合は、給紙中に最上面の用紙以外を押さえてください。

操作パネルからのプリント操作

印刷をキャンセルする

本製品内のメモリに蓄積されている印刷用データの消去および印刷中のジョブをキャンセルします。



<キャンセル>を押す

メモリ内のデータが消去されます。



すべての印刷用データやジョブを消去したい場合は、液晶ディスプレイに「ジョブキャンセル　（全て）」と表示されるまで<キャンセル>を押します。

フォントリストの出力

本製品の内蔵フォントリストを印刷できます。



MFC-9460CDNは<メニュー>→<4>→<2>→<1>を押す

<▲>または<▼>で選択して<OK>で決定することも可能です。

MFC-9970CDWは【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター オプション】を選択し、【フォント リスト】を押す



MFC-9460CDNは<1>または<2>を押す

<▲>または<▼>で選択して<OK>で決定することも可能です。

MFC-9970CDWは【HP LaserJet】または【BR-Script 3】を選択する



<スタート>を押す

フォントリストが出力されます。



<停止/終了>を押す

プリンター設定内容リストの出力

現在のプリンターの設定内容を印刷できます。



MFC-9460CDNは<メニュー>→<4>→<2>→<2>を押す

<▲>または<▼>で選択して<OK>で決定することも可能です。

MFC-9970CDWは【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター オプション】を選択し、【プリンター設定】を押す



<スタート>を押す

プリント設定内容が出力されます。



<停止/終了>を押す

テスト印刷

印刷の品質をテスト印刷して確認します。



MFC-9460CDN は＜メニュー＞→<4>→<2>→<3> を押す

＜▲＞または＜▼＞で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター オプション】を選択し、【テスト プリント】を押す



＜スタート＞を押す

テスト印刷が出力されます。



＜停止 / 終了＞を押す

両面印刷

プリンターの印刷設定を両面にすることができます。
両面印刷できる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。



MFC-9460CDN は＜メニュー＞→<4>→<3> を押す

＜▲＞または＜▼＞で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【両面印刷】を選択する



MFC-9460CDN は＜▲＞または＜▼＞を押して設定を選択する

［オフ］［オン（長辺とじ）］［オン（短辺とじ）］を選択します。

MFC-9970CDW は【オフ】、【長辺綴じ】、【短辺綴じ】から選択する

手順 4 へ進んでください。



<OK> を押す



＜停止 / 終了＞を押す

印刷カラー設定

プリンター出力色の設定ができます。

1 **MFC-9460CDN は < メニュー > → <4> → <4> を押す**

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【印刷カラー】を選択する

2 **MFC-9460CDN は < ▲ > または < ▼ > を押して設定を選択する**

［自動］［カラー］［モノクロ］を選択します。

MFC-9970CDW は【自動】、【カラー】、【モノクロ】から選択する

手順 4 へ進んでください。

3 **<OK> を押す**

4 **< 停止 / 終了 > を押す**

補足

詳細は、⇒191ページ「① カラー／モノクロ」、⇒194ページ「④ カラー／モノクロ」を参照してください。

プリント設定の初期化

プリント設定内容をお買い上げ時の状態にすることができます。

1 **MFC-9460CDN は < メニュー > → <4> → <5> を押す**

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

MFC-9970CDW は【メニュー】→【プリンター】→【▲】または【▼】で【プリンター リセット】を選択する

2 **MFC-9460CDN は <1> を押す**
MFC-9970CDW は【はい】を押す

プリント設定内容が初期化されます。

3 **< 停止 / 終了 > を押す**

プリンタードライバーの設定方法

プリンタードライバーは、本製品をプリンターとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMに収録されています。最新のプリンタードライバーは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）

ここでは、プリンタードライバーの機能について説明します。プリンタードライバーの機能の詳細は、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。
本製品でコンピューターから印刷する際にプリンタードライバーで各種の設定をすることができます。
本製品は、Mac OS X 10.4.11/10.5.x/10.6.xに対応しています。

補足

ここではMac OS X 10.5.xの画面をもとに説明しています。
それぞれの画面は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によって異なります。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択する

「Brother MFC-XXXX」が表示されていることを確認します。

右の画面が表示され、次の項目が設定できます。
- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

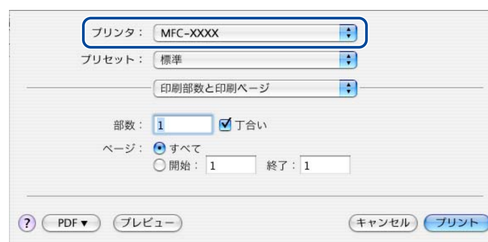


2 設定が終わったら、［OK］をクリックする

3 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

本製品のモデル名のプリンターが選択されていることを確認します。
- Mac OS X 10.4.11の場合は、手順5に進みます。
- Mac OS X 10.5.x、10.6.xの場合は、手順4に進みます。

Mac OS X 10.4.11 の場合

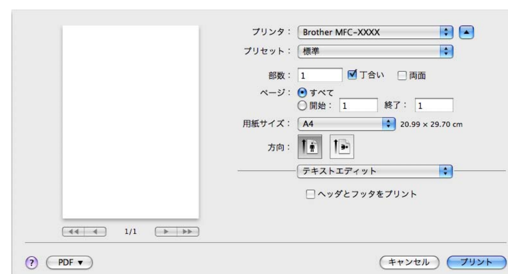


Mac OS X 10.5.x、10.6.x の場合



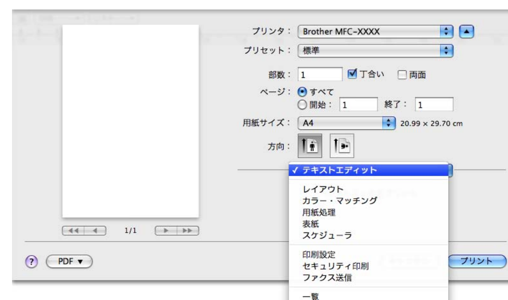
4 ［プリンタ］ポップアップメニューの横の▼をクリックする





5 ポップアップメニューから各項目を選択する

設定内容の詳細は⇒ 182 ページ「プリンタードライバーの設定内容」を参照してください。



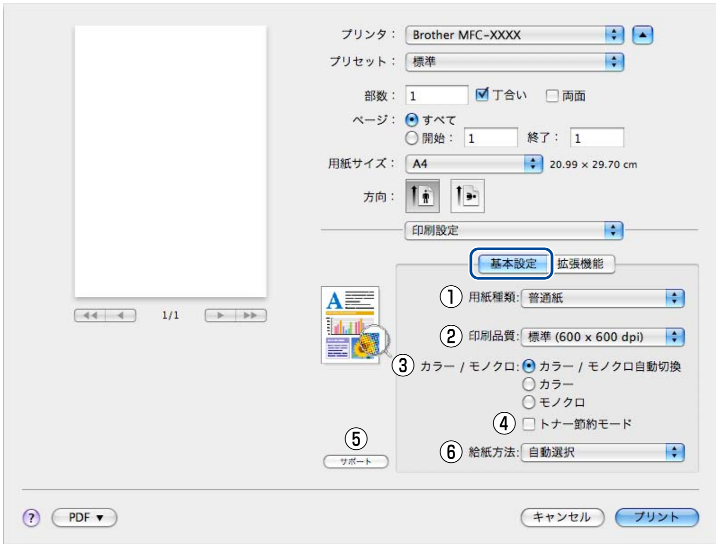
6 設定が終わったら、［プリント］をクリックしてプリントする

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

プリンタードライバーの設定内容

プリンタードライバーで設定・変更できる項目について説明します。
プリンタードライバーで設定できる項目は、ご使用のオペレーティングシステム（OS）によっては利用できない項目があります。また、ご使用のアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、アプリケーションソフト側の設定が優先されます。

［基本設定］画面での設定項目



① 用紙種類

次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙種類を設定してください。

「普通紙（厚め）」：	厚めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「普通紙」：	普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「厚紙」：	厚めの用紙に印刷する場合
「超厚紙」：	「厚紙」「ハガキ」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒」：	封筒に印刷する場合
「封筒（厚め）」：	「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：	「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合
「再生紙」：	再生紙に印刷する場合
「ラベル紙」：	ラベル紙に印刷する場合
「光沢紙」	光沢紙に印刷する場合（給紙方法は、多目的トレイ（MPトレイ）を選択して、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください）
「ハガキ」：	はがきに印刷する場合

② 印刷品質

印刷品質を次の2種類から選択します。

「標準（600×600dpi）」：	通常の印刷にお勧めします。 比較的速い時間で、品質の良い印刷ができます。
「きれい（2400dpi相当）」：	より品質の良い印刷をしたい場合、このモードを選択します。 このモードは、各ピクセルの階調性が向上するため、写真などの印刷に適しています。 ただし、印刷データが大きくなるため、印刷処理やデータ転送に時間がかかり、「標準（600×600dpi）」よりも印刷にかかる時間が長くなります。

補足

選択する「印刷品質」によって印刷時間が異なります。より品質のよい印刷をするためには、時間がかかりますが、印刷品質を下げると、印刷時間が早くなります。
「きれい（2400dpi 相当）」を選択して印刷したときに「メモリがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリを増やしてください。詳細は、⇒ユーザーズガイド応用編「メモリを増設する」を参照してください。

③ カラー／モノクロ

印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。

「カラー /モノクロ自動切換」：ドキュメント内を検索して、カラーデータのあるページはカラー設定に、カラーデータのないページはモノクロ設定に、ページ単位で自動に切り換えて印刷します。ただし、ご使用のデータが見た目はモノクロ文書であっても、ファイルとしてカラー情報を含んでいる場合には、カラーで印刷します。また、グレーの部分の印刷は、カラー設定で印刷することがあります。この設定を選択した場合は、印刷が若干遅くなります。

「カラー」：カラーで印刷する場合に選択します。

「モノクロ」：モノクロ（黒とグレースケールのテキストやオブジェクトのみで作成されたもの）で印刷する場合に選択します。カラーで作成した文書をモノクロで印刷すると、256階調のグレーで印刷されます。

補足

カラートナーが交換時期になっている、またはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態では、カラー印刷を実行できません。このときプリンタードライバーの設定で［モノクロ］を選択し再度印刷し直すと、ブラックのトナーが交換時期に到達するまでモノクロ印刷できます。
また、カラートナーを消費したくない場合（モノクロ印刷の際）にも「モノクロ」を選択することによりブラックトナーだけで印刷することができます。

④ トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約することができます。

補足

写真やモノクロ画像を印刷する場合は、「トナー節約モード」をおすすめしません。

⑤ サポート

- Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）
  よくあるご質問（Q&A）、ユーザーズガイド、最新のドライバーやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているサポートサイトです。
- ブラザー純正消耗品のご案内
  ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページが表示されます。



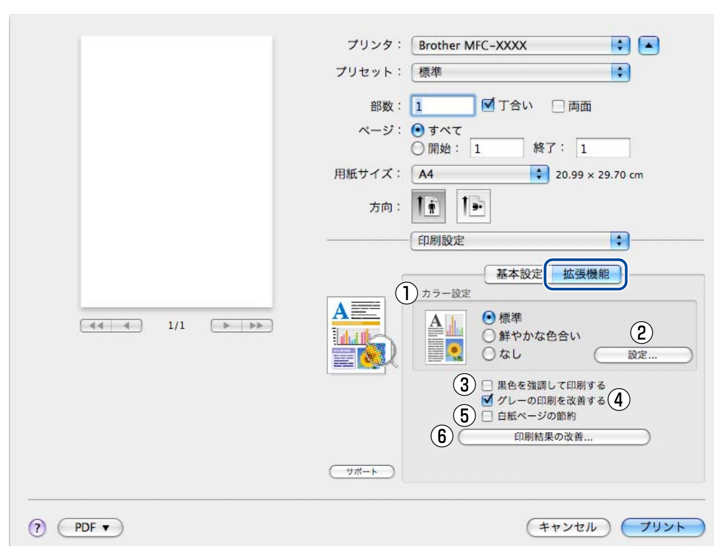
⑥ 給紙方法

給紙するトレイを選択します。

上下反転（Mac OS X 10.4.11）

上下を逆にして印刷することができます。
Mac OS X 10.5.x、10.6.xの場合は、⇒185ページ「［レイアウト］での設定項目」の「ページの方向を反転」で設定してください。

［拡張機能］画面での設定項目



① カラー設定

カラー印刷の色合いを変化させることができます。
「標準」：　標準的な色合いで印刷します。
「鮮やかな色合い」：鮮やかな色合いで印刷します。
「なし」：　色合いの変更無しで印刷します。

② 設定ボタン

「①カラー設定」で［標準］または［鮮やかな色合い］を選択した場合、さらに明るさやコントラスト、色合いなどを調節できます。［設定］をクリックすると、［調整項目］ダイアログが表示されます。



③ 黒色を強調して印刷する

黒部分に十分な濃度の印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。
黒部分を全トナーを用いて印刷します。

④ グレーの印刷を改善する

グレーの部分の印刷に他の色要素が加わり、満足な印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。

⑤ 白紙ページの節約

「白紙ページの節約」のチェックボックスをチェックすると、自動的に白紙ページを印刷しないようにすることができます。

⑥ 印刷結果の改善

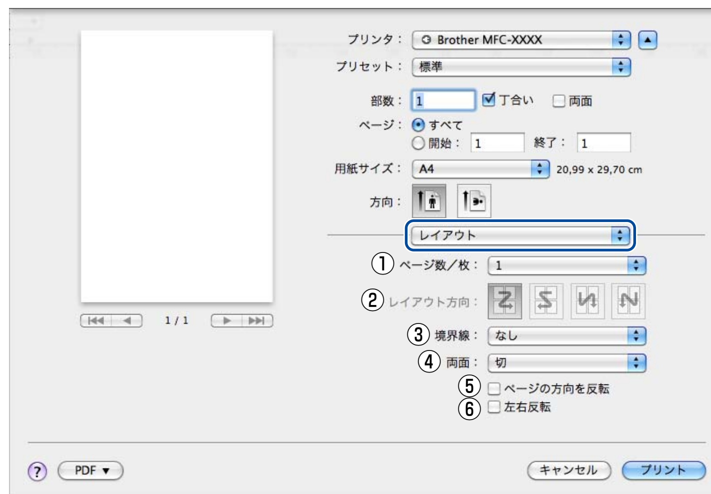
用紙のカールを軽減する

印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」をチェックすることでカールが軽減される場合があります。
チェックしても改善されない場合は、⇒182ページ［基本設定］画面の用紙種類をより薄いものに変更してください。

トナーの定着を改善する

印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」をチェックすることで改善される場合があります。
チェックしても改善されない場合は、⇒182ページ［基本設定］画面の用紙種類をより厚いものに変更してください。

［レイアウト］での設定項目



① ページ数／枚

イメージのサイズを縮小して複数のページを1枚の用紙に印刷することができます。
1枚の用紙に印刷するページ数を「1」、「2」、「4」、「6」、「9」、「16」から選択します。

② レイアウト方向

複数ページのレイアウト方向を選択します。

③ 境界線

複数ページを1枚の用紙に印刷する場合、各ページに仕切り線を挿入することができます。
仕切り線のタイプを「なし」、「極細線」、「細線」、「極細2本線」、「細2本線」から選択します。

④ 両面

- 自動両面印刷の場合
  ［レイアウト］を選択し、［両面］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。
- 手動両面印刷の場合
  （Mac OS X 10.4.11）
  ［用紙処理］を選択し、［プリント］で［偶数ページ］を選択して印刷し、次に用紙をトレイに裏返しにセットして「奇数ページ」を選択して印刷します。
  （Mac OS X 10.5.x、10.6. x）
  ［用紙処理］を選択し、［プリントするページ］で［偶数ページのみ］を選択して印刷し、次に用紙をトレイに裏返しにセットして「奇数ページのみ」を選択して印刷します。

⑤ ページの方向を反転（Mac OS X 10.5.x、10.6.xのみ）

上下を反転して印刷することができます。

⑥ 左右反転（Mac OS X 10.6.xのみ）

左右を反転して印刷することができます。

［セキュリティ印刷］での設定項目

● セキュリティ印刷

Macintoshから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンターの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷の流れは以下のとおりです。

Macintoshでセキュリティ印刷機能をオンにして、パスワードを設定する



Macintoshで印刷を実行する



印刷データが本製品に届き、本製品のメモリ内に保持される

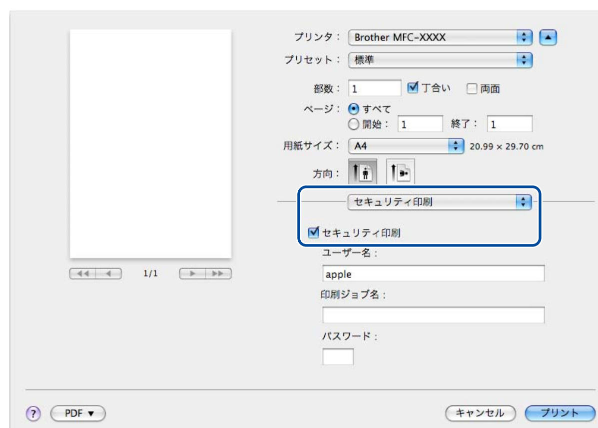


本製品の操作パネルでパスワードを入力すると、データが印刷される

パスワードが設定されていると、本製品は印刷データを受信しても、プリンターの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データは本製品の電源をオフにすると消去されます。
パスワードを入力して印刷後、データは本製品のメモリからクリアされます。

● Macintosh の操作

1 ［セキュリティ印刷］で、セキュリティ印刷チェックボックスにチェックを付ける



2 パスワード、ユーザー名、印刷ジョブ名を設定する

パスワードは半角４桁数字、ユーザー名と印刷ジョブ名は半角英数字で入力してください。

3 ［プリント］をクリックする

● 本製品の操作（MFC-9460CDN の場合）

4 **< セキュリティ > を押す**

メモリにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。



セキュリティ印刷をします。

5 **< ▲ > または < ▼ > を押してユーザーを選択し、<OK> を押す**

セキュリティ印刷
名前?
▲ USER1
▼ USER2
▲▼で選択&OKボタン

6 **< ▲ > または < ▼ > を押して印刷したいデータを選択し、<OK> を押す**

セキュリティ印刷
文書名?
▲ 1. TEST1
▼ 2. TEST2
▲▼で選択&OKボタン

7 **4 桁のパスワードを入力し、<OK> を押す**

セキュリティ印刷
TEST1
パスワード：XXXX
入力&OKボタン

8 **< ▲ > または < ▼ > を押して「プリント」を選択し、<OK> を押す**

印刷をしないでデータを削除する場合は、< ▲ > または < ▼ > を押して「消去」を選択し、<OK> を押してください。

セキュリティ印刷
TEST1
▲ プリント
▼ 消去
▲▼で選択&OKボタン

9 **プリントしたい部数（1 ～ 999）をダイヤルボタンで入力し、<OK> を押す**

印刷を開始します。

セキュリティ印刷
TEST1
部数 = 1
入力&OKボタン

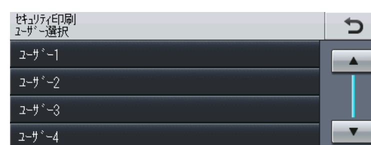
● 本製品の操作（MFC-9970CDW の場合）

4 【セキュリティ印刷】を押す

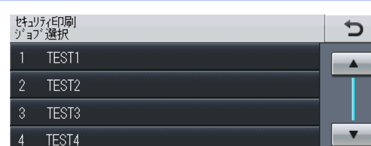
メモリにセキュリティデータがない場合は、「データがありません」と表示されます。



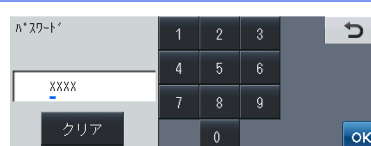
5 【▲】または【▼】を押してユーザーを選択する



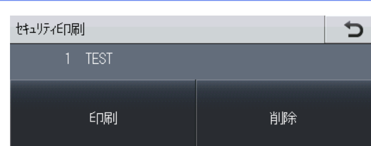
6 【▲】または【▼】を押して印刷したいデータを選択する



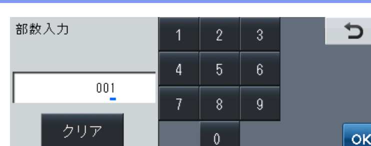
7 ４桁のパスワードを入力し、【OK】を押す



8 【印刷】を押す

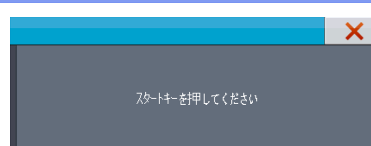


9 プリントしたい部数（001 ～ 999）を液晶ディスプレイのテンキー、またはダイヤルボタンで入力し、【OK】を押す



10 ＜スタート＞を押す

印刷を開始します。



BR-Script3プリンタードライバーについて

BR-Script3プリンタードライバーで設定・変更できる項目について説明します。
Macintoshプリンタードライバーの基本的な操作については、⇒182ページ「プリンタードライバーの設定内容」を参照してください。



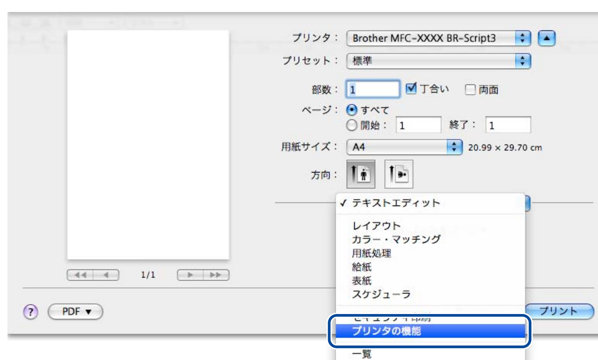
●BR-Script3プリンタードライバーは、PCファクス機能には対応していません。

●USB接続しているMac OS Xは、1つのプリンタードライバーのみ登録することができます。すでに［プリンタリスト］にブラザープリンタードライバーが登録されている場合は、いったんドライバーを削除してBR-Script3プリンタードライバーをインストールする必要があります。

●BR-Script3プリンタードライバーのインストール、および設定方法は、以下のサイトからダウンロードして設定してください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）

1 ［プリンタの機能］画面を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリンタの機能］を選択してください。



［プリンタの機能］画面での設定項目

● Mac OS X 10.4.11 の場合



［機能セット］で［設定1］/［設定2］/［設定3］を選択して、項目を切り替えます。

● 設定 1

① 印刷品質

印刷品質を次の2種類から選択します。

「標準（600×600dpi）」：	通常の印刷にお勧めします。 比較的速い時間で、品質の良い印刷ができます。
「きれい（2400dpi相当）」：	より品質の良い印刷をしたい場合、このモードを選択します。 このモードは、各ピクセルの階調性が向上するため、写真などの印刷に適しています。 ただし、印刷データが大きくなるため、印刷処理やデータ転送に時間がかかり、「標準（600×600dpi）」よりも印刷にかかる時間が長くなります。

補足

選択する「印刷品質」によって印刷時間が異なります。より品質のよい印刷をするためには、時間がかかりますが、印刷品質を下げると、印刷時間が早くなります。
「きれい（2400dpi 相当）」を選択して印刷したときに「メモリがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリを増やしてください。詳細は、⇒ユーザーズガイド応用編「メモリを増設する」を参照してください。

② 用紙種類

次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙種類を設定してください。

「普通紙」：	普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「普通紙（厚め）」：	厚めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「厚紙」：	厚めの用紙に印刷する場合
「超厚紙」：	「厚紙」「ハガキ」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒」：	封筒に印刷する場合
「封筒（厚め）」：	「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：	「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合
「再生紙」：	再生紙に印刷する場合
「ハガキ」：	はがきに印刷する場合
「ラベル紙」：	ラベル紙に印刷する場合
「光沢紙」	光沢紙に印刷する場合（給紙方法は、多目的トレイ（MPトレイ）を選択して、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください）

③ セキュリティ印刷

Macintoshから本製品に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信してただちに印刷すると、プリンターの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合は、セキュリティ印刷が役に立ちます。セキュリティ印刷をする場合は、［パスワード］と［印刷ジョブ名］を入力する必要があります。

④ パスワード

リストからパスワード（4桁数字）を選択します。

⑤ 印刷ジョブ名

リストから印刷ジョブ名を選択します。

⑥ トナー節約

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約することができます。

補足

写真やモノクロ画像を印刷する場合は、「トナー節約」をおすすめしません。

● 設定２



① カラー／モノクロ

印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。

「カラー /モノクロ自動切換」： ドキュメント内を検索して、カラーデータのあるページはカラー設定に、カラーデータのないページはモノクロ設定に、ページ単位で自動に切り換えて印刷します。ただし、ご使用のデータが見た目はモノクロ文書であっても、ファイルとしてカラー情報を含んでいる場合には、カラーで印刷します。また、グレーの部分の印刷は、カラー設定で印刷することがあります。この設定を選択した場合は、印刷が若干遅くなります。

「カラー」： カラーで印刷する場合に選択します。

「モノクロ」： モノクロ（黒とグレースケールのテキストやオブジェクトのみで作成されたもの）で印刷する場合に選択します。カラーで作成した文書をモノクロで印刷すると、256階調のグレーで印刷されます。

補足

カラートナーが交換時期になっている、またはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態では、カラー印刷を実行できません。このときプリンタードライバーの設定で［モノクロ］を選択し再度印刷し直すと、ブラックのトナーが交換時期に到達するまでモノクロ印刷できます。
また、カラートナーを消費したくない場合（モノクロ印刷の際）にも「モノクロ」を選択することによりブラックトナーだけで印刷することができます。

② カラー設定

カラー印刷の色合いを変化させることができます。

「標準」： 標準的な色合いで印刷します。
「鮮やかな色合い」： 鮮やかな色合いで印刷します。
「なし」： 色合いの変更無しで印刷します。

③ グレーの印刷を改善する

グレーの部分の印刷に他の色要素が加わり、満足な印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。

④ 黒色を強調して印刷する

黒部分に十分な濃度の印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。
黒部分を全トナーを用いて印刷します。

⑤ ハーフトーンスクリーンのロック

他のアプリケーションでハーフトーンの設定を適用しないようにします。初期設定は「オン」です。

⑥ 高精度画像印刷

高精度の画像や写真を印刷するときにチェックボックスをチェックします。高画質にはなりますが、印刷時間が長くなります。

● 設定３



① 印刷結果の改善

「用紙のカールを軽減する」：　印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」を選択することでカールが軽減される場合があります。
選択しても改善されない場合は、⇒ 182 ページ［基本設定］画面の用紙種類をより薄いものに変更してください。

「トナーの定着を改善する」：　印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」を選択することで改善される場合があります。
選択しても改善されない場合は、⇒ 182 ページ［基本設定］画面の用紙種類をより厚いものに変更してください。

● Mac OS X 10.5.x/10.6.x の場合

● General 1



① 印刷品質

印刷品質を次の2種類から選択します。

「標準（600×600dpi）」：	通常の印刷にお勧めします。 比較的速い時間で、品質の良い印刷ができます。
「きれい（2400dpi相当）」：	より品質の良い印刷をしたい場合、このモードを選択します。 このモードは、各ピクセルの階調性が向上するため、写真などの印刷に適しています。 ただし、印刷データが大きくなるため、印刷処理やデータ転送に時間がかかり、「標準（600×600dpi）」よりも印刷にかかる時間が長くなります。

補足

選択する「印刷品質」によって印刷時間が異なります。より品質のよい印刷をするためには、時間がかかりますが、印刷品質を下げると、印刷時間が早くなります。
「きれい（2400dpi 相当）」を選択して印刷したときに「メモリがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリを増やしてください。詳細は、⇒ユーザーズガイド応用編「メモリを増設する」を参照してください。

② 用紙種類

次の種類の用紙に印刷できます。最良の印刷品質を得るために、ご使用の用紙に応じて用紙種類を設定してください。

「普通紙（厚め）」：	厚めの普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「普通紙」：	普通紙やコピー用紙に印刷する場合
「厚紙」：	厚めの用紙に印刷する場合
「超厚紙」：	「厚紙」「ハガキ」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒」：	封筒に印刷する場合
「封筒（厚め）」：	「封筒」を選択して印刷したときにトナーの付きが悪い場合
「封筒（薄め）」：	「封筒」を選択して印刷したときに印刷された封筒がしわになる場合
「再生紙」：	再生紙に印刷する場合
「ラベル紙」：	ラベル紙に印刷する場合
「光沢紙」	光沢紙に印刷する場合（給紙方法は、多目的トレイ（MPトレイ）を選択して、紙づまり防止のために一枚づつ入れてください）
「ハガキ」：	はがきに印刷する場合

③ トナー節約

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約することができます。

補足

写真やモノクロ画像を印刷する場合は、「トナー節約」をおすすめしません。

④ カラー／モノクロ

印刷設定を使って最適なオプション設定を選択します。

「カラー /モノクロ自動切換」：ドキュメント内を検索して、カラーデータのあるページはカラー設定に、カラーデータのないページはモノクロ設定に、ページ単位で自動に切り換えて印刷します。ただし、ご使用のデータが見た目はモノクロ文書であっても、ファイルとしてカラー情報を含んでいる場合には、カラーで印刷します。また、グレーの部分の印刷は、カラー設定で印刷することがあります。この設定を選択した場合は、印刷が若干遅くなります。

「カラー」：カラーで印刷する場合に選択します。

「モノクロ」：モノクロ（黒とグレースケールのテキストやオブジェクトのみで作成されたもの）で印刷する場合に選択します。カラーで作成した文書をモノクロで印刷すると、256階調のグレーで印刷されます。

補足

カラートナーが交換時期になっている、またはカラーのトナーカートリッジが装着されていない状態では、カラー印刷を実行できません。このときプリンタードライバーの設定で［モノクロ］を選択し再度印刷し直すと、ブラックのトナーが交換時期に到達するまでモノクロ印刷できます。
また、カラートナーを消費したくない場合（モノクロ印刷の際）にも「モノクロ」を選択することによりブラックトナーだけで印刷することができます。

⑤ カラー設定

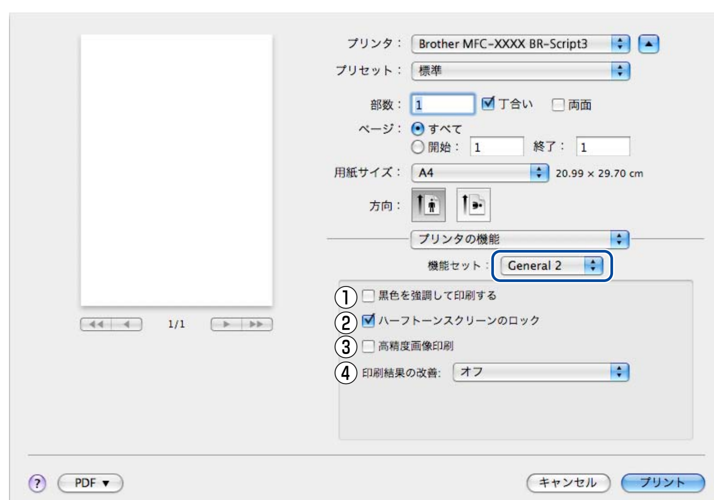
カラー印刷の色合いを変化させることができます。

「標準」：標準的な色合いで印刷します。
「鮮やかな色合い」：鮮やかな色合いで印刷します。
「なし」：色合いの変更無しで印刷します。

⑥ グレーの印刷を改善する

グレーの部分に他の色が混じってグレーに印刷できないときに、このチェックボックスをチェックします。

● General 2



① 黒色を強調して印刷する

黒部分に十分な濃度の印刷結果が得られない場合に、チェックボックスをチェックします。
黒部分を全トナーを用いて印刷します。

② ハーフトーンスクリーンのロック

他のアプリケーションでハーフトーンの設定を適用しないようにします。初期設定は「オン」です。

③ 高精度画像印刷

高精度の画像や写真を印刷するときにチェックボックスをチェックします。高画質にはなりますが、印刷時間が長くなります。

④ 印刷結果の改善

「用紙のカールを軽減する」：印刷された用紙のカールが大きい場合、「用紙のカールを軽減する」を選択することでカールが軽減される場合があります。
選択しても改善されない場合は、⇒ 182 ページ［基本設定］画面の用紙種類をより薄いものに変更してください。

「トナーの定着を改善する」：印刷された用紙からトナーが剥がれてしまう場合、「トナーの定着を改善する」を選択することで改善される場合があります。
選択しても改善されない場合は、⇒ 182 ページ［基本設定］画面の用紙種類をより厚いものに変更してください。

印刷状況を確認する（ステータスモニター）

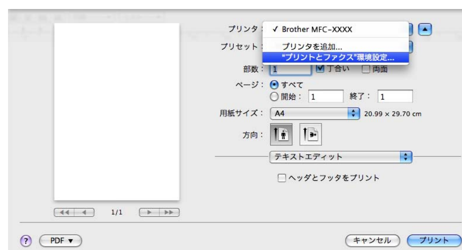
ご使用のMacintoshからステータスモニターで本製品の印刷状況などを確認できます。



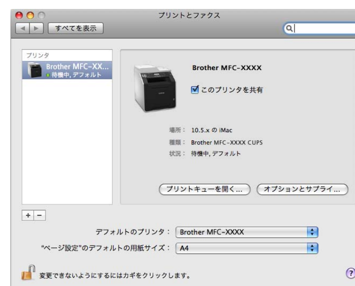
ステータスモニターを起動する

プリントキュー画面からのステータスモニターの起動方法

1 ［プリント］ダイアログボックス内の［プリンタ］から［“プリントとファクス”環境設定］を選択する



2 プリンターリストから使用しているプリンターを選択する



3 ［プリントキューを開く］をクリックする

補足
Mac OS X 10.4.11の場合は、［プリントキュー］をクリックしてください。

4 ［ユーティリティ］をクリックする



補足
Mac OS X 10.6.xの場合は、［プリンタ設定］－［ユーティリティ］－［プリンタユーティリティを開く］の順にクリックしてください。

本製品の状態表示の更新

をクリックすると、ご使用のMacintoshと本製品が通信を開始し、本製品の状態を確認できます。

更新間隔の変更

本製品の状態表示の自動更新間隔を変更することができます。

1 **メニューバーの［ブラザーステータスモニター］から［環境設定］を選択する**

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［入］にチェックが入っていることを確認して、［リフレッシュ間隔］に数値を入力する**



3 **［OK］をクリックする**

ウインドーの格納と表示

- ステータスモニター起動後、ステータスモニターウインドーを格納（非表示に）するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニター］から［ステータスモニターを隠す］を選択します。
- ステータスモニター格納後、再度ステータスモニターウインドーを表示するには、ドックのをクリックします。また、ControlCenter 2のデバイス設定タブからステータスモニターをクリックしてもウインドーが表示されます。



ステータスモニターの終了

ステータスモニターを終了するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニター］から［ステータスモニターを終了］を選択します。

ウェブブラウザーを使用して本製品にアクセスする

- 標準のウェブブラウザーで　HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、本製品を管理することができます。（詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。）
- ステータスモニターウインドーの をクリックするとウェブブラウザーを使用して本製品にアクセスすることもできます。（詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。）

Macintosh編

2章

スキャナーとして使う

スキャナーとして使う前に

必要な準備

本製品をスキャナーとして使用する場合は、以下の準備が必要です。

スキャナードライバーをインストールする

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMに収録されているドライバーをインストールする必要があります。
また、Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。Presto! PageManagerは、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMの「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

補足

- ドライバーやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- スキャン to OCR を利用するには、必ず Presto! PageManager のインストールが必要です。Presto! PageManager は、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMの「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は次のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/
- TWAIN とは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。

ネットワーク接続の場合の準備

● ネットワークを設定する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、本製品にTCP/IPの設定が必要です。「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
「かんたん設置ガイド」に従ってスキャナードライバーをインストールしている場合は設定済みですので、ここでの設定は不要です。

● スキャンするデバイスを選択する

ネットワーク経由で本製品のスキャン機能を使用するには、スキャンするデバイスをあらかじめ選んでおく必要があります。スキャンするデバイスを変更する場合は、以下の手順で操作してください。

1 **［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［デバイスセレクター］をダブルクリックする**

「デバイスセレクター」画面が開きます。
デバイスセレクターは ControlCenter2 からも起動できます。詳しくは、⇒ 262 ページを参照してください。

2 **［接続方式］で［ネットワーク］を選択する**



3 **IP アドレスまたは mDNS サービス名で本製品を指定する**

IP アドレスを変更するには、新しい IP アドレスを入力してください。
製品名の一覧から本製品を選択することもできます。
［検索］をクリックして一覧を表示してください。



4 **項目を設定する**

5 **［OK］をクリックする**

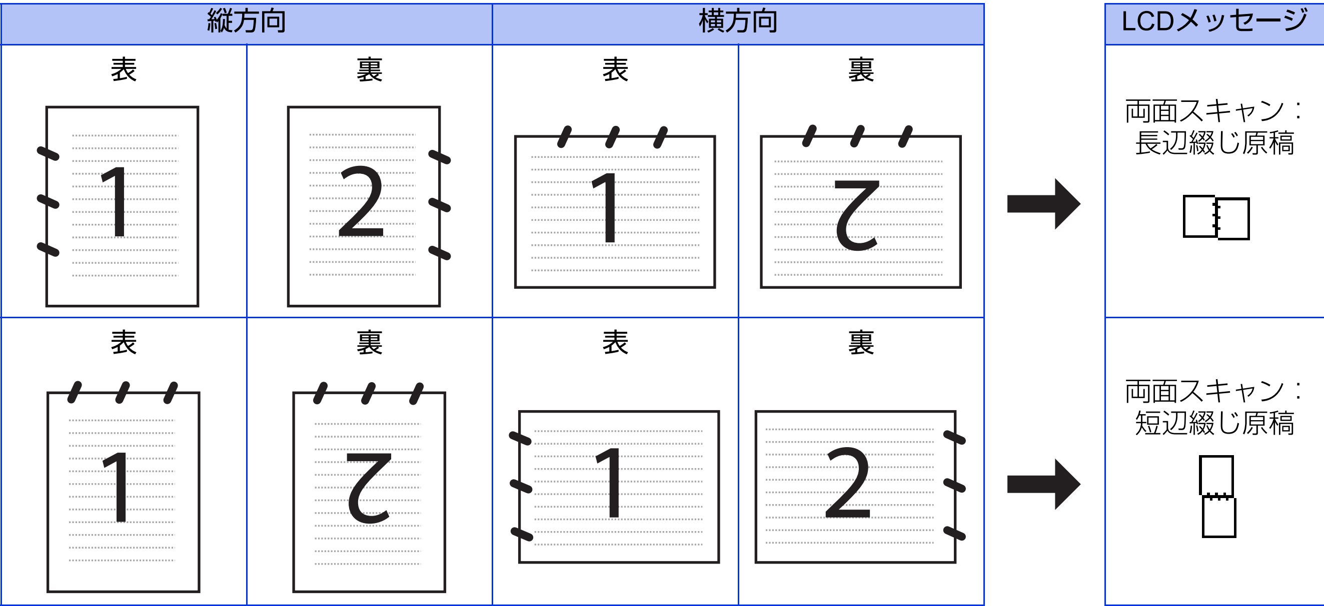
補足

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンしたい場合は、「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、表示名にお使いのMacintoshの名前を入力します。
- スキャンした原稿データをMacintoshに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。「パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする」をオンにして、4桁の数字をパスワードとして登録します。



自動両面スキャンについて（MFC-9970CDWのみ）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、「両面スキャン：長辺綴じ原稿」または「両面スキャン：短辺綴じ原稿」を選択することで自動両面スキャンをすることができます。



スキャン方法を選ぶ

スキャンの目的や操作方法などによって、最適なスキャン方法を選んでください。

やりたいこと	使用する機能またはアプリケーション	詳細	参照先
スキャンデータを送りたい	スキャン to Eメール送信（MFC-9970CDWのみ）	スキャンしたデータを添付メールとして直接本製品から送信します。（本製品から直接送るので、メールのタイトルや本文の編集はできませんが、コンピューター上の操作は必要ありません。）	⇒203ページ
	スキャン to Eメール添付	スキャンしたデータをコンピューターに送信し、Eメールの添付としてメールソフトが起動します。（複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。）	⇒205ページ
スキャンデータを編集したい	スキャン to イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	⇒207ページ
	TWAIN/WIAドライバー対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	⇒221ページ
	スキャン to OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Wordなどで編集できます。	⇒209ページ
スキャンデータを保存したい	スキャン to ファイル	スキャンしたデータをコンピューター上のハードディスクに保存します。	⇒211ページ
	スキャン to FTP	スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	⇒213ページ
	スキャン to ネットワークファイル	スキャンしたデータを指定したネットワーク上の共有フォルダーに保存します。	⇒219ページ
	スキャン to USB	スキャンしたデータを本製品に差し込んだUSBメモリに保存します。	⇒215ページ

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿データを、Macintoshに送ってさまざまな形で利用します。
<スキャン>ボタンを使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2から変更できます。詳しくは、⇒264ページを参照してください。

注意

液晶ディスプレイに［次の原稿をセットしてください　OKボタンを押してください］と表示された後、<停止/終了>を押したり、しばらく操作をしない場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

スキャンした原稿をEメールで直接送る【スキャン to Eメール送信】（MFC-9970CDWのみ）

準備～本製品とメールサーバーの設定

スキャンした原稿をメールで直接送るには、本製品（送信側）のメール設定が必要です。メール設定とは、ISP（Internet Service Provider）などで登録されているメールアカウント、パスワード、メールサーバー名（受信・送信）などの設定のことです。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

スキャンした原稿をEメールで送る

本製品でスキャンした原稿を、直接宛名を指定して送信します。スキャンした原稿はＥメールの添付ファイルとして送信されます。

補足

- Eメールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することができます。
- 画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
- 使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Ｅメールアドレスが登録されているものに限ります。ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの詳細については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 ＜スキャン＞を押す

3 【スキャン to Ｅメール】を押す

4 宛先の入力方法を選ぶ

- Eメールアドレスを直接入力するときは、【直接入力】を選択して、手順5へ進んでください。
- 本製品内にEメールアドレスを登録しているときは、【電話帳】を選択して、手順6へ進んでください。
- を選択すると、【LDAPサーバー電話帳】と【本体電話帳】からEメールアドレスを検索できます。
  LDAPサーバーから検索したいときは、【LDAPサーバー電話帳】を選択して、手順7へ進んでください。
  本製品内の電話帳から検索したいときは、【本体電話帳】を選択して、手順8へ進んでください。
  LDAPの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

5 Eメールアドレスを入力し、【OK】を押す

必要に応じて A1@ を押し、英数字や特殊記号を入力してください。
【OK】を押して、手順10に進んでください。入力方法については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

6 【▲】または【▼】で送信先のEメールアドレスを選択し、【OK】を押す

【OK】を押して、手順10に進んでください。電話帳については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

補足

*001 あ を選択すると、アルファベット順または数字順に検索できます。

7 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

LDAPの検索結果が、電話帳検索結果の前に と共にタッチパネルに表示されます。送信したいEメールアドレスを選択し、【OK】を押して、手順10に進んでください。

8 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

本製品内の電話帳検索結果がタッチパネルに表示されます。

9 【▲】または【▼】で宛先名を選択し、【▲】または【▼】でEメールアドレスを選択する

【OK】を押して、手順10に進んでください。

10 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】、【送信先件数】の内容をそれぞれ設定できます。

補足

- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティPDF」に設定した場合は、<スタート>を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

11 <スタート>を押す

原稿がスキャンされます。
スキャンが終了すると、本製品から設定したEメールアドレスへメールが送信されます。
原稿台ガラスをご使用の場合は、液晶ディスプレイに「次の原稿はありますか？」と表示されます。【はい】または【いいえ】を選択してください。

スキャンした原稿をEメールで送る【スキャン to Eメール添付】

スキャンした原稿をEメールの添付データとして取り込むことができます。スキャンした原稿データがMacintoshに届くと、メールソフトが起動しメール作成画面が表示されます。

MFC-9460CDNの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **<スキャン>を押す**

3 **<▲>または<▼>を押して「スキャン to PC」を選択し<OK>を押す**

4 **<▲>または<▼>を押して「Eメール：Eメール添付」を選択し<OK>を押す**

```
ｽｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ:PC画像表示
 OCR:ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ:Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 **（ネットワーク接続の場合）**
<▲>または<▼>を押してスキャンした原稿を送信するMacintoshを選択する

ここでは、本製品に接続されているMacintoshが表示されます。
送信先のMacintoshにパスワードが設定されている場合は、Macintoshを選択した後にパスワードを入力して<OK>を押してください。

6 **<OK>を押す**

7 **<スタート>を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

スキャンした原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

MFC-9970CDWの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 **＜スキャン＞を押す**

3 **【スキャン to PC】を押す**

4 **【E メール：E メール添付】を押す**

5 **（ネットワーク接続の場合）**
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 **【OK】を押す**

7 **（両面読み取りの場合）**
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する

【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 **＜スタート＞を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

スキャンした原稿がEメールの添付ファイルとして送信されます。ControlCenter2で設定されているメールソフトが起動します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る【スキャン to イメージ】

スキャンした原稿をMacintoshのアプリケーションに直接送ることができます。スキャンした原稿のデータがMacintoshに届くと、お使いのグラフィックソフトやワープロソフトが自動的に起動して、Macintoshの画面に表示されます。

MFC-9460CDNの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ＜スキャン＞を押す

3 ＜▲＞または＜▼＞を押して「スキャン to PC」を選択し <OK> を押す

4 ＜▲＞または＜▼＞を押して「イメージ：PC画像表示」を選択し <OK> を押す

スキャン to PC
▲イメージ゛:PC画像表示
OCR:テキストデ゛ータ変換
▼Eメール:Eメール添付
▲▼で選択&OKボ゛タン

5 （ネットワーク接続の場合）
＜▲＞または＜▼＞を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力して <OK> を押してください。

6 <OK> を押す

7 ＜スタート＞を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter2で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくは、⇒265ページを参照してください。

MFC-9970CDWの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

補足

自動両面スキャンをするときはADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 **＜スキャン＞を押す**

3 **【スキャン to PC】を押す**

4 **【イメージ：PC画像表示】を押す**

5 **（ネットワーク接続の場合）**
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信するMacintoshを選択する

ここでは、本製品に接続されているMacintoshが表示されます。
送信先のMacintoshにパスワードが設定されている場合は、Macintoshを選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 **【OK】を押す**

7 **（両面読み取りの場合）**
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する

【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 **＜スタート＞を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

ControlCenter2で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。詳しくは、⇒265ページを参照してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする【スキャン to OCR】

原稿が文字テキストであれば、Presto! PageManager を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

MFC-9460CDNの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ＜スキャン＞を押す

3 ＜▲＞または＜▼＞を押して「スキャン to PC」を選択し <OK> を押す

4 ＜▲＞または＜▼＞を押して「OCR：テキストデータ変換」を選択し <OK> を押す

スｷｬﾝ to PC
▲ｲﾒｰｼﾞ:PC画像表示
OCR:ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
▼Eﾒｰﾙ:Eﾒｰﾙ添付
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

5 （ネットワーク接続の場合）
＜▲＞または＜▼＞を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力して <OK> を押してください。

6 <OK> を押す

7 ＜スタート＞を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

MFC-9970CDWの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 **＜スキャン＞を押す**

3 **【スキャン to PC】を押す**

4 **【OCR：テキストデータ】を押す**

5 **（ネットワーク接続の場合）**
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する

ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 **【OK】を押す**

7 **（両面読み取りの場合）**
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する

【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 **＜スタート＞を押す**

原稿のスキャンが開始されます。

補足

Presto! PageManagerが起動し、画像データにOCR（光学的手法による文字認識）の処理が行われます。
認識処理後、テキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンした原稿を指定したフォルダーに保存する【スキャン to ファイル】

スキャンした原稿を、Macintoshの指定したフォルダーに保存します。保存の際のファイル形式および保存先フォルダーの設定は、ControlCenter2で行います。詳しくは、⇒266ページを参照してください。

MFC-9460CDNの場合

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 <スキャン>を押す

3 <▲>または<▼>を押して「スキャン to PC」を選択し<OK>を押す

4 <▲>または<▼>を押して「ファイル：フォルダー保存」を選択し<OK>を押す

```
ｽｷｬﾝ to PC
▲OCR:ﾃｷｽﾄﾃﾞｰﾀ変換
 Eﾒｰﾙ:Eﾒｰﾙ添付
▼ﾌｧｲﾙ:ﾌｫﾙﾀﾞｰ保存
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 （ネットワーク接続の場合）
<▲>または<▼>を押してスキャンした原稿を送信するMacintoshを選択する

ここでは、本製品に接続されているMacintoshが表示されます。
送信先のMacintoshにパスワードが設定されている場合は、Macintoshを選択した後にパスワードを入力して<OK>を押してください。

6 <OK>を押す

7 <スタート>を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

保存されるファイル形式や保存先フォルダー、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。

- 保存先フォルダー
  ユーザ¥xxx¥ピクチャ
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦※
  mm：月※
  dd：日※
  xxxxx：通し番号
  ※ 本製品に接続されているMacintoshの日付が反映されます。

MFC-9970CDWの場合

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

補足
自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 **＜スキャン＞を押す**

3 **【スキャン to PC】を押す**

4 **【ファイル：フォルダー保存】を押す**

5 **（ネットワーク接続の場合）**
【▲】または【▼】を押してスキャンした原稿を送信する Macintosh を選択する
ここでは、本製品に接続されている Macintosh が表示されます。
送信先の Macintosh にパスワードが設定されている場合は、Macintosh を選択した後にパスワードを入力して【OK】を押してください。

6 **【OK】を押す**

7 **（両面読み取りの場合）**
【両面スキャン】を押し、両面読み取りの種類を選択する
【オフ】、【両面スキャン：長辺綴じ原稿】、【両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選択します。

8 **＜スタート＞を押す**
原稿のスキャンが開始されます。

補足
保存されるファイル形式や保存先フォルダー、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
- 保存先フォルダー
  ユーザ¥xxx¥ピクチャ
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  yyyy：西暦※
  mm：月※
  dd：日※
  xxxxx：通し番号
  ※ 本製品に接続されているMacintoshの日付が反映されます。

スキャンした原稿をFTPサーバーに保存する【スキャン to FTP】

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿データを、FTPサーバーに保存します。
ドライバーのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたFTPサーバー上に保存する機能です。
スキャン to FTP を使用するには、ウェブブラウザーであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法は、⇒240ページを参照してください。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-9460CDNの場合）

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

2 **<スキャン>を押す**

3 **<▲>または<▼>を押して「スキャン to FTP」を選択し<OK>を押す**

▲ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
ｽｷｬﾝ to PC
▼ｽｷｬﾝ to FTP
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ

4 **<▲>または<▼>を押して送信したいFTPサーバーのプロファイル名を選択する**

送信先のFTPサーバープロファイルを登録する方法は、⇒240ページを参照してください。

5 **<OK>を押す**

- 保存するファイル形式を「セキュリティPDF」に設定した場合は、4桁のパスワードを入力する必要があります。
- 「電子署名付 PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

6 **<スタート>を押す**

7 **ディスプレイに「接続中」と表示される**

FTPサーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPサーバーは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、認証エラーとなります。また、保存先フォルダーが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿を登録したFTPサーバーに送る（MFC-9970CDWの場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 ＜スキャン＞を押す

3 【スキャン to FTP】を押す

4 【▲】または【▼】を押して送信したい FTP サーバーのプロファイル名を選択する

送信先の FTP サーバープロファイルを登録する方法は、⇒240 ページを参照してください。

5 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】、【ファイル名】の内容をそれぞれ設定できます。

補足

- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF 」に設定した場合は、＜スタート＞を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- 【ファイル名】は、64文字以内で入力します。
  - あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
    例）2011年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）
  - 間違って入力した場合は、を押して消去します。
  - 操作パネルのダイヤルボタンは数字以外は入力できません。

6 ＜スタート＞を押す

7 ディスプレイに「接続中」と表示される

FTP サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

FTPサーバーは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

スキャンした原稿をUSBメモリに保存する【スキャン to USB】

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿を、本製品のUSBコネクタに接続したUSBメモリに保存します。
ドライバーのインストールは不要です。

注意

液晶ディスプレイに「原稿読み取り中。デバイスを抜かないでください。」と、表示されているときは、本製品から電源プラグを抜いたり、USBメモリの抜き差しをしないでください。データやUSBメモリを壊す恐れがあります。

補足

電子署名付PDFを選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
インストールをすると、以下の手順で証明書の設定ができます。

1. ウェブブラウザーのアドレス入力欄にhttp://XXXXX/を入力する
   XXXXXはご使用になるプリンターのIPアドレスです。
   例）本製品のIPアドレスが192.168.1.2の場合
   ブラウザーにhttp://192.168.1.2/を入力します。
2. ［管理者設定］をクリックする
3. ［ユーザー名］と［パスワード］を入力する
   お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。
4. ［電子署名付PDFファイル設定］を選択する

MFC-9460CDNの場合

1 **USB メモリを本製品の USB コネクタに接続する**

2 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

3 **＜スキャン＞を押す**

4 **＜▲＞または＜▼＞を押して［スキャン to USB］を選択し <OK> を押す**

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順 5 に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順12に進んでください。

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to PC
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

5 **＜▲＞または＜▼＞を押して「設定変更」を選択する**

6 **<OK> を押す**

7 < ▲ > または < ▼ > を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する

下記の中から選択してください。
- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

8 <OK> を押す

9 < ▲ > または < ▼ > を押して画像の形式を選択する

- カラー／グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択します。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択します。

10 <OK> を押す

保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、4 桁のパスワードを入力する必要があります。

11 保存するファイル名を入力する

- ファイル名は64文字まで入力することができます。
- 文字を削除するときは、<クリア>を押します。

12 <OK> を押す

13 < スタート > を押す

原稿のスキャンが開始されます。

補足

- ファイルは USB メモリのルートディレクトリに BROTHER フォルダーが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダーがある場合は、その中に保存されます）
- 保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、⇒234ページを参照してください。
  - ファイル形式
    カラー　100　dpi／PDF
  - ファイル名
    yymmddxx
    yy：西暦の下2桁※
    mm：月※
    dd：日※
    xx：通し番号
    ※ 本製品の日付が反映されます。

MFC-9970CDWの場合

1 USB メモリを本製品の USB コネクタに接続する

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足

自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

3 ＜スキャン＞を押す

4 【スキャン to USB】を押す

- 画質やファイル形式、ファイル名などを設定するときは、手順5に進んでください。
- このままスキャンするときは、手順6に進んでください。

5 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【ファイル名】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】の内容をそれぞれ設定できます。

補足

- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、＜スタート＞を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- 【ファイル名】は、64文字以内で入力します。
  - あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
    例）2011年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）
  - 間違って入力した場合は、⌫を押して消去します。
  - 操作パネルのダイヤルボタンは数字以外は入力できません。

6 ＜スタート＞を押す

原稿がスキャンされます。
原稿台ガラスをお使いの場合は、液晶ディスプレイに「メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？」と表示されます。スキャンを終了後、本製品から USB メモリを取り外す前に必ず【いいえ】を選択してください。

補足

- ●ファイルは USB メモリのルートディレクトリに BROTHER フォルダーが作成され、その中に保存されます。（すでにBROTHERフォルダーがある場合は、その中に保存されます）
- ●保存されるファイル形式とファイル名の初期設定は以下のとおりです。変更方法は、⇒236ページを参照してください。
  - ファイル形式
    カラー　100　dpi／PDF
  - ファイル名
    yymmddxx
    yy：西暦の下2桁※
    mm：月※
    dd：日※
    xx：通し番号
    ※ 本製品の日付が反映されます。

スキャンした原稿を共有フォルダーに保存する【スキャン to ネットワークファイル】

操作パネルの<スキャン>を押してスキャンした原稿データを、ネットワーク上の共有フォルダーに保存します。
ドライバーのインストールは不要です。
この機能は、スキャンした原稿を直接インターネットやローカルネットワークに設置されたCIFSサーバー上に保存する機能です。
スキャン to ネットワークファイルを使用するには、ウェブブラウザーであらかじめプロファイルを登録する必要があります。プロファイルを登録する方法は、⇒240ページを参照してください。

スキャンした原稿を登録した共有フォルダーに送る（MFC-9460CDNの場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 ＜スキャン＞を押す

3 ＜▲＞または＜▼＞を押して「スキャン to ネットワークファイル」を選択し＜OK＞を押す

```
▲ｽｷｬﾝ to USB
 ｽｷｬﾝ to ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｲﾙ
 ｽｷｬﾝ to Eﾒｰﾙ
▼ｽｷｬﾝ to PC
▲▼で選択&OKﾎﾞﾀﾝ
```

4 ＜▲＞または＜▼＞を押して送信したいプロファイルを選択する

送信先のCIFSサーバーをプロファイルに登録する方法は、⇒240ページを参照してください。

5 <OK>を押す

- 保存するファイル形式を「セキュリティPDF」に設定した場合は、4桁のパスワードを入力する必要があります。
- 「電子署名付 PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

6 ＜スタート＞を押す

7 ディスプレイに「接続中」と表示される

CIFSサーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足

プロファイルは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。
ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、送信エラーとなります。

スキャンした原稿を登録した共有フォルダーに送る（MFC-9970CDWの場合）

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

補足
自動両面スキャンをするときは ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。原稿台ガラスから、自動両面スキャンをすることはできません。

2 <スキャン>を押す

3 【スキャン to ネットワークファイル】を押す

4 【▲】または【▼】を押して送信したいプロファイル名を選択する

送信先の CIFS サーバーをプロファイルに登録する方法は、⇒240 ページを参照してください。

5 必要に応じて【◀】または【▶】を押して設定を変更する

【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【両面スキャン】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】、【ファイル名】の内容をそれぞれ設定できます。

補足
- 【原稿台スキャンサイズ】は、ADF（自動原稿送り装置）をご使用の場合は選択できません。
- 【ファイルタイプ】で、保存するファイル形式を「セキュリティ PDF」に設定した場合は、<スタート>を押した後に4桁のパスワードを入力する必要があります。
  また、「電子署名付PDF」を選択するときは、標準のウェブブラウザーを使用して、事前に証明書を本製品にインストールしておく必要があります。証明書のインストールについては、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。
- 【ファイル名】は、64文字以内で入力します。
  - あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
    例）2011年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）
  - 間違って入力した場合は、⌫を押して消去します。
  - 操作パネルのダイヤルボタンは数字以外は入力できません。

6 <スタート>を押す

7 ディスプレイに「接続中」と表示される

CIFS サーバーへの接続の完了後、原稿のスキャンが開始されます。

補足
プロファイルは登録されているが、その登録内容の中で［本体で設定］になっている項目がある場合は、操作パネルで設定する必要があります。必要に応じて、液晶ディスプレイの表示に従って設定してください。ただし、パスワードが未登録の場合は、パスワードなしのユーザーとしてそのまま送信されます。また、転送先フォルダーが未登録の場合は、ログインユーザーのホームディレクトリに送信されます。

アプリケーションからスキャンする

Macintosh側で、TWAIN対応のアプリケーションを操作してスキャンします。

TWAINドライバーを使ってスキャンする

Macintosh からスキャンする場合は、TWAIN ドライバーを使用し、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto! PageManager、Adobe® Photoshop®など）から実行します。本製品がDevice Selectorで選択されていることを確認してください。
TWAINとは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアがTWAINに対応しています。
また、MFC-9970CDWではADF（自動原稿送り装置）を使用して、原稿の両面をスキャンすることができます。

1 **Macintosh を起動してアプリケーションソフトを起動する**

2 **ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスに原稿をセットする**

- ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。
- MFC-9970CDWの場合
  両面スキャンを使用する場合は、ADFに原稿をセットしてください。両面スキャンで読み取りできる原稿は最大A4サイズまでです。

3 **Brother TWAIN のスキャナーウインドーを表示させる**

お使いのアプリケーションソフトウェアによってメニューの名称などは異なります。

- Presto! PageManagerの場合
  ［ファイル］メニューから［イメージデータを取り込む］の順に選択します。
- MFC-9970CDWの場合
  原稿の両面をスキャンする場合は、［両面読取り］にチェックを入れてください。



4 **［プレビュー開始］をクリックする**

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。



注意

■ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合：

- プレビューのため原稿が一度排出されます。複数枚の原稿をセットしている場合は、すべての原稿が読み込まれて排出されますが、プレビュー画面には一番最後に読み取った画像のみが表示されます。
- スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スキャン開始］をクリックします。

■MFC-9970CDWの場合：
両面スキャンをお使いの場合は、プレビュー機能は使用できません。

5 点線をドラッグして、実際にスキャンする範囲を調節する

6 必要に応じてスキャナーウインドー内の項目を設定する

設定項目の詳細については、⇒223 ページを参照してください。

7 ［スキャン開始］をクリックする

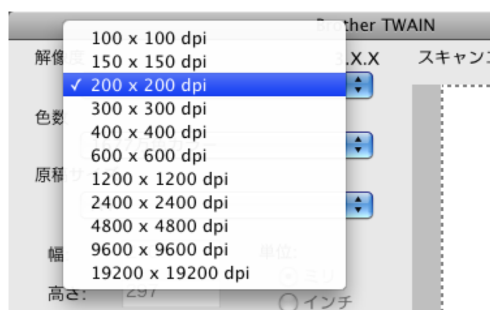
スキャンが終了するとアプリケーション上にイメージが表示されます。

TWAINダイアログボックスの設定項目

TWAINダイアログボックスでは、以下の項目が設定できます。

● 解像度

スキャンの解像度は、解像度ポップアップメニューから選択します。より高い解像度を選択すると時間はかかりますが、精密なイメージを取り込むことができます。



● 色数

取り込む色数を設定します。



白黒

文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。

グレー

写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。

256 階調グレー

写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。

256 色カラー※

カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。

※ PageManager9では表示されません。

1677 万色カラー

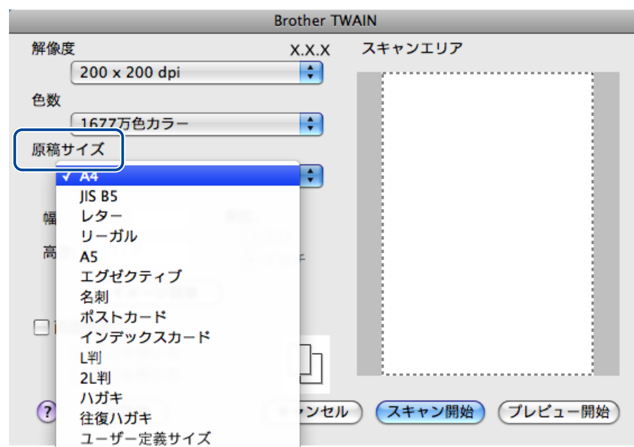
カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

補足

- 1677 万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256 色カラーを使用した場合の約3倍になります。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に600dpi程度で十分ですが、上限は2400dpiにすることをお勧めします。
- 4800dpiよりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

● 原稿サイズ

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。また、任意の寸法を入力したり任意の範囲を指定することもできます。



● イメージ調整

［イメージ調整］をクリックして、「明るさ」「コントラスト」「ColorSync」「ノイズ軽減」を調整します。

濃い原稿のときは明るめに、薄い原稿のときはコントラストを強くします。

「ColorSync」は、ColorSyncを使って色補正を行う場合の基準を設定します。

- マッチングスタイル
  知覚的（画像）…写真のようなイメージのとき選びます。
  彩度（グラフィックス）…はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
  相対的な色域を維持…色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
  絶対的な色域を維持…シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。
- スキャナ用プロファイル
  Brother sRGB Scannerを選びます。
- ノイズ軽減（1677万色カラーで解像度300×300dpi、400×400dpi、600×600dpiのときのみ）
  スキャンしたイメージのノイズを軽減します。スキャンしたイメージにノイズがある場合や、印字の際、縞状のパターンが発生する場合に使用してください。



● 両面読取り（MFC-9970CDW のみ）

両面スキャンを使用する場合にチェックします。

［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］から選択します。

ICAドライバーを使ってスキャンする（Mac OS X 10.6.x）

Mac OS X 10.6.xをお使いの場合、標準装備されているイメージキャプチャまたは「プリントとファクス」を利用して原稿をスキャンできます。

イメージキャプチャでスキャンする

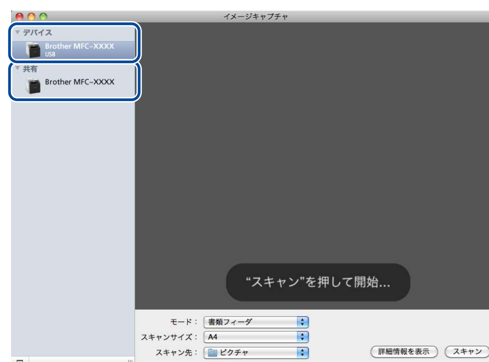
イメージキャプチャを使用するためには、最新のICAスキャナードライバーのインストールが必要です。ICAスキャナードライバーは、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMには同梱されていません。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から最新のICAスキャナードライバーを含むプリンタードライバーをダウンロードして、インストールしてください。自動的にICAスキャナードライバーもインストールされます。
イメージキャプチャを使用して原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 イメージキャプチャを起動する



2 画面左側の一覧から、本製品を選択する

本製品とMacintoshをUSBケーブルで接続している場合は「デバイス」、ネットワーク接続の場合は「共有」の欄に表示されます。



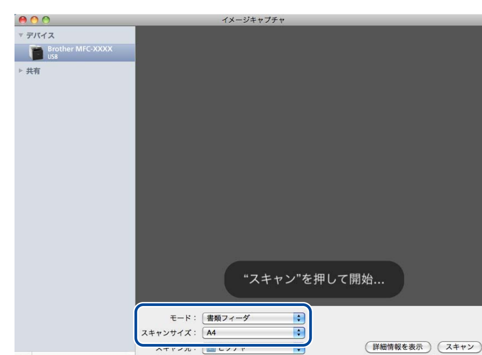
補足

接続されている本製品が1台の場合、この操作は必要ありません。

3 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

4 「モード」と「スキャンサイズ」を選択する

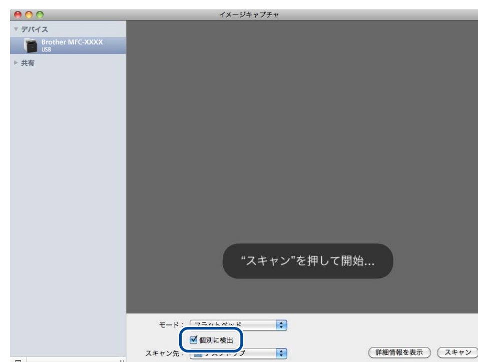
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、「モード」で「書類フィーダ」を選び、「スキャンサイズ」でスキャンする原稿のサイズを選びます。⇒手順6へ
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、「モード」で「フラットベッド」を選びます。⇒手順5へ



Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

5 「個別に検出」をするかしないかを選択する

「個別に検出」のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして1つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を1度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。

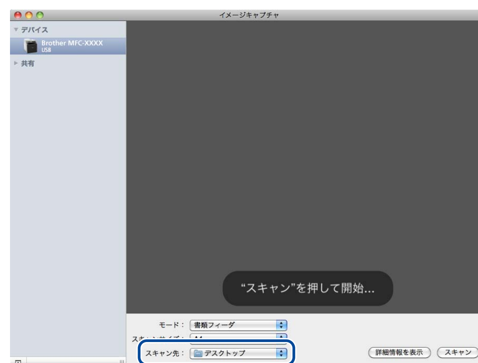


補足

チェックを入れていても、複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

6 「スキャン先」でスキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選択する

そのままスキャンする場合⇒手順8へ



7 ［詳細情報を表示］をクリックしてスキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

⇒229ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」

注意

詳細設定を行う場合は、手順6で設定した「スキャン先」の内容が保持されないことがあります。もう一度、⇒229ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」の⑦「スキャン先」を設定しなおしてください。

8 ［スキャン］をクリックする

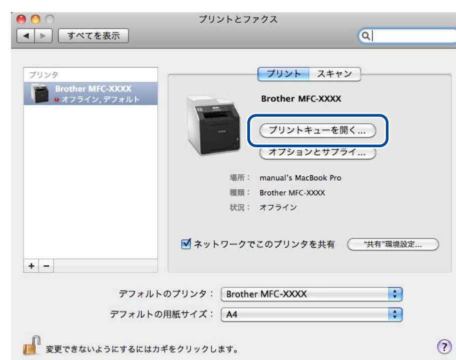
「プリントとファクス」でスキャンする

お使いの Macintosh の「プリントとファクス」に本製品が登録されていると、そこから直接スキャンできます。「プリントとファクス」を使用して原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。

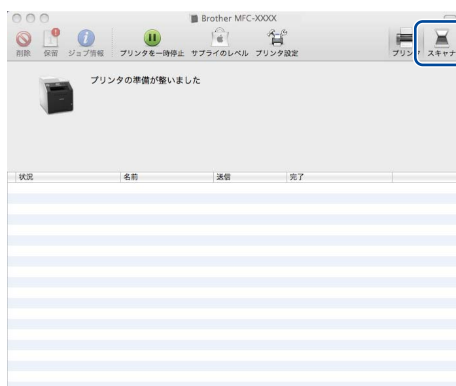
1 アップルメニューから「システム環境設定」を選択する

2 「プリントとファクス」をクリックする

3 画面左側の一覧から本製品を選び、[プリントキューを開く] をクリックする



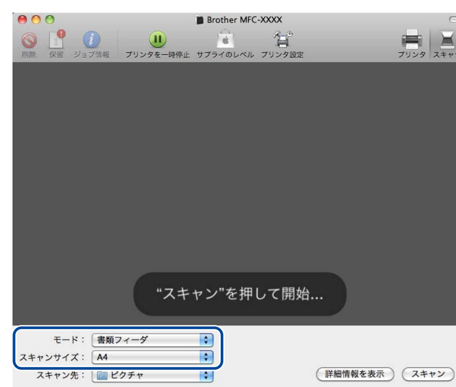
4 「スキャナ」をクリックする



5 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

6 「モード」と「スキャンサイズ」を選択する

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、「モード」で「書類フィーダ」を選び、「スキャンサイズ」でスキャンする原稿のサイズを選びます。⇒手順8へ
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、「モード」で「フラットベッド」を選びます。⇒手順7へ



7 「個別に検出」をするかしないかを選択する

「個別に検出」のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。

補足

チェックを入れていても、複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

8 「スキャン先」でスキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選択する

注意

⇒225ページ「イメージキャプチャでスキャンする」の手順6で「スキャン先」を設定していても、内容が保持されないことがあります。もう一度、「スキャン先」を設定しなおしてください。

9 ［詳細情報を表示］をクリックしてスキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

⇒229 ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」

10 ［スキャン］をクリックする

イメージキャプチャダイアログボックスの設定について

［詳細情報を表示］をクリックして表示されるイメージキャプチャダイアログボックスでは、次の項目を設定できます。お使いのモデルによっては、表示される項目が異なる場合があります。

「書類フィーダ」の場合



「フラットヘッド」の場合



① スキャンモード

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は「書類フィーダ」、原稿台ガラスからスキャンする場合は「フラットベッド」を選びます。

② 種類

「カラー」、「白黒」または「テキスト」を選びます。

③ 解像度

スキャンする解像度を選びます。

④ スキャンサイズ／サイズ

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿のサイズを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り範囲を設定します。

⑤ 方向／回転角度

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿の向きを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り角度を設定します。

⑥ スキャン先

スキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選びます。



⇒225ページ「イメージキャプチャでスキャンする」の手順6で「スキャン先」を設定していても、内容が保持されないことがあります。もう一度、「スキャン先」を設定しなおしてください。

⑦ 名前

スキャンした原稿ファイル名につける文字を入力します。

⑧ フォーマット

スキャンするデータ形式を選びます。

⑨ イメージ補正

「マニュアル」を選ぶと、明度、色合い、色温度、彩度を調整できます。

Macintosh編

3章

ソフトウェアを使うための設定

操作パネルからのスキャン設定（MFC-9460CDNの場合）

解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。また、スキャン to FTP、スキャン to USB、スキャン to ネットワークファイルでは、解像度とファイル形式の初期設定を変更できます。

ファイルサイズを変更する

1 **<メニュー>→<1>→<8>→<2> を押す**

<▲>または<▼>で選択して <OK> で決定することも可能です。

2 **<▲>または<▼>でカラーまたはグレーを選択する**

3 **<OK> を押す**

4 **<▲>または<▼>でファイルサイズを選択する**

［小］、［中］、［大］から選択できます。

補足

お買い上げ時は［中］に設定されています。

5 **<OK> を押す**

6 **<停止 / 終了> を押す**

スキャン to FTPの初期設定を変更する

1 **＜メニュー＞→<7>→<5>を押す**

＜▲＞または＜▼＞で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 **＜▲＞または＜▼＞を押して解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

3 **<OK>を押す**

4 **＜▲＞または＜▼＞を押して画像の形式を選択する**

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティPDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択できます。

5 **<OK>を押す**

6 **＜停止 / 終了＞を押す**

スキャン to USBの初期設定を変更する

解像度と画像の形式を変更する

1 **＜メニュー＞→<5>→<2>→<1>を押す**

＜▲＞または＜▼＞で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 **＜▲＞または＜▼＞を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

3 **<OK>を押す**

4 **＜▲＞または＜▼＞を押して画像の形式を選択する**

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティPDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択できます。

5 **<OK>を押す**

6 **＜停止 / 終了＞を押す**

ファイル名を変更する

1 **＜メニュー＞→<5>→<2>→<2>を押す**

＜▲＞または＜▼＞で選択して<OK>で決定することも可能です。

2 **新しいファイル名を入力する**

ファイル名は64文字まで入力できます。

3 **<OK>を押す**

4 **＜停止 / 終了＞を押す**

スキャン to ネットワークファイルの初期設定を変更する

1 **< メニュー > → <7> → <6> を押す**

< ▲ > または < ▼ > で選択して <OK> で決定することも可能です。

2 **< ▲ > または < ▼ > を押してカラー / グレー / モノクロと解像度を選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー　100 dpi
- カラー　200 dpi
- カラー　300 dpi
- カラー　600 dpi
- グレー　100 dpi
- グレー　200 dpi
- グレー　300 dpi
- モノクロ　200 dpi
- モノクロ　200×100 dpi

3 **<OK> を押す**

4 **< ▲ > または < ▼ > を押して画像の形式を選択する**

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付PDF］、［TIFF］を選択できます。

5 **<OK> を押す**

6 **< 停止 / 終了 > を押す**

操作パネルからのスキャン設定（MFC-9970CDWの場合）

スキャン to USBの初期設定を変更する

1 ＜スキャン＞を押す

2 【スキャン to USB】を押す

3 必要に応じて【◀】または【▶】で初期値にしたい設定を変更する

初期値の設定は【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】の内容をそれぞれ設定できます。

4 最後の設定を変更後、【◀】または【▶】で【設定を保持する】を選択する

5 【はい】を押す

変更した設定が初期値として登録されます。

6 ＜停止／終了＞を押す

設定をリセットする

1 ＜スキャン＞を押す

2 【スキャン to USB】を押す

3 【◀】または【▶】で【設定をリセットする】を選択する

4 【はい】を押す

5 ＜停止／終了＞を押す

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

スキャン to Eメール送信の初期設定を変更する

補足

Eメールの宛先は、あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで指定することができます。
画質やファイル形式は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている設定が使われます。
使用できるワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルは、Eメールアドレスが登録されているものに限ります。
ワンタッチダイヤルの詳細については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

1 **<スキャン>を押す**

2 **【スキャン to E メール送信】を押す**

3 **送信先を選択する**

【直接入力】、【電話帳】、 から選択できます。以下のいずれかから選択してください。

- Eメールアドレスを直接入力するときは、【直接入力】を選択して、手順4へ進んでください。
- 本製品内にEメールアドレスを登録しているときは、【電話帳】を選択して、手順5へ進んでください。
- を選択すると、【LDAPサーバー電話帳】と【本体電話帳】からEメールアドレスを検索できます。
  LDAPサーバーから検索したいときは、【LDAPサーバー電話帳】を選択して、手順6へ進んでください。
  本製品内の電話帳から検索したいときは、【本体電話帳】を選択して、手順7へ進んでください。
  LDAPの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

4 **E メールアドレスを入力し、【OK】を押す**

必要に応じて A 1 @ を押し、英数字や特殊記号を入力してください。
【OK】を押して、手順 9 に進んでください。テキストの入力方法については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

5 **【▲】または【▼】で送信先の E メールアドレスを選択し、【OK】を押す**

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。電話帳については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

補足

*001 あ を選択すると、アルファベット順または数字順に検索できます。

6 **液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す**

LDAP の検索結果が、電話帳検索結果の前に と共にタッチパネルに表示されます。送信したい E メールアドレスを選択し、【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

7 **液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す**

本製品内の電話帳検索結果がタッチパネルに表示されます。

8 **【▲】または【▼】で宛先名を選択し、【▲】または【▼】で E メールアドレスを選択する**

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

9 **必要に応じて【◀】または【▶】で初期値にしたい設定を変更する**

初期値の設定は【スキャン画質】、【ファイルタイプ】、【原稿台スキャンサイズ】、【ファイルサイズ】の内容をそれぞれ設定できます。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

10 最後の設定を変更後、【◀】または【▶】で【設定を保持する】を選択する

11 【はい】を押す

変更した設定が初期値として登録されます。

12 ＜停止 / 終了＞を押す

設定をリセットする

1 ＜スキャン＞を押す

2 【スキャン to E メール送信】を押す

3 送信先を選択する

【直接入力】、【電話帳】、 から選択できます。以下のいずれかから選択してください。
- Eメールアドレスを直接入力するときは、【直接入力】を選択して、手順4へ進んでください。
- 本製品内にEメールアドレスを登録しているときは、【電話帳】を選択して、手順5へ進んでください。
- を選択すると、【LDAPサーバー電話帳】と【本体電話帳】からEメールアドレスを検索できます。
  LDAPサーバーから検索したいときは、【LDAPサーバー電話帳】を選択して、手順6へ進んでください。
  本製品内の電話帳から検索したいときは、【本体電話帳】を選択して、手順7へ進んでください。
  LDAPの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

4 E メールアドレスを入力し、【OK】を押す

必要に応じて A 1 @ を押し、英数字や特殊記号を入力してください。
【OK】を押して、手順 9 に進んでください。テキストの入力方法については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

5 【▲】または【▼】で送信先の E メールアドレスを選択し、【OK】を押す

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。電話帳については、「ユーザーズガイド 応用編」を参照してください。

補足

*001 あ を選択すると、アルファベット順または数字順に検索できます。

6 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

LDAP の検索結果が、電話帳検索結果の前に と共にタッチパネルに表示されます。送信したい E メールアドレスを選択し、【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

7 液晶ディスプレイに表示されているテンキー、またはキーボードを使用して検索したい頭文字を入力し、【OK】を押す

本製品内の電話帳検索結果がタッチパネルに表示されます。

8 【▲】または【▼】で宛先名を選択し、【▲】または【▼】で E メールアドレスを選択する

【OK】を押して、手順 9 に進んでください。

9 【◀】または【▶】で【設定をリセットする】を選択する

10 【はい】を押す

11 ＜停止 / 終了＞を押す

FTP／ネットワークファイルの保存先を登録する

本製品でスキャンした原稿をFTPサーバーやネットワーク上の共有フォルダーに保存する際の送信先を、プロファイルとして10件まで登録することができます。

補足

各項目には、以下の文字数が入力できます。

- プロファイル名......................................14字以内
- サーバーアドレス（ドメイン名）..........64字以内
- ユーザー名...32字以内
- パスワード...32字以内
- 転送先フォルダー 60字以内

1 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

- XXXXXは本製品のIPアドレスです。
- IPアドレスはネットワーク設定リストで確認することができます。ネットワーク設定リストの印刷方法については ユーザーズガイド基本編「レポート・リスト」を参照してください。

2 「管理者設定」をクリックする

3 [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。

4 必要に応じて設定を変更する

設定を変更する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ ネットワークファイル　スキャン設定］をクリックすると以下の画面が表示され、「スキャン to FTP」または「スキャン to ネットワークファイル」の設定を変更することができます。
また、15文字以内で2種類のオリジナルファイル名を登録することができます。
（画面はMFC-9970CDWの場合です。）

管理者設定

パスワードの設定	Web表示	電子署名付PDFファイル設定	スキャン to Eメール
FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル	FTP/ネットワークファイル スキャン設定	印刷ログ機能設定	セキュリティ機能ロック

FTP/ネットワークファイル スキャン設定

プロファイル名 1	◉FTP	○ネットワーク
プロファイル名 2	◉FTP	○ネットワーク
プロファイル名 3	◉FTP	○ネットワーク
プロファイル名 4	◉FTP	○ネットワーク
プロファイル名 5	◉FTP	○ネットワーク
プロファイル名 6	○FTP	◉ネットワーク
プロファイル名 7	○FTP	◉ネットワーク
プロファイル名 8	○FTP	◉ネットワーク
プロファイル名 9	○FTP	◉ネットワーク
プロファイル名 10	○FTP	◉ネットワーク

オリジナルファイル名登録

1. BRNxxxxxxxxxxxx
2. Mitsumori
3. Report
4. Cyumon-syo
5. Keiyaku-syo
6. Denpyo
7. Jucyu-syo
8.
9.

キャンセル　OK

補足

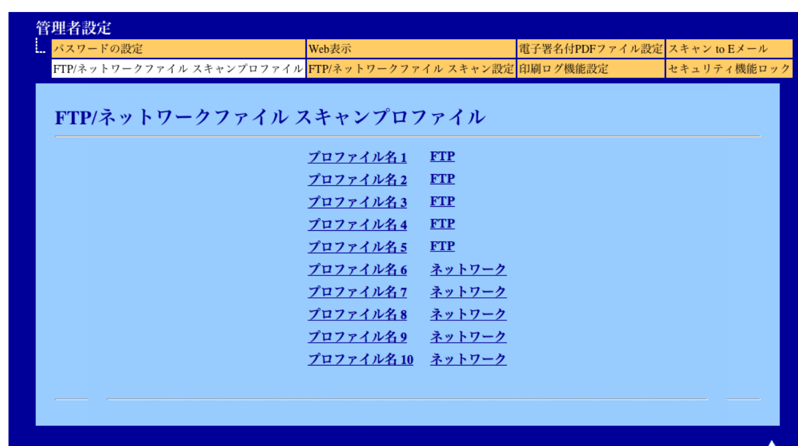
お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。「スキャン to ネットワークファイル」のプロファイルを設定する場合は、上記画面の［ネットワーク］にチェックをしてから該当のプロファイルを設定してください。

プロファイルを設定する

本製品のウェブページから［管理者設定］-［FTP/ ネットワークファイル　スキャンプロファイル］をクリックすると以下の画面が表示され､｢スキャン to FTP｣または｢スキャン to ネットワークファイル｣のプロファイルを設定することができます。（画面はMFC-9970CDWの場合です。）

補足

お買い上げ時のプロファイルは、すべて「FTP」に設定されています。「スキャン to ネットワークファイル」のプロファイルを設定する場合は、事前に［FTP/ネットワークファイル　スキャン設定］画面で［ネットワーク］にチェックをする必要があります。詳しくは、⇒241ページを参照してください。

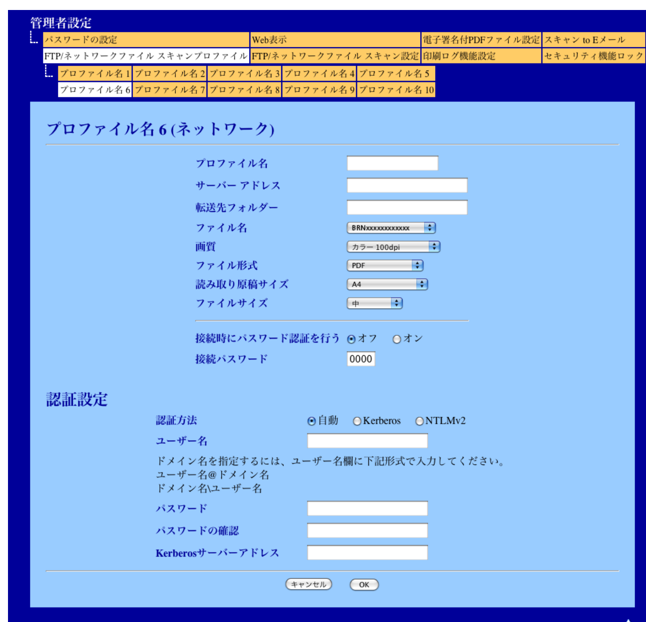


プロファイル名をクリックすると以下の画面が表示されます。必要に応じて設定してください。

「スキャン to FTP」の場合



「スキャン to ネットワークファイル」の場合



1 **プロファイル名を入力する**

入力したプロファイル名が本製品の液晶ディスプレイに表示されます。

2 **「サーバーアドレス」にサーバーのドメイン名を入力する**

ドメイン名、（例：ftp.example.com）または IP アドレス（例：192.23.56.189）で入力します。

3 **（「スキャン to FTP」の場合のみ）サーバーにログインするためのユーザー名を入力する**

4 **（「スキャン to FTP」の場合のみ）サーバーにログインするためのパスワードを入力する**

5 **スキャンした原稿の転送先フォルダーを入力する**

転送先フォルダーのパスを入力します。（例：brother/abc/）

6 **必要に応じて［ファイル名］から、画像を保存するファイル名を選択する**

ファイル名は、あらかじめ用意されている 7 種類か、オリジナル 2 種類から選びます。オリジナルファイル名の登録方法は、⇒ 241 ページ「設定を変更する」を参照してください。
スキャンした原稿のファイル名には、選択したファイル名＋スキャナーのカウンター（6 文字）＋拡張子が付きます。（例：Mitsumori_098765.pdf）

7 **必要に応じて［画質］から解像度とカラー / グレー / モノクロを選択する**

下記の中から選択してください。

- カラー 100 dpi
- カラー 300 dpi
- グレー 100 dpi
- グレー 300 dpi
- モノクロ 200×100 dpi
- カラー 200 dpi
- カラー 600 dpi
- グレー 200 dpi
- モノクロ 200 dpi

8 **必要に応じて［ファイル形式］から画像の形式を選択する**

- カラー / グレーを選択した場合は、［PDF］、［PDF/A］、［セキュリティ PDF］、［電子署名付 PDF］、［JPEG］、［XPS］を選択できます。
- モノクロを選択した場合は、[PDF]、[PDF/A]、[セキュリティ PDF]、[電子署名付PDF]、[TIFF] を選択できます。

9 **必要に応じて［読み取り原稿サイズ］から読み取り原稿サイズを選択する（MFC-9970CDW のみ）**

下記の中から選択してください。

- A4
- USレター
- リーガル/フォリオ

10 **（「スキャン to FTP」の場合）必要に応じて、パッシブモードとポート番号を設定する**

ほとんどの場合は、設定の変更は必要ありませんが、FTP サーバーの設定をご確認ください。

（「スキャン to ネットワークファイル」の場合）必要に応じて、パスワード認証を設定する

11 **［OK］をクリックする**

設定した内容で、プロファイルが登録されます。

Macintosh編

4章

リモートセットアップ

リモートセットアップについて

通常、本製品に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションボタンとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本製品に対する機能設定をMacintoshで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動する

リモートセットアップを起動するには、［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［RemoteSetup］アイコンをダブルクリックします。
ネットワーク接続時は、パスワードを入力する必要があります。（初期設定は“access”です。）
リモートセットアップはControlCenter2からも起動できます。詳しくは、⇒273ページを参照してください。
表示される画面は、モデルによって異なります。



リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧のメインメニューに対応しています。詳しくは、ユーザーズガイド基本編「付録　機能一覧」を参照してください。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。
起動した直後は、本製品に設定されている内容が自動的にMacintoshにダウンロードされ、画面上に表示されます。

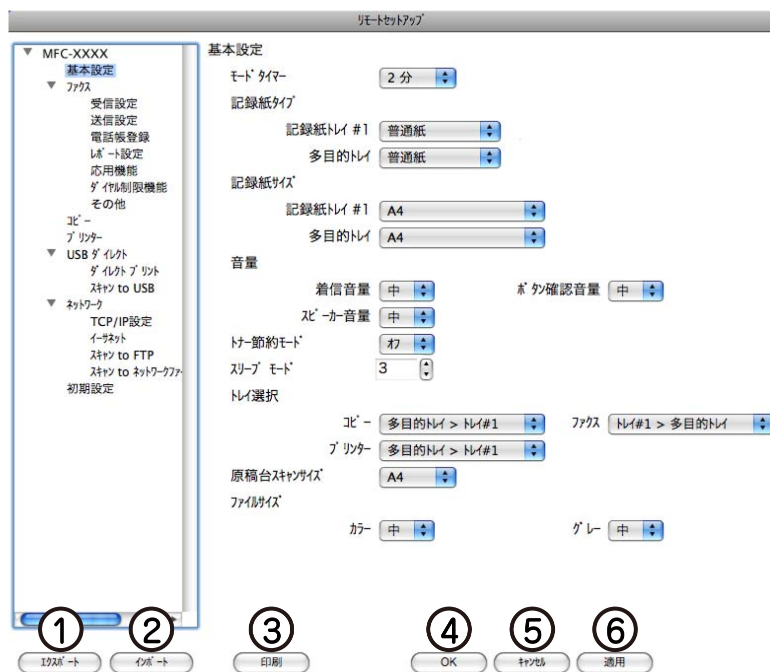
補足

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのMacintoshにBrotherドライバー＆ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ウィルスバスター™などのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

リモートセットアップ設定内容

ボタンの説明

リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録」を表示しているときには、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときには、「設定内容リスト」を印刷します。（ユーザーズガイド基本編「レポート・リスト」と同じリストを印刷します）ただし、本製品に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

MFC-9460CDNの場合

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モードタイマー	－	○
	記録紙設定	記録紙タイプ	○
		記録紙サイズ	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープモード	○
	トレイ選択	コピー	○
		ファクス	○
		プリンター	○
	画面のコントラスト	－	×
	セキュリティ	セキュリティ 機能ロック	×
		セキュリティ 設定ロック	×
	原稿読み取り設定	原稿台スキャンサイズ	○
		ファイルサイズ	○
ファクス	受信設定	ファクス無鳴動受信	×
		呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		印刷濃度	○
		ポーリング受信	×
		受信スタンプ	○
		両面印刷	○
	送信設定	原稿濃度	×
		ファクス画質	○
		タイマー送信	×
		とりまとめ送信	○
		リアルタイム送信	○
		ポーリング送信	×
		送付書	○
		送付書コメント	○
		海外送信モード	×
	電話帳登録	電話帳/ワンタッチ	○
		電話帳/短縮	○
		電話帳/グループ	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	レポート設定	送信結果レポート	○
		通信管理間隔	○
	応用機能	転送/メモリ受信※1	○
		暗証番号	○
		ファクス出力	×
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○
	通信待ち確認	－	×
	その他	安心通信モード	○
		ナンバーディスプレイ	×
コピー	コピー画質	－	○
	明るさ	－	○
	コントラスト	－	○
	カラー調整	レッド	○
		グリーン	○
		ブルー	○
プリンター	エミュレーション	－	×
	プリンター オプション	フォント リスト	×
		プリンター設定	×
		テスト プリント	×
	両面印刷	－	○
	印刷カラー	－	○
	プリンター リセット	－	×
	色補正	－	×
	自動色ずれ補正	色ずれ補正実施	×
	手動色ずれ補正	色ずれチャート印刷	×
		補正値入力	×
	補正頻度	－	○
USBダイレクト	ダイレクト プリント	記録紙サイズ	○
		記録紙タイプ	○
		レイアウト	○
		印刷の向き	○
		部単位	○
		プリント画質	○
		PDFオプション	○
		インデックス プリント	○
	スキャン to USB	解像度	○
		ファイル名	○
レポート印刷	送信結果レポート	表示	×
		印刷	×
	機能案内	－	×
	電話帳リスト	メモリ番号順	×
		名前順	×

分類	中分類	項目		設定の可否
レポート印刷	通信管理レポート	−		×
	設定内容リスト	−		×
	着信履歴リスト	−		×
	ネットワーク設定リスト	−		×
	ドラム汚れ印刷	−		×
ネットワーク	TCP/IP設定	IP取得方法		○
		IP アドレス		○
		サブネット マスク		○
		ゲートウェイ		○
		ノード名		○
		WINS設定		○
		WINS サーバー	プライマリ	○
			セカンダリ	○
		DNS サーバー	プライマリ	○
			セカンダリ	○
		APIPA		○
		IPv6		○
	イーサネット	−		○
	接続状態	−		×
	MACアドレス	−		×
	スキャン to FTP	−		○
	スキャン to ネットワークファイル	−		○
	ネットワーク設定リセット	−		×
製品情報	シリアル No.	−		×
	印刷枚数表示	−		×
	消耗品寿命	ドラム寿命		×
		ベルトユニット寿命		×
		ヒーター寿命		×
		レーザー寿命		×
		PFキット MP 寿命		×
		PFキット 1 寿命		×
		PFキット 2 寿命※3		×
	消耗品リセット※2	−		×
初期設定	受信モード	−		○
	時計セット	時計セット		○
		タイムゾーン		○
	発信元登録	−		○
	回線種別設定	−		○
	ダイヤルトーン設定	−		○
	特別回線対応	−		○
	ナンバー プレフィックス	−		○

分類	中分類	項目	設定の可否
初期設定	リセット	機能設定	×
		ネットワーク	×
		電話帳 & ファクス	×
		全設定	×
	表示言語	−	×

※1: ファクス転送またはPCファクス受信が選択されている場合。
※2: 消耗品が寿命になったときのみ表示されます。
※3: 増設記録紙トレイ（オプション）装着時。

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド基本編「付録　機能一覧」を参照してください。

MFC-9970CDWの場合

分類	中分類	項目	設定の可否
基本設定	モードタイマー	−	○
	記録紙トレイ設定	多目的トレイ	○
		記録紙トレイ#1	○
		記録紙トレイ#2※1	○
		トレイ選択：コピー※1	○
		トレイ選択：ファクス※1	○
		トレイ選択：プリンター※1	○
	音量	着信音量	○
		ボタン確認音量	○
		スピーカー音量	○
	省エネモード	トナー節約モード	○
		スリープ モード	○
	画面の設定	画面の明るさ	○
		照明ダウンタイマー	○
	セキュリティ	セキュリティ 機能ロック	×
		セキュリティ 設定ロック	×
ファクス	受信設定	ファクス無鳴動受信	×
		呼出回数	○
		再呼出回数	○
		親切受信	○
		リモート受信	○
		自動縮小	○
		転送/メモリ受信※2	○
		印刷濃度	○
		受信スタンプ	○
		両面印刷	○
	送信設定	とりまとめ送信	○
		送付書（印刷サンプル）	×
		送付書コメント	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	レポート設定	送信結果レポート	○
		通信管理間隔	○
	ファクス出力	－	×
	暗証番号	－	○
	ダイヤル制限機能	直接入力	○
		ワンタッチダイヤル	○
		短縮ダイヤル	○
		LDAPサーバー	○
	通信待ち一覧	－	×
	その他	安心通信モード	○
		ナンバーディスプレイ	×
プリンター	エミュレーション	－	×
	プリンター オプション	フォント リスト	×
		プリンター設定	×
		テスト プリント	×
	両面印刷	－	○
	印刷カラー	－	○
	プリンター リセット	－	×
	色補正	色補正実施	×
		リセット	×
	自動色ずれ補正	－	×
	手動色ずれ補正	色ずれチャート印刷	×
		補正値入力	×
	補正頻度	－	○
レポート印刷	送信結果レポート	表示	×
		印刷	×
	機能案内	－	×
	電話帳リスト	メモリ番号順	×
		名前順	×
	通信管理レポート	－	×
	設定内容リスト	－	×
	着信履歴リスト	－	×
	ネットワーク設定リスト	－	×
	ドラム汚れ印刷	－	×
	無線レポート印刷	－	×
ネットワーク	有線LAN	TCP/IP設定	○
		イーサネット	○
		有線LAN状態	×
		MACアドレス	×
		初期設定に戻す	×
		有線LAN有効	×

分類	中分類	項目	設定の可否
ネットワーク	無線LAN	TCP/IP設定	○
		無線接続ウィザード	×
		WPS/AOSS	×
		WPS（PIN方式）	×
		無線状態	×
		MACアドレス	×
		初期設定に戻す	×
		無線LAN有効	×
	Eメール/IFAX	メールアドレス	○
		サーバー設定	○
		メール 受信設定	○
		メール 送信設定	○
		リレー 設定	○
	ネットワーク設定リセット	−	×
製品情報	シリアル No.	−	×
	印刷枚数表示	−	×
	消耗品寿命	ドラム 寿命	×
		ベルトユニット 寿命	×
		ヒーター寿命	×
		レーザー寿命	×
		PFキット MP 寿命	×
		PFキット 1 寿命	×
		PFキット 2 寿命※1	×
	消耗品リセット※3	−	×
初期設定	受信モード	−	○
	時計セット	時計セット	○
		タイム ゾーン	○
	発信元登録	−	○
	回線種別設定	−	○
	ダイヤルトーン設定	−	○
	ナンバー プレフィックス	−	○
	特別回線対応	−	○
	リセット	機能設定	×
		ネットワーク	×
		電話帳 & ファクス	×
		全設定	×
	表示言語	−	×

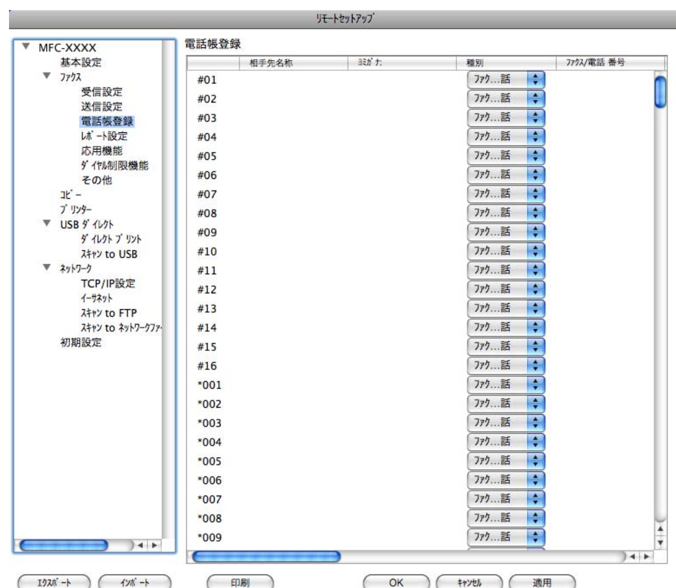
※1: 増設記録紙トレイ（オプション）装着時。
※2: ファクス転送またはPCファクス受信が選択されている場合。
※3: 消耗品が寿命になったときのみ表示されます。

補足

各項目の内容と選択項目については、ユーザーズガイド基本編「付録　機能一覧」を参照してください。

電話帳を登録する

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。
画面の左側の機能分類から「電話帳登録」をクリックすると、次の画面が表示されます。



この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：MFC-9460CDNの場合は、最大16件（01～16）
  MFC-9970CDWの場合は、最大40件（01～40）
- 短縮ダイヤル：最大300件（001～300）

電話番号は20桁まで登録できます。（カッコは使用できません）
また、相手先名称は10文字（漢字入力の場合）まで入力できます。

● 電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号、ファクス番号と名称を、3桁の短縮番号（最大300件）に登録します。

1 **左側から「電話帳登録」を選ぶ**

2 **登録する短縮番号の行にある「ファクス／電話」に電話番号、ファクス番号を入力する**

3 **種別を選ぶ**

4 **「相手先名称」に相手先の名前を入力する**

漢字で登録 / 修正することができます。

5 **グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスをONにする**

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

6 **［OK］をクリックする**

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

● 電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。20グループまで登録できます。



左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。



「相手先名称」にグループ名を入力する



種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1～20」から選びます。
例）ここでは「グループ2」を選びます。



グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。



[OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

Macintosh編

5章

PCファクス

Macintoshからファクスを送る

PCファクスを利用すると、Macintosh上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。あらかじめ、Macintosh上のアドレスブックに相手先を登録しておくことで、アドレスブックを呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

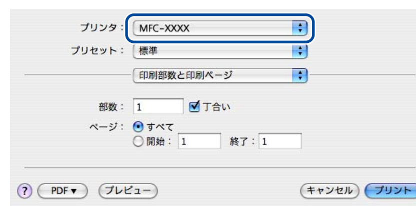
- Macintoshでは、PC-FAXの受信機能は使用できません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）
- Mac　OS　X の最新バージョンへの対応状況は、弊社ホームページで最新情報を公開しています。以下のサイトを参照してください。
  サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）

Mac OS X 10.4.11の場合

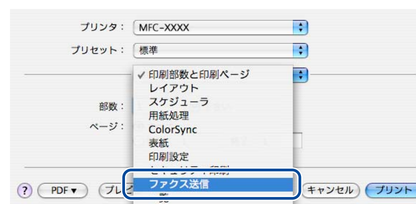
1 **Macintosh のアプリケーションでファイルを作成する**

2 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択する**

プリントダイアログが表示されます。
本製品のモデル名が表示されているか確認してください。



3 **プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する**

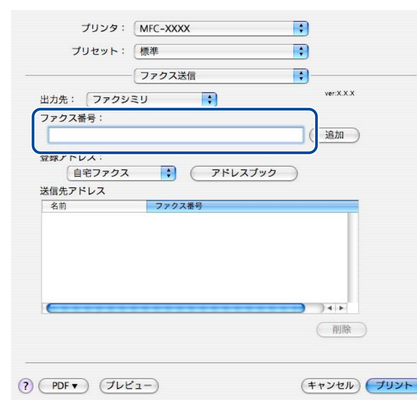


4 **［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する**



5 ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作を繰り返して、すべてのファクス番号を入力します。



6 ［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

Mac OS X 10.5.x、10.6.xの場合

1 Macintosh のアプリケーションでファイルを作成する

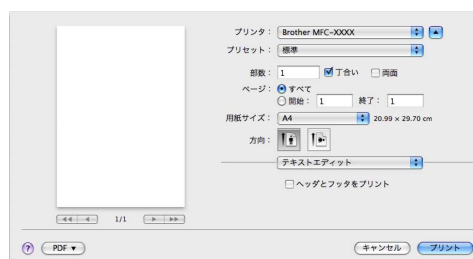
2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択する

プリントダイアログが表示されます。
本製品のモデル名が表示されているか確認してください。

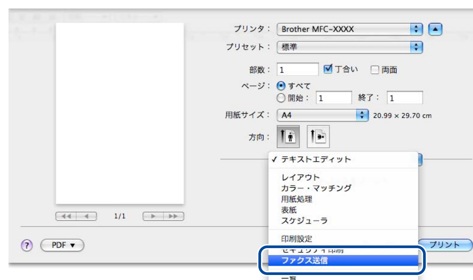


3 ［プリンタ］ポップアップメニューの横の▼をクリックする

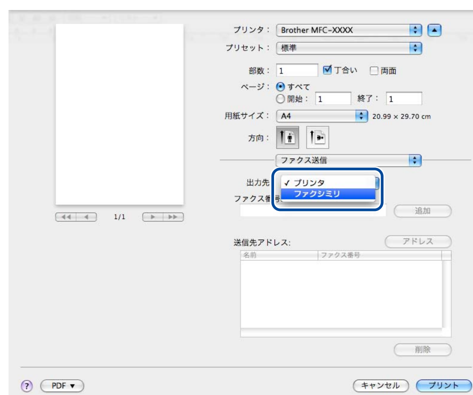




4 プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択する

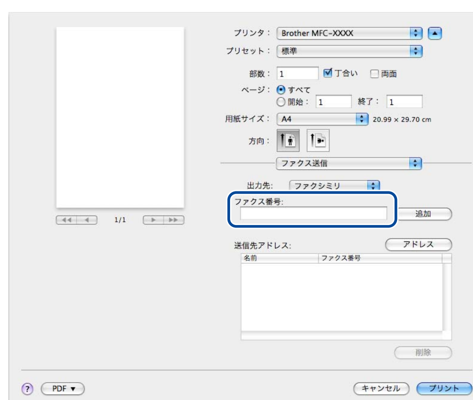


5 ［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択する



6 ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力する

複数の宛先に送る場合は、ファクス番号を入力して［追加］をクリックします。この操作を繰り返して、すべてのファクス番号を入力します。



7 ［プリント］をクリックする

ファクス送信が開始されます。

Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

アドレスブックを利用する

Mac OS X 10.4.11の場合

アドレスブックからvCardをドラッグすることで送信先を設定することができます。



［アドレスブック］をクリックする

アドレスブックが起動します。





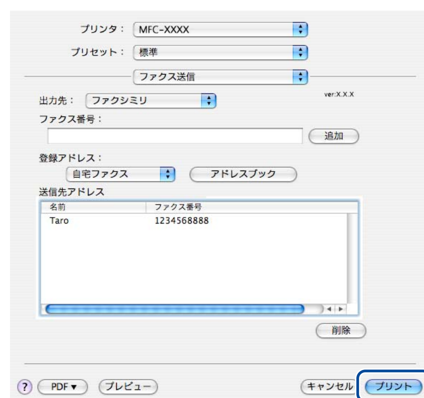
アドレスブックから vCard を［送信先アドレス］までドラッグする

［送信先アドレス］に番号が表示されます。





ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする



注意

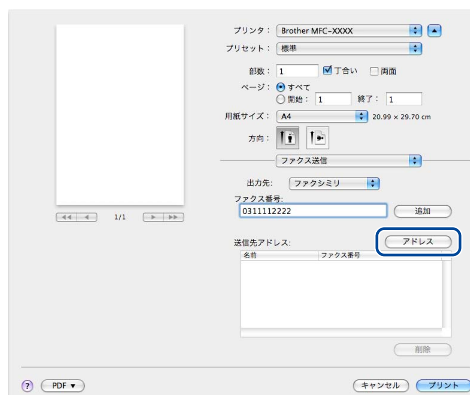
■vCardは自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

Mac OS X 10.5.x、10.6.xの場合

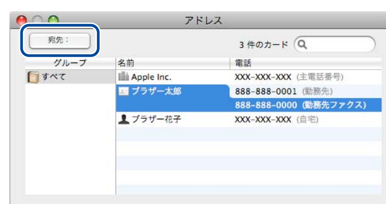
1 **［アドレス］をクリックする**

アドレスブックが起動します。

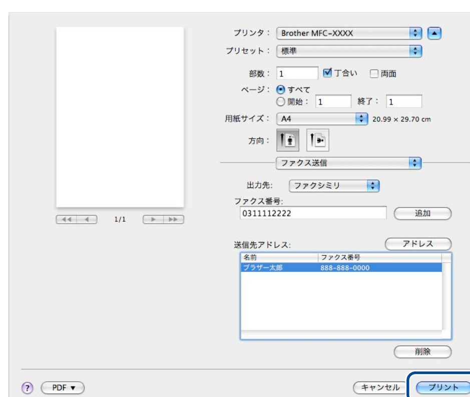


2 **ファクスの送り先をアドレスブックから選択して［宛先］をクリックする**

［送信先アドレス］に番号が表示されます。



3 **ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックする**



Macintosh編

6章

その他の便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナー、PCファクスなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2の画面

ControlCenter2では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出すことができます。ControlCenter2の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。



① モデル

使用中のモデルが表示されます。［その他］を選択すると、デバイスセレクターが表示されます。詳しくは、⇒200ページを参照してください。

② スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、Eメールにデータを添付することができます。詳しくは、⇒264ページを参照してください。

③ カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を４つまで登録できます。詳しくは、⇒267ページを参照してください。

④ コピー /PC-FAX

原稿をコピーします。コピー時の設定を4つまで登録できます。詳しくは、⇒269ページを参照してください。また、スキャンした原稿を本製品を使用してファクス送信できます。詳しくは、⇒271ページを参照してください。

⑤ デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認したり、ステータスモニターを起動することができます。詳しくは、⇒273ページを参照してください。

ControlCenter2を起動する

1 **［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［ControlCenter］から［ControlCenter］アイコンをダブルクリックする**

メニューバーに が表示されます。

起動時の動作を設定する

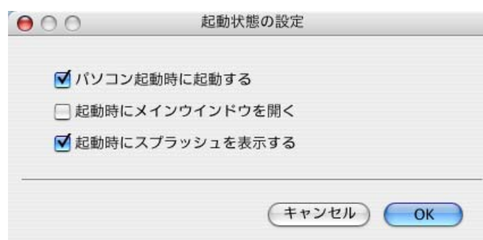
Macintoshを起動したとき、ControlCenter2も同時に起動させることができます。

1 **メニューバーの をクリックして、［起動状態の設定］を選択する**

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 **起動時の動作を選択する**

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウインドウを開く：
  ControlCenter2が起動し、ウインドーを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動する画面を表示します。



3 **［OK］をクリックする**

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。



① イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、Macintoshで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ ファイル

原稿をスキャンして、すぐにMacintoshの指定したフォルダーに保存します。

スキャンを実行する

1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。
それぞれの機能でファイル形式を選択することができます。
（［イメージ］、［E メール］または［ファイル］の場合）

- Windowsビットマップ（*.bmp）
- JPEG（*.jpg）
- TIFF（*.tif）
- TIFFマルチページ（*.tif）
- Portable Network Graphics（*.png）
- PDF（*.pdf）
- パスワード付きPDF（*.pdf）

（［OCR］の場合）

- テキストファイル（*.txt）
- リッチテキスト形式（*.rtf）
- HTMLドキュメント（*.htm）
- Excel 97（*.xls）

補足

TIFFおよびTIFFマルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。

スキャンの設定を変更する

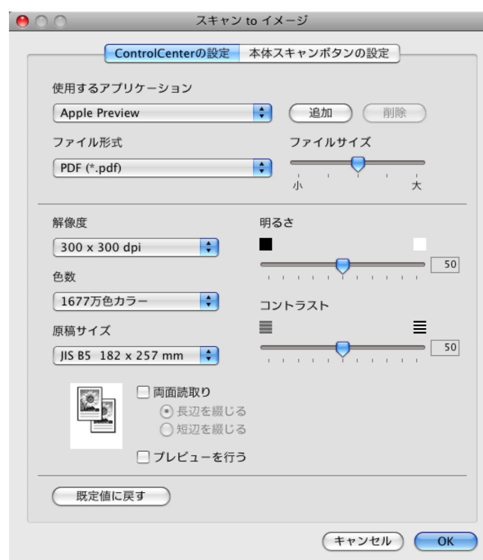
起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

1 ［Control］キーを押しながらボタンをクリックする

2 ［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定する

- プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。
- ［本体スキャンボタンの設定］をクリックすると、本製品のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合



3 ［OK］をクリックする

スキャンの設定



① ファイル名（「スキャン to ファイル」のみ）

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② 使用する E メールアプリケーション（「スキャン to E メール」のみ）/ 使用するアプリケーション（「スキャン to イメージ」/「スキャン to OCR」のみ）

スキャンした原稿を添付するEメールアプリケーション、またはスキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。
［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

③ ファイル形式

データのファイル形式を選択します。「パスワード付きPDF（*.pdf）」を選択すると、ファイルを開くときのパスワードを設定することができます。

④ 保存先フォルダー（「スキャン to ファイル」のみ）

スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。

⑤ スキャン毎に名前をつける（「スキャン to ファイル」のみ）

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダーとデータの名前を設定することができます。

⑥ ファイルサイズ（「スキャン to イメージ」、「スキャン to ファイル」、「スキャン to E メール」のみ）

- 解像度を変えることなく、ファイルサイズを変更して原稿をスキャンすることができます。
- ファイル形式で「TIFF」または「TIFFマルチページ」を選択した場合は、［圧縮］または［非圧縮］を選択することができます。

⑦ 保存先フォルダーを開く（「スキャン to ファイル」のみ）

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダーを開きます。

⑧ OCR アプリケーション（「スキャン to OCR」のみ）

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCRソフトウェア）を選択します。

⑨ OCR 言語（「スキャン to OCR」のみ）

変換する言語を選択します。

⑩ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

⑪ 両面読取り（MFC-9970CDW のみ）

チェックすると、原稿の両面をスキャンすることができます。

⑫ 解像度 / 色数 / 原稿サイズ / 明るさ / コントラスト

必要に応じて設定します。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を4つまで登録できます。



よく使う設定を登録する

1 **[Control] キーを押しながらボタンをクリックする**

「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。



2 **「カスタム 1 の名前」に名前を入力する**

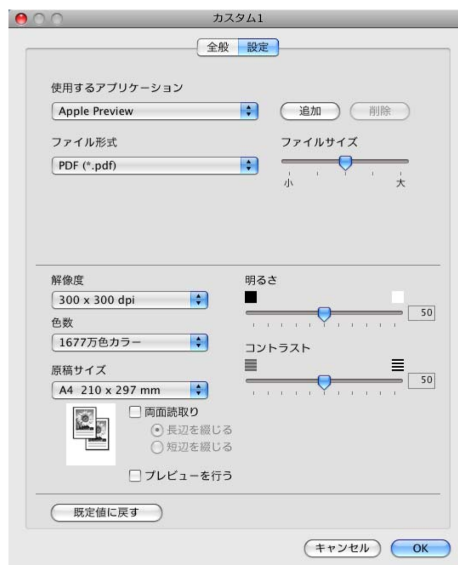
［カスタム 1］を使用する場合です。

3 **スキャンの種類を選択する**

スキャンの種類は「スキャン to イメージ」「スキャン to OCR」「スキャン to E メール」「スキャン to ファイル」から選びます。

4 **「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する**

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。



5 **［OK］をクリックする**

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

1 **原稿をセットして設定したボタンをクリックする**

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PCファクス

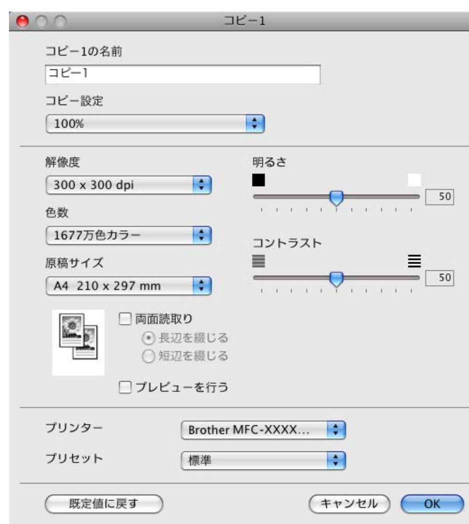
原稿をコピーしたり、Macintoshからファクスをします。コピーとファクス送信の設定を４つまで登録できます。



コピーの設定を登録する

1 **［Control］キーを押しながらボタンをクリックする**

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。



2 **「コピー１の名前」に名前を入力する**

［コピー１］を使用する場合です。

3 **「コピー設定」を選択する**

「コピー設定」は、「100％」または「用紙サイズにあわせる」から選びます。

4 **他の項目を必要に応じて設定する**

プレビューを見たり、スキャン範囲を指定してからスキャンする場合は、［プレビューを行う］チェックボックスを選択します。

5 **［OK］をクリックする**

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

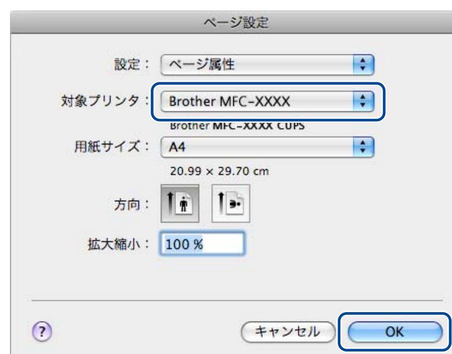
2 ControlCenter2 の「コピー/PC-FAX」をクリックする



3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする



5 ［プリント］をクリックする

コピーが実行されます。



Windows®編
Macintosh編
本ガイドの使い方・目次
プリンターとして使う
スキャナーとして使う
ソフトウェアを使うための設定を
リモートセットアップ
PCファクス
その他の便利な使い方
付録

ファクスを送信する

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

1 原稿をセットする

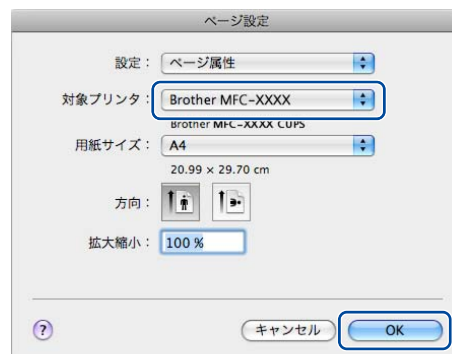
2 ControlCenter2 の「コピー/PC-FAX」をクリックする



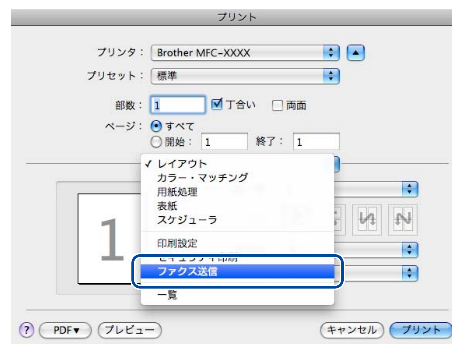
3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

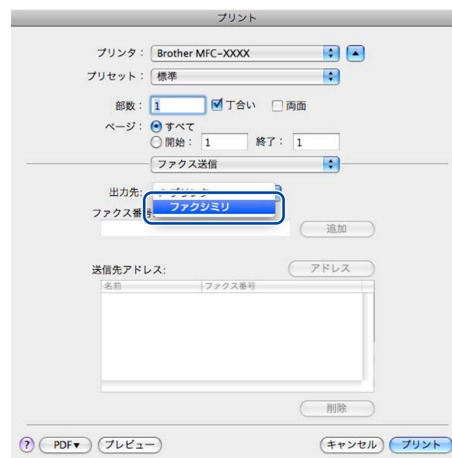
4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする



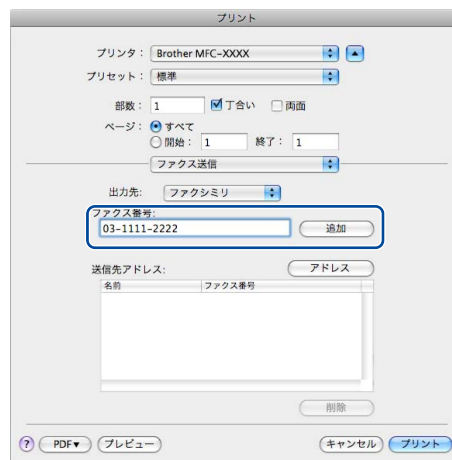
5 ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ



6 「出力先」で「ファクシミリ」を選ぶ



7 「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする



補足

複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。
詳しくは、⇒256ページを参照してください。

8 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

補足

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

デバイス設定

リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。



① リモートセットアップ

Macintosh上で本製品に関する機能設定ができます。
リモートセットアップについては、⇒245ページを参照してください。

② 電話帳

Macintosh上で本製品の電話帳に関する操作ができます。
詳しくは、⇒253ページを参照してください。

③ ステータスモニター

Macintosh上で本製品のステータスモニターが確認できます。
詳しくは、⇒196ページを参照してください。

付　録

エラーメッセージが表示されたとき

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、「ユーザーズガイド 基本編」を参照してください。
ユーザーズガイドに記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源プラグを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた上でお客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-143-410へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、「ユーザーズガイド 基本編」および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A)」をご確認ください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）0120-143-410 へ連絡してください。

エミュレーションモードの設定

印刷データを受け取ったとき、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷することができます。下記のエミュレーションモードが自動で選択されます。

● HP LaserJet モード

HP LaserJetモード（HPモード）は、ヒューレット・パッカードLaserJetレーザープリンターのPCL6言語互換のエミュレーションモードです。
アプリケーションソフトがヒューレット・パッカードLaserJetレーザープリンターのPCL6言語に対応している場合は、このモードを使用すると、最も品質のよい印刷が可能です。

● BR-Script 3 モード

BR-Script 3モードは、当社独自の言語とPostScript®言語の解析プログラムで構成されたエミュレーションモードです。
レベル3のPostScript®に対応したテキストやグラフィックスの印刷が可能です。

PostScriptのコマンドに関する技術的な情報は、下記の文献を参照してください。

- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Reference, third Edition. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1999. ISBN: 0-201-37922-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Program Design. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1988. ISBN: 0-201-14396-8
- Adobe Systems Incorporated. PostScript® Language Tutorial and Cookbook. Addison-Wesley Publishing Company, Inc., 1985. ISBN: 0-201-10179-3

MFC-9460CDNの場合

1 **＜メニュー＞→＜4＞→＜1＞を押す**
＜▲＞または＜▼＞で選択して＜OK＞で決定することも可能です。

2 **＜▲＞または＜▼＞を押して、「自動」、「HP　LaserJet」、または「BR－Script 3」を選択する**
お買い上げ時は「自動」に設定されています。

3 **＜OK＞を押す**
エミュレーションモードが登録されます。

4 **＜停止／終了＞を押す**
設定メニューを終了します。

MFC-9970CDWの場合

1 **【メニュー】→【プリンター】→【エミュレーション】を押す**

2 **【自動】、【HP LaserJet】、【BR-Script 3】から選択する**
お買い上げ時は「自動」に設定されています。

3 **＜停止／終了＞を押す**
設定メニューを終了します。

動作環境

OS	CPU/システムメモリ	必要なメモリ	推奨メモリ	必要なディスク容量 ドライバー	必要なディスク容量 その他のソフトウェア	インターフェイス※2
Windows®※1						
Windows® 2000 Professional	Intel® Pentium® II プロセッサ相当	64MB	256MB	150MB	500MB	USB 2.0、10/100 Base-TX（イーサネット）、無線（IEEE802.11b/g）
Windows® XP Home Edition		128MB				
Windows® XP Professional						
Windows® XP Professional x64 Edition	64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）	256MB	512MB			
Windows Vista®	Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当（Intel® 64 または AMD64）	512MB	1GB	500MB	1.2GB	
Windows® 7		1GB (32-bit) 2GB (64-bit)	1GB (32-bit) 2GB (64-bit)	650MB		
Windows Server® 2003※3	Intel® Pentium® III プロセッサ相当	256MB	512MB	50MB	なし	
Windows Server® 2003※3 x64 Edition	64 ビットのプロセッサ（Intel® 64 または AMD64）					
Windows Server® 2008※3	Intel® Pentium® 4 64 ビットのプロセッサ相当（Intel® 64 または AMD64）	512MB	2GB			
Windows Server® 2008※3R2						
Macintosh						
Mac OS X 10.4.11、10.5.X	PowerPC G4/G5 Intel® Core™ プロセッサ	512MB	1GB	80MB	400MB	USB 2.0、10/100 Base-TX（イーサネット）、無線（IEEE802.11b/g）
Mac OS X 10.6.X	Intel® Core™ プロセッサ	1GB	2GB			

※1：Microsoft® Internet Explorer® 6.0以上が必要です。
※2：サードパーティ製のUSBポートはサポートしていません。
※3：ネットワーク接続によるプリント機能のみ

補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

索　引

ゆ

よ

ら

り

れ